

東久留米市障害者施策に関するアンケート調査 報告書

令和6年2月

東久留米市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施概要.....	1
3. 図表の見方.....	2
II 当事者調査結果	3
1. あなた(あて名のご本人)自身について.....	3
2. あなたの障害の状況について	9
3. 日常生活について.....	17
4. 地域での生活について.....	22
5. 社会参加について.....	29
6. 障害福祉サービスなどについて	35
7. 雇用・就労について(18歳以上のみ).....	61
8. 障害児福祉について(18歳未満のみ).....	69
9. 東久留米市の障害福祉施策について	77
III 調査票	96

I 調査概要

1. 調査の目的

令和6年度を初年度とする「東久留米市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」の策定に向け、当事者の状況、サービスの利用意向及び利用実態を把握し、計画策定や施策推進の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 実施概要

調査対象：障害や慢性疾患のある人から、次のように種別ごとに無作為抽出

	市内対象者数	抽出者数	割合(%)
①身体障害者手帳所持者	3,114	1,405	40.1
②愛の手帳（療育手帳）所持者	1,024	462	13.2
③精神障害者保健福祉手帳所持者	1,212	547	15.6
④発達障害の診断を受けている者	174	79	2.2
⑤自立支援医療（精神通院）受給者	1,154	521	14.9
⑥難病医療費助成受給者	865	390	11.2
⑦小児慢性特定疾病医療費助成受給者	47	21	0.6
⑧その他児童通所サービス費の受給者 （①から⑦に該当せず児童福祉法に規定される児童通所サービス費の支給を受けている者）	167	75	2.2
合計	7,757	3,500	100

※対象者数の計数にあたって、複数の種別に該当する者については、以下の順位において最上位となる種別に計上した。②>①>④>③>⑤>⑥>⑦>⑧

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：6月5日～6月23日

回収結果：

配布数	回収数	回収率
3,500	1,545	44.1%

3. 図表の見方

- 回答結果の割合(%)はサンプル数(集計対象者総数)に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表についても同様です。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は回答数に対する選択肢ごとの回答数のそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の n 数(number of case)は、サンプル数(集計対象者総数あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数)を表しています。
- クロス集計表について、各項目で第1位の数値に色を付けています。また、n 数が少ない項目については、参考値として掲載し、分析文を記載していないものもあります。
- 自由記述は、個人のプライバシーにかかわるもの、不適切な表現、明らかな誤字・脱字と考えられる箇所等については、修正を加えています。

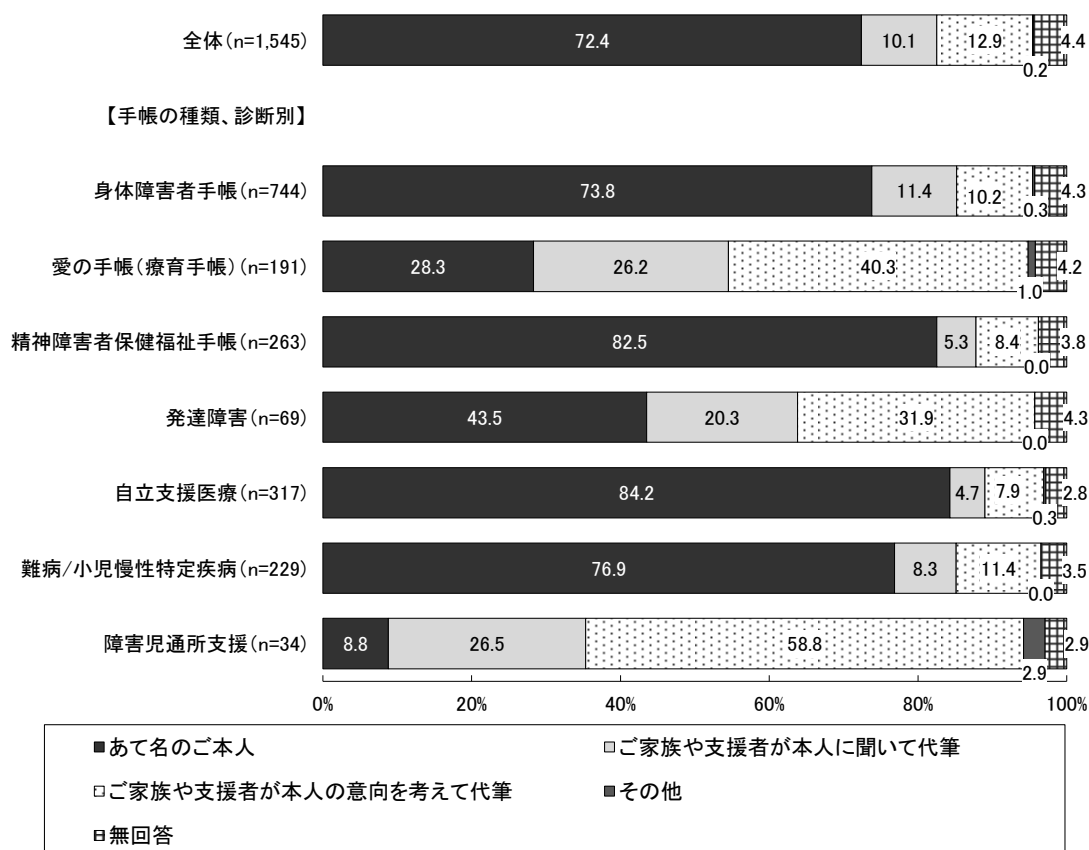
Ⅱ 当事者調査結果

1. あなた(あて名のご本人)自身について

問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

調査票の回答者については、「あて名のご本人」の割合が72.4%と最も高く、次いで「ご家族や支援者が本人の意向を考えて代筆」が12.9%、「ご家族や支援者が本人に聞いて代筆」が10.1%となっています。

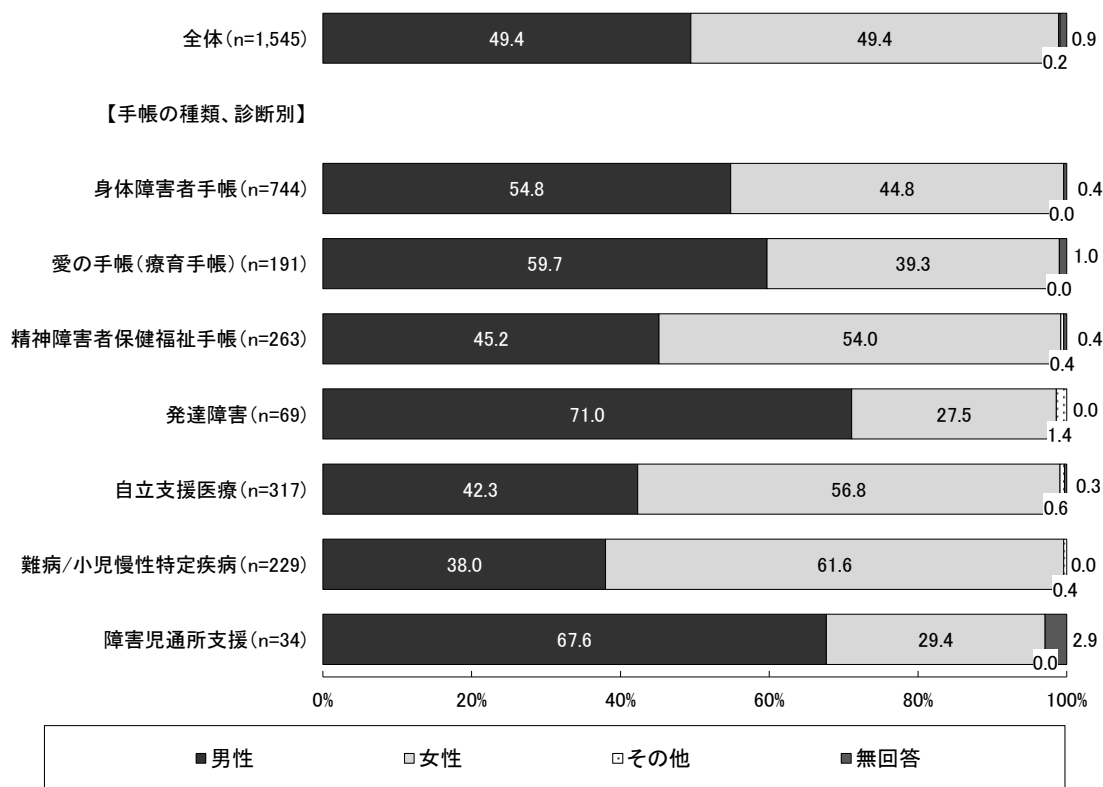
手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「ご家族や支援者が本人の意向を考えて代筆」がそれぞれ40.3%、31.9%、58.8%と、他に比べて高くなっています。



問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（〇は1つ）

性別については、「男性」の割合が49.4%、「女性」の割合が49.4%と同率となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「男性」が「女性」を上回っており、【精神障害者保健福祉手帳】、【自立支援医療】、【難病/小児慢性特定疾病】で「女性」が「男性」を上回っています。



問3 あなたの年齢（令和5年6月1日現在）をお答えください。

年齢については、「70歳以上」の割合が41.7%と最も高く、次いで「50歳代」が14.8%、「60歳代」が13.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【難病/小児慢性特定疾病】で「70歳以上」がそれぞれ64.0%、41.9%、【愛の手帳(療育手帳)】で「20歳代」が18.8%、【精神障害者保健福祉手帳】と【自立支援医療】で「50歳代」がそれぞれ27.4%、25.2%、【発達障害】と【障害児通所支援】で「6～15歳」がそれぞれ29.0%、47.1%と、最も高くなっています。

	合計	0 5 歳	6 5 歳	1 6 1 9 歳	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上	無 回 答
全体	1,545	1.2	4.5	1.2	4.9	6.3	9.8	14.8	13.6	41.7	2.0
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	0.4	0.9	0.4	2.3	1.5	4.4	9.5	15.1	64.0	1.5
愛の手帳(療育手帳)	191	4.7	17.8	3.7	18.8	16.8	15.7	15.7	2.6	2.6	1.6
精神障害者保健福祉手帳	263	0.0	3.4	1.1	8.4	15.2	20.5	27.4	12.5	9.5	1.9
発達障害	69	13.0	29.0	5.8	13.0	10.1	15.9	13.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	317	0.0	1.9	2.2	8.8	13.2	17.7	25.2	13.2	16.1	1.6
難病/小児慢性特定疾病	229	0.0	3.5	1.3	3.5	6.1	10.5	15.3	17.5	41.9	0.4
障害児通所支援	34	35.3	47.1	0.0	0.0	0.0	5.9	8.8	0.0	2.9	0.0

問4 あなたのお住まいをお聞きます。(〇は1つ)

住まいについては、「第4ブロック(小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目)」の割合が17.5%と最も高く、次いで「第7ブロック(前沢3～5丁目、滝山、弥生)」が17.1%、「第6ブロック(学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町)」が14.1%となっています。

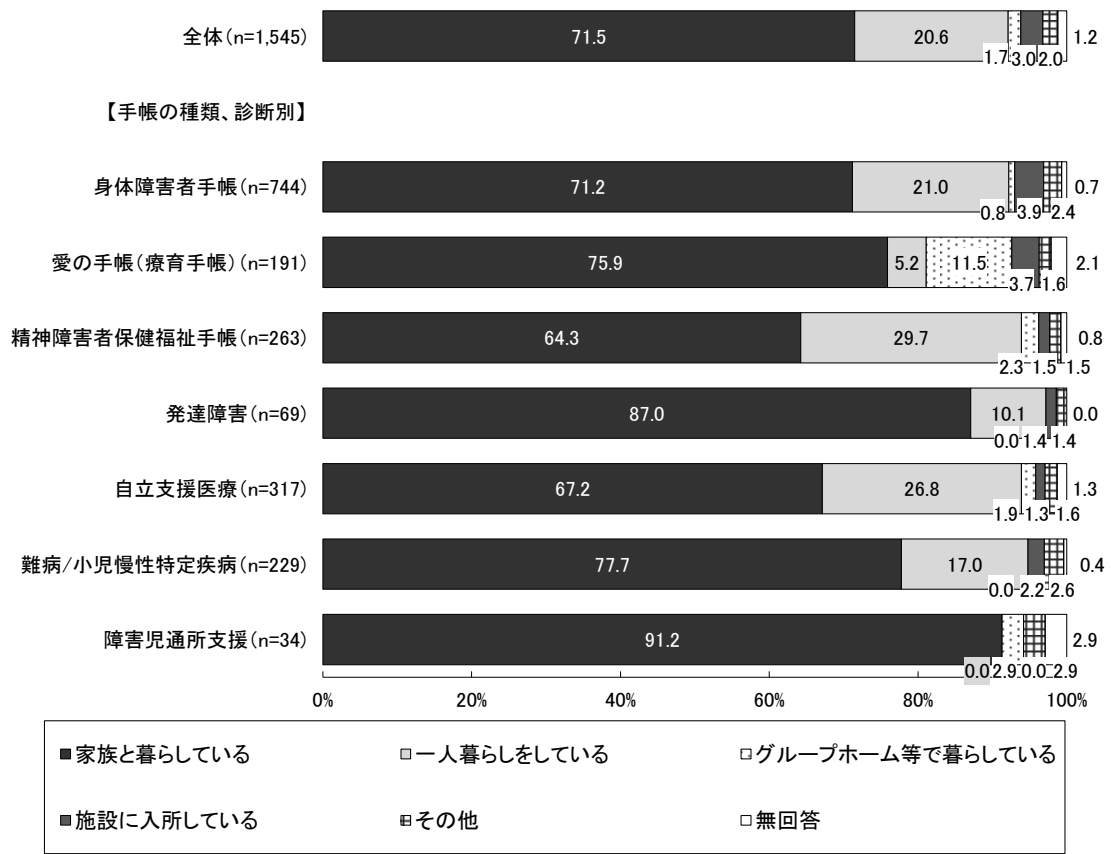
手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【障害児通所支援】で「第4ブロック(小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目)」がそれぞれ18.5%、26.5%、【愛の手帳(療育手帳)】で「第6ブロック(学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町)」が16.2%、【精神障害者保健福祉手帳】で「第5ブロック(中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目)」が16.3%、【発達障害】で「第1ブロック(上の原、神宝町、金山町、氷川台)」と「第5ブロック(中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目)」が同率で20.3%、【自立支援医療】と【難病/小児慢性特定疾病】で「第7ブロック(前沢3～5丁目、滝山、弥生)」がそれぞれ17.7%、22.3%と、最も高くなっています。

	合計	氷川台 第1ブロック (上の原、 神宝町、 金山町、)	第2ブロック (大門町、 新川町2 丁目、 浅間町)	第3ブロック (東本町、 新川町1 丁目、 本町)	第4ブロック (小山、 幸町、 下里1 丁目と 野火止、 八幡町 1丁目)	第5ブロック (中央町、 八幡町2 丁目と 前沢1 丁目、 2丁目)	第6ブロック (学園町、 ひばりが 丘団地、 南沢、 南町)	第7ブロック (前沢3 丁目、 5丁目、 滝山、 弥生)	第8ブロック (下里2 丁目、 6丁目、 柳窪)	市外 (入所施設、 グループ ホーム等)	無回答
全体	1,545	9.8	7.4	8.2	17.5	12.5	14.1	17.1	11.6	0.5	1.4
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	9.4	6.6	7.8	18.5	12.8	15.1	16.8	11.7	0.5	0.8
愛の手帳(療育手帳)	191	9.4	8.9	8.9	15.7	14.1	16.2	12.6	11.5	1.0	1.6
精神障害者保健福祉手帳	263	12.9	9.5	10.3	16.0	16.3	10.3	14.4	9.1	0.4	0.8
発達障害	69	20.3	5.8	7.2	8.7	20.3	15.9	11.6	10.1	0.0	0.0
自立支援医療	317	11.4	8.5	9.5	17.0	10.4	12.6	17.7	12.0	0.6	0.3
難病/小児慢性特定疾病	229	8.3	6.6	8.7	14.4	9.6	16.6	22.3	12.7	0.0	0.9
障害児通所支援	34	5.9	5.9	8.8	26.5	17.6	14.7	8.8	11.8	0.0	0.0

問5 あなたはどのような暮らし方をしていますか。(〇は1つ)

暮らし方については、「家族と暮らしている」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「一人暮らしをしている」が 20.6%、「施設に入所している」が 3.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【発達障害】と【障害児通所支援】で「家族と暮らしている」が8割台半ばを超えて高くなっています。また、【精神障害者保健福祉手帳】、【自立支援医療】で「一人暮らしをしている」が2割台後半と他に比べて高くなっています。



問5で「1 家族と暮らしている」か「2 一人暮らしをしている」に○をつけた方にお聞きします。

問5-1 あなたのお住まいの種類はどれですか。(○は1つ)

住まいの種類については、「持ち家の戸建て住宅」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「公営住宅(都営・公社住宅)」が 15.5%、「持ち家の集合住宅(マンション・アパート等)」が 14.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【精神障害者保健福祉手帳】で「賃貸の集合住宅(マンション・アパート等)」が 25.9%、「公営住宅(都営・公社住宅)」が 21.1%、【発達障害】と【自立支援医療】で「賃貸の集合住宅(マンション・アパート等)」がそれぞれ 20.9%、21.8%、【難病/小児慢性特定疾病】で「持ち家の集合住宅(マンション・アパート等)」が 21.2%と、他に比べて高くなっています。

	合計	持ち家の戸建て住宅	持ち家の集合住宅(マンション・アパート等)	賃貸の戸建て	賃貸の集合住宅(マンション・アパート等)	公営住宅(都営・公社住宅)	社宅・公務員住宅等	その他	無回答
全体	1,422	51.3	14.8	2.0	14.1	15.5	0.1	0.8	1.3
【手帳の種類、診断別】									
身体障害者手帳	686	55.2	14.0	1.7	11.7	15.7	0.0	0.4	1.2
愛の手帳(療育手帳)	155	58.7	13.5	2.6	10.3	11.6	0.6	0.0	2.6
精神障害者保健福祉手帳	247	33.6	12.1	2.0	25.9	21.1	0.4	2.8	2.0
発達障害	67	55.2	7.5	6.0	20.9	9.0	0.0	1.5	0.0
自立支援医療	298	36.6	16.1	2.7	21.8	18.8	0.3	2.0	1.7
難病/小児慢性特定疾病	217	49.8	21.2	1.4	12.9	13.4	0.0	0.5	0.9
障害児通所支援	31	64.5	6.5	0.0	19.4	9.7	0.0	0.0	0.0

2. あなたの障害の状況について

問6 あなたの持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きします。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級（度数）に○印をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

手帳の種類・診断の有無

手帳の種類・診断の有無については、「身体障害者手帳」の割合が48.2%と最も高く、次いで「自立支援医療を受けている」が20.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が17.0%となっています。

	合計	身体障害者手帳	愛の手帳（療育手帳）	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	自立支援医療（精神通院医療）を受けている	難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	障害児通所支援を利用している	無回答
全体	1,545	48.2	12.4	17.0	4.5	20.5	14.8	2.2	3.8

※難病又は小児慢性特定疾病の認定：この場合、東京都の難病医療費助成又は小児慢性特定疾病医療費助成を受給している方を指します。

身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級については、「1級」の割合が32.9%と最も高く、次いで「4級」が24.6%、「2級」が14.7%となっています。

	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体	744	32.9	14.7	12.4	24.6	7.7	4.0	3.8

愛の手帳（療育手帳）の等級

愛の手帳(療育手帳)の等級については、「4度」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「2度」が 28.8%、「3度」が 22.5%となっています。

	合計	1度	2度	3度	4度	無回答
全体	191	4.2	28.8	22.5	39.8	4.7

精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級については、「2級」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「3級」が 36.1%、「1級」が 4.9%となっています。

	合計	1級	2級	3級	無回答
全体	263	4.9	54.0	36.1	4.9

問6で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

問6-1 障害の種類は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

身体障害の種類については、「肢体不自由(上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害)」の割合が51.6%と最も高く、次いで「内部障害(心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害)」が34.5%、「聴覚・平衡機能障害」が7.3%となっています。

	合計	肢体不自由 (上肢機能障害・ 下肢機能障害・ 体幹機能障害)	音声・言語・ そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・ 平衡機能障害	内部障害 (心臓機能障害、 腎臓機能障害、 呼吸器機能障害、 膀胱・直腸機能 障害、小腸機能 障害、免疫機能 障害、肝臓機能 障害)	無回答
全体	744	51.6	4.6	6.9	7.3	34.5	3.4

すべての方にお聞きします。

問7 あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(〇は1つ)

普段の生活で介助が必要か、また主な介助者は誰かについては、「現状、介助は必要ない」の割合が42.7%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が13.4%、「親(父・母)」が10.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「親(父・母)」が、それぞれ47.6%、39.1%、47.1%と最も高くなっています。

	合計	親 (父・母)	配偶者 (夫・妻)	子 (子の配偶者を含む)	祖 父 母	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	近 隣 の 人 ・ 知 人 ・ 友 人	ホ ー ム ヘル パー	ボ ラ ン テ ィ ア	者 施 設 ・ 病 院 等 の 専 門 介 助
全体	1,545	10.7	13.4	3.8	0.1	0.9	0.1	0.3	2.9	0.1	3.8
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	5.2	19.6	5.1	0.0	1.1	0.0	0.3	4.2	0.1	5.0
愛の手帳(療育手帳)	191	47.6	1.0	0.0	0.5	2.1	0.0	0.5	0.5	0.0	5.8
精神障害者保健福祉手帳	263	14.8	9.9	2.3	0.4	1.1	0.4	0.0	3.8	0.0	3.0
発達障害	69	39.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
自立支援医療	317	11.0	7.3	1.9	0.3	0.3	0.3	0.0	4.1	0.0	2.2
難病/小児慢性特定疾病	229	6.6	14.0	5.7	0.0	0.4	0.4	0.9	1.3	0.0	2.2
障害児通所支援	34	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0

	合計	現 状 、 介 助 は 必 要 な い	そ の 他	無 回 答
全体	1,545	42.7	1.9	19.3
【手帳の種類、診断別】				
身体障害者手帳	744	38.4	2.2	18.8
愛の手帳(療育手帳)	191	21.5	2.1	18.3
精神障害者保健福祉手帳	263	44.1	1.9	18.3
発達障害	69	34.8	1.4	20.3
自立支援医療	317	51.1	1.3	20.2
難病/小児慢性特定疾病	229	47.6	1.3	19.7
障害児通所支援	34	17.6	2.9	29.4

普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きします。

問8 主な介助者の方が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

主な介助者の困っていることについては、「精神的な負担が大きい」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「介助者自身の健康に不安がある」が 33.0%、「長期の旅行や外出ができない」が 29.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【愛の手帳(療育手帳)】で「介助者自身の健康に不安がある」がそれぞれ 41.6%、32.7%、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【自立支援医療】、【障害児通所支援】で「精神的な負担が大きい」がそれぞれ4割台後半を超えて、【難病/小児慢性特定疾病】で「長期の旅行や外出ができない」が 35.5%と、最も高くなっています。

	合計	が代わりの介助を頼める人	い休養や息抜きの時間がな	ない長期の旅行や外出ができ	仕事に出られない	が介助者自身の健康に不安	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	特にな	その他
全体	449	28.7	20.9	29.0	11.6	33.0	23.8	35.4	19.4	20.3	2.9
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	231	30.3	21.2	33.8	12.1	41.6	28.1	33.3	18.6	19.5	2.6
愛の手帳(療育手帳)	98	31.6	20.4	29.6	18.4	32.7	24.5	28.6	18.4	21.4	4.1
精神障害者保健福祉手帳	76	28.9	21.1	21.1	7.9	22.4	15.8	48.7	26.3	19.7	3.9
発達障害	28	25.0	32.1	21.4	17.9	21.4	14.3	57.1	17.9	25.0	3.6
自立支援医療	67	26.9	20.9	20.9	13.4	14.9	16.4	49.3	25.4	16.4	4.5
難病/小児慢性特定疾病	62	30.6	24.2	35.5	6.5	32.3	22.6	27.4	14.5	22.6	1.6
障害児通所支援	16	18.8	31.3	37.5	31.3	31.3	25.0	50.0	6.3	25.0	0.0

	合計	無回答
全体	449	7.3
【手帳の種類、診断別】		
身体障害者手帳	231	7.8
愛の手帳(療育手帳)	98	6.1
精神障害者保健福祉手帳	76	2.6
発達障害	28	0.0
自立支援医療	67	10.4
難病/小児慢性特定疾病	62	3.2
障害児通所支援	16	6.3

普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きします。

問9 今後、介助や支援にあたって課題になると考えられることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

今後、介助や支援にあたって課題になると考えられることについては、「介助者自身の健康に不安がある」の割合が40.8%と最も高く、次いで「代替りの介助を頼める人がいない」が36.5%、次いで「精神的な負担が大きい」が34.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【愛の手帳(療育手帳)】で「介助者自身の健康に不安がある」がそれぞれ45.5%、50.0%、【精神障害者保健福祉手帳】、【自立支援医療】、【障害児通所支援】で「精神的な負担が大きい」がそれぞれ4割台、【発達障害】で「介助者自身の健康に不安がある」と「精神的な負担が大きい」が同率で50.0%、【難病/小児慢性特定疾病】で「身体的な負担が大きい」が40.3%と、最も高くなっています。

	合計	が代わりの介助を頼める人がいない	休養や息抜きの時間が足りない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	あて名のご本人の住まいの確保	あて名のご本人の権利擁護に関する問題
全体	449	36.5	19.2	25.8	11.1	40.8	32.3	34.3	26.3	9.4	9.8
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	231	39.4	19.5	31.2	10.0	45.5	38.1	32.5	27.3	6.5	5.6
愛の手帳(療育手帳)	98	35.7	21.4	21.4	16.3	50.0	34.7	29.6	27.6	25.5	26.5
精神障害者保健福祉手帳	76	35.5	18.4	21.1	9.2	38.2	22.4	48.7	32.9	5.3	10.5
発達障害	28	39.3	42.9	25.0	28.6	50.0	28.6	50.0	39.3	28.6	17.9
自立支援医療	67	35.8	19.4	23.9	19.4	37.3	28.4	49.3	32.8	9.0	10.4
難病/小児慢性特定疾病	62	33.9	17.7	27.4	6.5	35.5	40.3	29.0	17.7	3.2	4.8
障害児通所支援	16	25.0	25.0	37.5	31.3	31.3	31.3	43.8	37.5	18.8	18.8

	合計	特にない	その他	無回答
全体	449	11.8	1.6	7.3
【手帳の種類、診断別】				
身体障害者手帳	231	10.4	1.7	6.9
愛の手帳(療育手帳)	98	12.2	2.0	6.1
精神障害者保健福祉手帳	76	11.8	0.0	3.9
発達障害	28	14.3	0.0	3.6
自立支援医療	67	6.0	1.5	9.0
難病/小児慢性特定疾病	62	11.3	1.6	8.1
障害児通所支援	16	25.0	0.0	0.0

普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きします。

問10 普段介助している方が一時的に介助できなくなったとき、あなたはどのようにしますか。
(あてはまるものすべてに○)

普段介助している方が一時的に介助できなくなったときの対処方法については、「施設への短期入所(ショートステイ)を利用する」の割合が26.9%と最も高く、次いで「同居していない家族や親せきに介助を頼む」が26.1%、「同居している他の家族に介助を頼む」が22.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【難病/小児慢性特定疾病】で「施設への短期入所(ショートステイ)を利用する」がそれぞれ30.7%、40.3%、【愛の手帳(療育手帳)】で「同居している他の家族に介助を頼む」が38.8%、【精神障害者保健福祉手帳】で「介助を頼むあてがない」が27.6%、【発達障害】で「同居している他の家族に介助を頼む」と「同居していない家族や親せきに介助を頼む」が同率で35.7%、【自立支援医療】で「同居している他の家族に介助を頼む」と「介助を頼むあてがない」が同率で22.4%、【障害児通所支援】で「同居していない家族や親せきに介助を頼む」が50.0%と、最も高くなっています。

	合計	同居している他の家族に介助を頼む	同居していない家族や親せきに介助を頼む	サ―ビスを利用する	施設への短期入所(ショートステイ)を利用する	知人・友人に介助を頼む	ボランティアに介助を頼む	介助を頼むあてがない	その他	無回答
全体	449	22.9	26.1	21.4	26.9	3.1	2.7	12.9	4.9	13.1
【手帳の種類、診断別】										
身体障害者手帳	231	18.2	27.3	27.7	30.7	3.0	3.0	10.8	3.0	13.9
愛の手帳(療育手帳)	98	38.8	20.4	14.3	34.7	4.1	0.0	12.2	6.1	13.3
精神障害者保健福祉手帳	76	26.3	25.0	9.2	9.2	2.6	1.3	27.6	9.2	9.2
発達障害	28	35.7	35.7	7.1	10.7	3.6	3.6	17.9	3.6	10.7
自立支援医療	67	22.4	19.4	10.4	10.4	1.5	1.5	22.4	7.5	14.9
難病/小児慢性特定疾病	62	22.6	24.2	35.5	40.3	3.2	6.5	6.5	1.6	6.5
障害児通所支援	16	43.8	50.0	6.3	12.5	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3

すべての方にお聞きします。

問11 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

医療的な支援（医療的ケア）を受けているかについては、「受けていない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「その他」が6.9%、「人工透析」が4.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【発達障害】で「受けていない」が84.1%と、他に比べてやや高くなっています。

	合計	受けていない	経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	吸引（口鼻腔内・エアウェイ内・気管内）	酸素管理	エアウェイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理	理	胃ろう・腸ろう部の衛生管理	中心静脈栄養	人工透析
全体	1,545	71.8	0.9	1.9	1.1	0.1	1.0	0.6	0.8	0.1	4.5	
【手帳の種類、診断別】												
身体障害者手帳	744	66.5	1.7	2.7	1.3	0.1	1.9	0.9	1.3	0.1	8.7	
愛の手帳（療育手帳）	191	79.1	1.6	3.7	1.0	0.0	0.0	1.6	1.0	0.0	0.5	
精神障害者保健福祉手帳	263	73.0	0.4	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	
発達障害	69	84.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
自立支援医療	317	74.8	0.3	1.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9	
難病/小児慢性特定疾病	229	72.5	1.3	2.6	3.5	0.4	1.7	1.3	1.7	0.0	1.7	
障害児通所支援	34	79.4	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	

	合計	定時の薬液吸入	人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等	その他	無回答
全体	1,545	1.0	0.5	6.9	12.9
【手帳の種類、診断別】					
身体障害者手帳	744	1.2	0.8	8.1	12.2
愛の手帳（療育手帳）	191	1.6	0.5	4.7	12.0
精神障害者保健福祉手帳	263	2.3	0.0	10.3	13.3
発達障害	69	0.0	0.0	4.3	11.6
自立支援医療	317	1.6	0.3	8.5	12.3
難病/小児慢性特定疾病	229	1.3	0.9	4.4	15.3
障害児通所支援	34	0.0	2.9	11.8	8.8

3. 日常生活について

問 12 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

日常生活で困っていることについては、「将来の生活のこと」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「身体・健康のこと」が 31.3%、「特にない」が 25.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「日常会話・コミュニケーションのこと」が 34.0%、「将来の生活のこと」が 49.2%、「親や介助者の高齢化のこと」が 39.3%、【精神障害者保健福祉手帳】で「仕事や収入・生活費のこと」が 51.7%、「友人関係、近所づきあい」が 25.9%、「将来の生活のこと」が 52.1%、【自立支援医療】で「仕事や収入・生活費のこと」が 47.9%、「将来の生活のこと」が 48.3%、【障害児通所支援】で「日常会話・コミュニケーションのこと」が 58.8%、「友人関係、近所づきあい」が 23.5%、「進学・学校生活のこと」が 35.3%と、他と比べて高くなっています。また、【発達障害】では、「福祉サービスに関すること」、「身体・健康のこと」、「特にない」、「その他」を除いたすべての項目で、全体と比較して高くなっています。

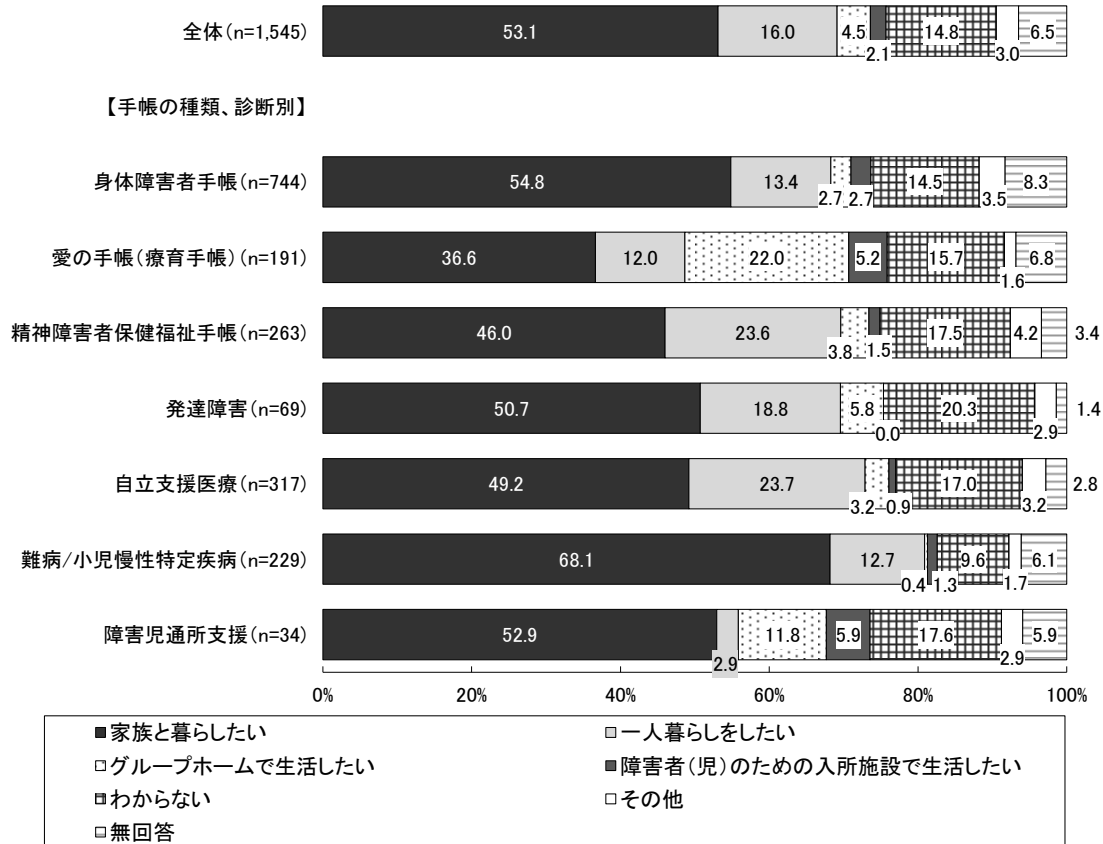
	合計	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
全体	1,545	10.4	23.4	14.4	4.4	10.2	32.4	17.3	8.6	6.3	8.8
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	11.4	14.5	10.3	2.0	5.6	24.5	19.0	8.6	4.4	8.3
愛の手帳(療育手帳)	191	14.1	17.8	34.0	9.4	14.7	49.2	18.3	10.5	11.5	15.7
精神障害者保健福祉手帳	263	12.9	51.7	25.5	9.1	25.9	52.1	21.3	11.4	12.5	13.7
発達障害	69	18.8	42.0	44.9	21.7	29.0	50.7	27.5	14.5	17.4	8.7
自立支援医療	317	12.3	47.9	18.6	6.9	20.2	48.3	19.2	8.8	11.4	8.2
難病/小児慢性特定疾病	229	10.0	17.0	6.6	3.1	2.6	28.8	14.0	9.2	3.5	7.0
障害児通所支援	34	20.6	20.6	58.8	17.6	23.5	35.3	20.6	8.8	11.8	14.7

	合計	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	(相談できる人がいない)	特にない	その他	無回答
全体	1,545	3.0	11.5	8.3	31.3	3.8	18.2	10.4	25.1	2.4	7.6
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	0.4	13.6	3.9	34.7	1.2	16.0	7.9	26.9	2.4	10.2
愛の手帳(療育手帳)	191	7.3	13.6	19.4	20.9	6.8	39.3	11.5	18.8	1.6	5.8
精神障害者保健福祉手帳	263	4.6	11.8	21.7	35.7	12.9	27.8	21.7	10.6	3.0	3.4
発達障害	69	29.0	18.8	30.4	33.3	18.8	24.6	27.5	7.2	1.4	1.4
自立支援医療	317	2.2	10.1	15.5	31.9	9.8	22.4	19.6	17.0	2.5	4.4
難病/小児慢性特定疾病	229	1.3	7.9	3.1	33.2	1.3	14.4	3.5	33.6	1.3	6.1
障害児通所支援	34	35.3	11.8	11.8	29.4	2.9	20.6	8.8	5.9	5.9	5.9

問 13 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。（〇は1つ）

今後暮らしたいと思う生活の場については、「家族と暮らしたい」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「一人暮らしをしたい」が 16.0%、「わからない」が 14.8%となっています。

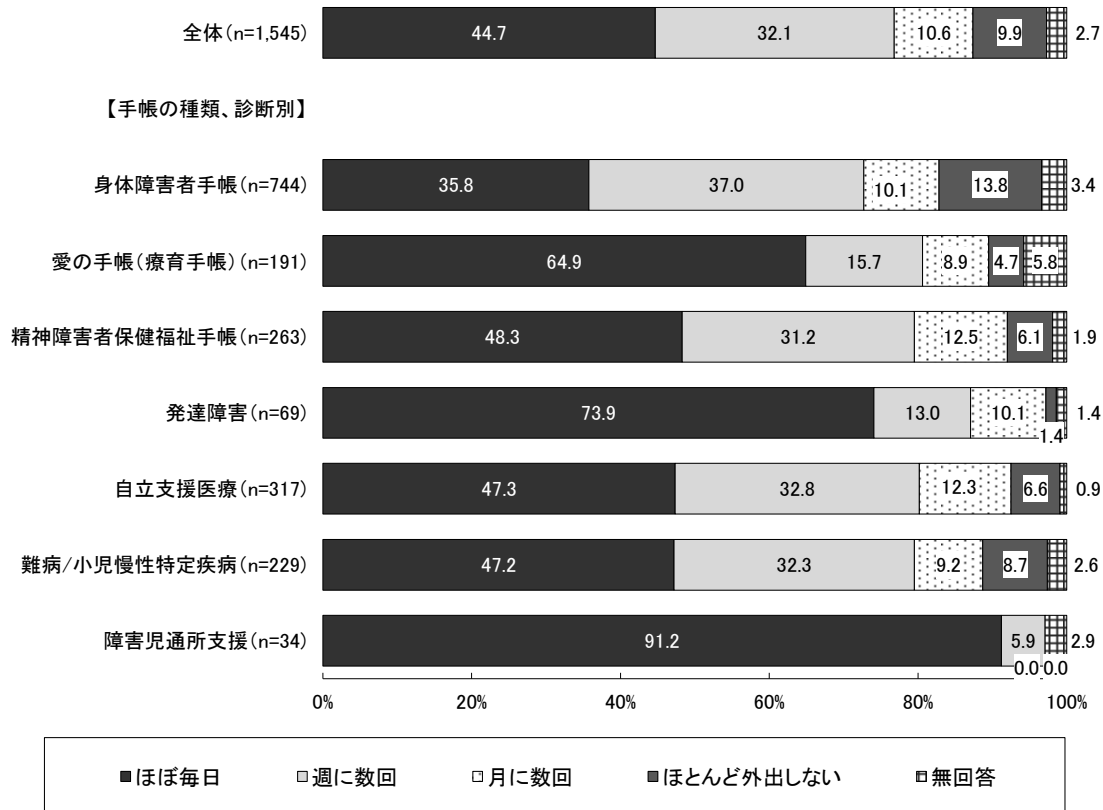
手帳の種類・診断別にみると、いずれも「家族と暮らしたい」が最も高くなっているものの、【愛の手帳（療育手帳）】で 36.6%と、他に比べてやや低くなっています。また、【愛の手帳（療育手帳）】で「グループホームで生活したい」が 22.0%、【精神障害者保健福祉手帳】と【自立支援医療】で「一人暮らしをしたい」がそれぞれ 23.6%、23.7%、【発達障害】で「わからない」が 20.3%と、他に比べてやや高くなっています。



問 14 あなたは、普段どれくらい外出しますか。（〇は1つ）

普段どれくらい外出するかについては、「ほぼ毎日」の割合が44.7%と最も高く、次いで「週に数回」が32.1%、「月に数回」が10.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「ほぼ毎日」が6割台半ばから9割台前半と、他に比べて高くなっています。



問 15 普段外出するときに、困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

普段外出するときに困ることについては、「特にない」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「休憩できる場所が少ない」が 18.7%、「道路や駅に階段や段差が多い」が 17.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「切符の買い方や乗換えがわかりにくい」が 17.3%、「困った時にどうすればよいか心配」が 36.6%、【精神障害者保健福祉手帳】で「交通費(運賃など)にお金がかかる」が 29.7%、「周囲の目が気になる」が 17.5%、「発作など突然の体調不良が心配」が 24.0%、【発達障害】で「困った時にどうすればよいか心配」が 37.7%、【自立支援医療】で「交通費(運賃など)にお金がかかる」が 26.5%、「発作など突然の体調不良が心配」が 24.0%と、他と比べて高くなっています。

	合計	バスや電車が少ない、または公共交通機関	難しいバスや電車などの乗り降りが	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えがわかりにくい	建物の設備が不便 トイレやエレベーターなどの	介助者が確保できない	交通費(運賃など)にお金がかかる	ヘルパーの利用料などにお金がかかる	周囲の目が気になる	周囲の人からの配慮・手助けがない
全体	1,545	5.6	14.0	17.5	5.3	10.4	4.2	15.4	4.0	6.8	4.0
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	7.4	18.5	24.9	4.3	15.3	5.1	11.6	5.1	3.9	4.6
愛の手帳(療育手帳)	191	3.1	18.3	8.4	17.3	8.4	11.0	15.2	9.4	11.5	6.3
精神障害者保健福祉手帳	263	4.6	6.1	8.0	6.5	4.6	1.5	29.7	2.7	17.5	3.0
発達障害	69	2.9	11.6	7.2	11.6	5.8	2.9	21.7	4.3	14.5	8.7
自立支援医療	317	5.7	9.8	11.0	5.7	6.3	2.8	26.5	3.5	12.9	3.5
難病/小児慢性特定疾病	229	3.5	17.0	21.8	1.7	14.0	4.4	12.2	1.7	4.8	4.4
障害児通所支援	34	5.9	14.7	11.8	8.8	14.7	5.9	17.6	8.8	11.8	11.8

	合計	発作など突然の体調不良が心配	困った時にどうすればよいか心配	休憩できる場所が少ない	特にない	その他	無回答
全体	1,545	15.0	16.6	18.7	31.8	5.5	9.0
【手帳の種類、診断別】							
身体障害者手帳	744	13.0	13.8	23.1	26.1	7.4	11.2
愛の手帳(療育手帳)	191	15.2	36.6	9.9	24.6	5.8	10.5
精神障害者保健福祉手帳	263	24.0	24.3	20.2	32.3	6.5	5.7
発達障害	69	18.8	37.7	13.0	30.4	14.5	1.4
自立支援医療	317	24.0	18.0	18.3	31.5	6.6	4.7
難病/小児慢性特定疾病	229	18.3	8.7	18.8	36.7	2.2	7.9
障害児通所支援	34	11.8	32.4	11.8	38.2	8.8	2.9

問 16 あなたが生活していく上での収入は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

生活していく上での収入については、「年金・手当など」の割合が64.4%と最も高く、次いで「家族の収入・親戚などの援助」が28.2%、「勤め先の給与・賃金」が22.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【発達障害】と【障害児通所支援】で「家族の収入・親戚などの援助」がそれぞれ69.6%、88.2%と最も高くなっています。また、【愛の手帳(療育手帳)】で「通所施設・事業所などの賃金・工賃」が22.0%、【精神障害者保健福祉手帳】で「生活保護費」が19.8%、【自立支援医療】で「勤め先の給与・賃金」が30.9%、「生活保護費」が17.0%、【難病/小児慢性特定疾病】で「勤め先の給与・賃金」が29.7%と、他に比べて高くなっています。

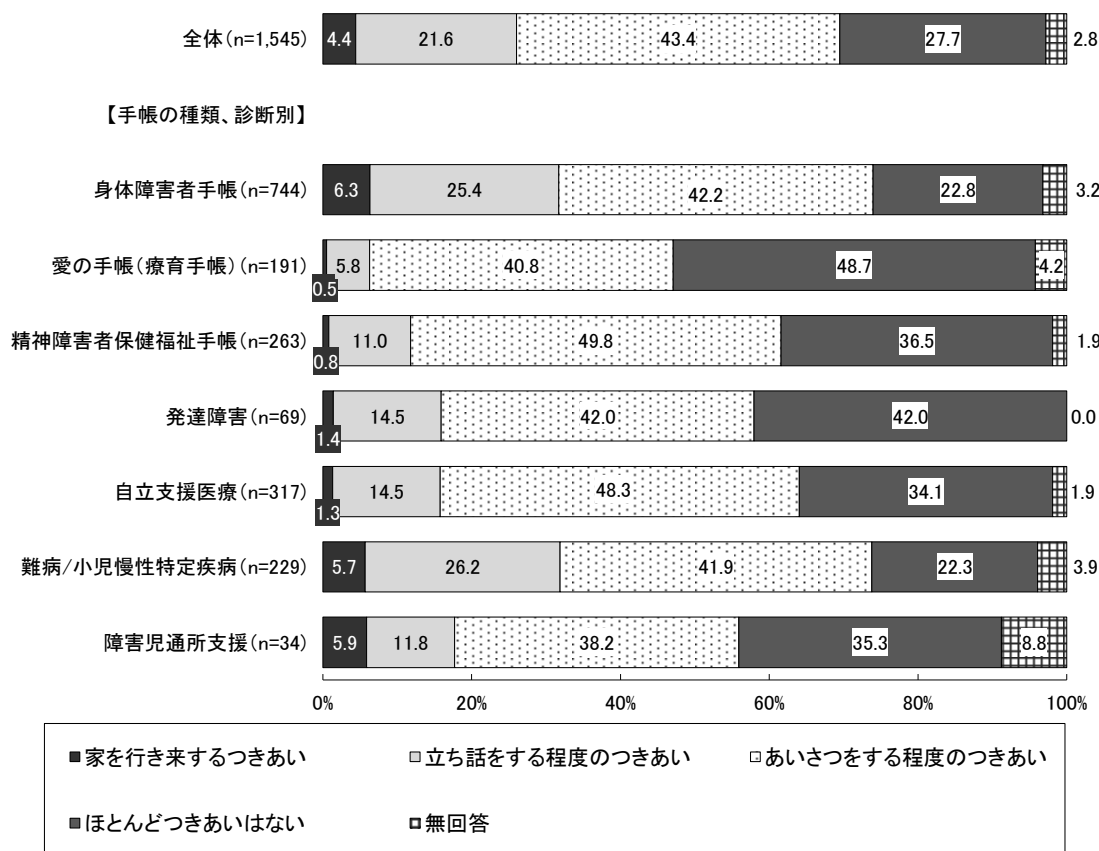
	合計	勤め先の給与・賃金	通所施設・事業所などの賃金・工賃	事業収入（自営業など）	財産収入（家賃収入など）	年金・手当など	家族の収入・親戚などの援助	生活保護費	その他	無回答
全体	1,545	22.2	4.9	2.3	2.2	64.4	28.2	7.8	2.7	2.1
【手帳の種類、診断別】										
身体障害者手帳	744	16.9	1.9	2.6	2.4	78.6	17.7	5.2	2.2	2.3
愛の手帳(療育手帳)	191	20.9	22.0	0.0	2.1	56.0	52.9	5.8	2.1	3.1
精神障害者保健福祉手帳	263	25.1	11.4	1.1	0.8	59.3	37.3	19.8	5.7	2.3
発達障害	69	20.3	7.2	1.4	0.0	31.9	69.6	4.3	4.3	0.0
自立支援医療	317	30.9	7.6	1.3	0.9	50.2	36.0	17.0	4.4	1.6
難病/小児慢性特定疾病	229	29.7	1.3	3.1	1.7	59.4	29.7	2.2	1.7	1.3
障害児通所支援	34	0.0	8.8	0.0	0.0	20.6	88.2	0.0	0.0	5.9

4. 地域での生活について

問 17 あなたは、普段、近所の方との程度おつきあいをしていますか。（〇は1つ）

普段近所の方との程度おつきあいをしているかについては、「あいさつをする程度のつきあい」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」が 27.7%、「立ち話をする程度のつきあい」が 21.6%となっています。

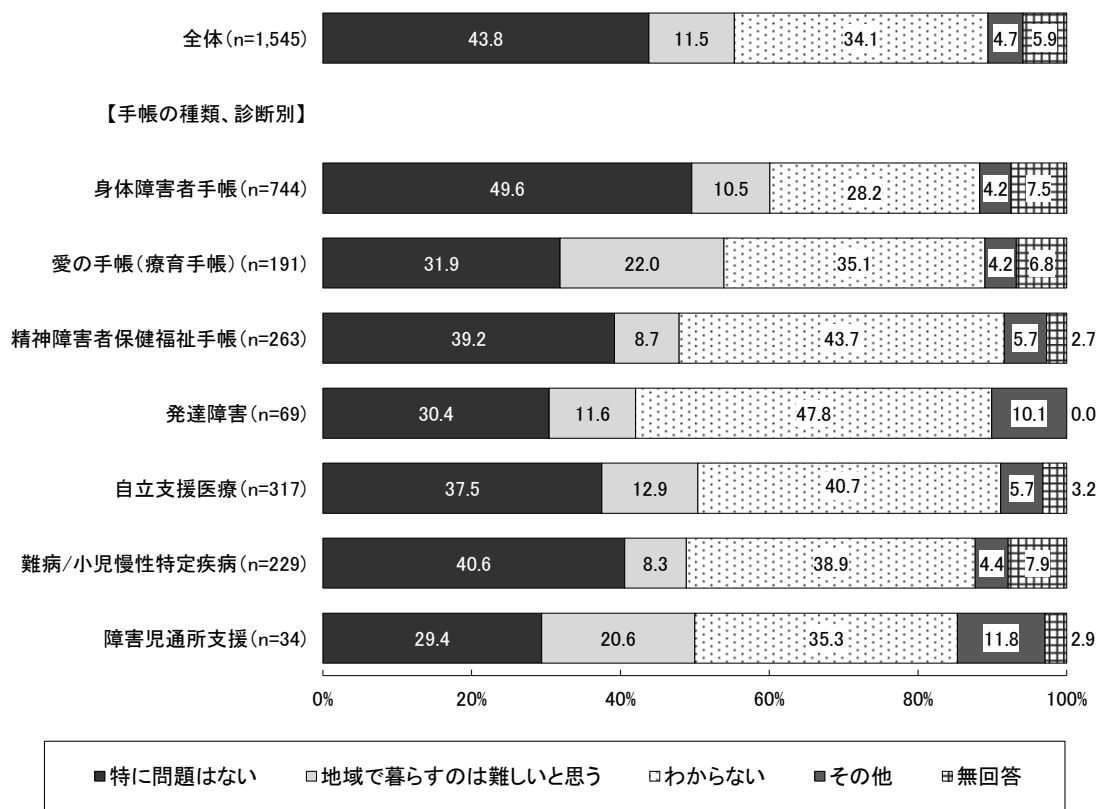
手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】と【発達障害】で「ほとんどつきあいはない」がそれぞれ 48.7%、42.0%と、他に比べて高くなっています。



問 18 障害者（児）が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。（〇は1つ）

障害者（児）が入所施設ではなく、今後住み慣れた地域で暮らしていくことをどう思うかについては、「特に問題はない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「わからない」が 34.1%、「地域で暮らすのは難しいと思う」が 11.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】と【障害児通所支援】で「地域で暮らすのは難しいと思う」がそれぞれ 22.0%、20.6%と、他に比べて高くなっています。



地域移行
 本人の希望に沿って入所・入院施設から一般の住居やグループホーム等、生活の拠点を地域の中に移していくことを、「地域移行」といいます。

問 19 あなたは、障害者（児）が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（特に必要と思われるもの3つまで○）

障害者（児）が地域で生活していくために必要だと思うことについては、「地域生活やサービス利用に関する相談支援」の割合が37.5%と最も高く、次いで「地域の人たちの障害に対する理解」が31.5%、「利用しやすい医療機関」が29.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「グループホームの拡充」が38.2%、【発達障害】で「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」が37.7%、「障害者のための住宅の確保」が39.1%、「一般就労するための支援」が36.2%、【自立支援医療】で「一般就労するための支援」が26.8%、【障害児通所支援】で「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」が55.9%、「グループホームの拡充」が32.4%、「障害者のための住宅の確保」が32.4%、「一般就労するための支援」が50.0%と、他に比べて高くなっています。

	合計	地域生活やサービス利用に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中の活動・訓練場所や作業所の充実	グループホームの拡充	手話などによるコミュニケーションの支援	障害者のための住宅の確保	利用しやすい医療機関	一般就労するための支援	交通機関や施設などのバリアフリー化	地域の人たちの障害に対する理解
全体	1,545	37.5	22.3	21.7	10.2	2.3	18.9	29.8	16.6	18.0	31.5
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	34.0	23.4	13.7	6.0	1.9	15.6	33.3	9.8	20.3	20.6
愛の手帳(療育手帳)	191	42.4	20.9	38.7	38.2	1.0	26.2	23.0	18.3	7.3	41.9
精神障害者保健福祉手帳	263	42.2	19.8	27.4	8.4	3.8	29.7	24.3	28.9	12.5	44.9
発達障害	69	47.8	23.2	37.7	18.8	2.9	39.1	17.4	36.2	10.1	62.3
自立支援医療	317	41.3	18.3	27.4	9.8	4.4	25.6	23.3	26.8	17.7	45.1
難病/小児慢性特定疾病	229	33.6	25.3	23.6	5.7	1.3	15.7	31.4	15.7	25.3	35.4
障害児通所支援	34	47.1	29.4	55.9	32.4	0.0	32.4	26.5	50.0	11.8	61.8

	合計	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	1,545	8.5	2.4	7.8
【手帳の種類、診断別】				
身体障害者手帳	744	11.6	1.7	9.4
愛の手帳(療育手帳)	191	6.3	3.7	5.8
精神障害者保健福祉手帳	263	5.3	3.4	6.5
発達障害	69	1.4	7.2	0.0
自立支援医療	317	4.4	3.2	6.9
難病/小児慢性特定疾病	229	6.6	3.1	6.1
障害児通所支援	34	0.0	5.9	2.9

問 20 あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特に困るのはどのような場合ですか。（あてはまるものすべてに○）

相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に特に困難を感じる場合については、「特にない」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「初めて行くところに出かける時」が 26.7%、「病院にかかった時」が 18.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「初めて行くところに出かける時」が 3 割台後半から 5 割台前半と、最も高くなっています。また、【愛の手帳(療育手帳)】で「特にない」を除いたすべての項目で、【障害児通所支援】で「仕事をする時」、「特にない」を除いたすべての項目で他に比べて高くなっています。

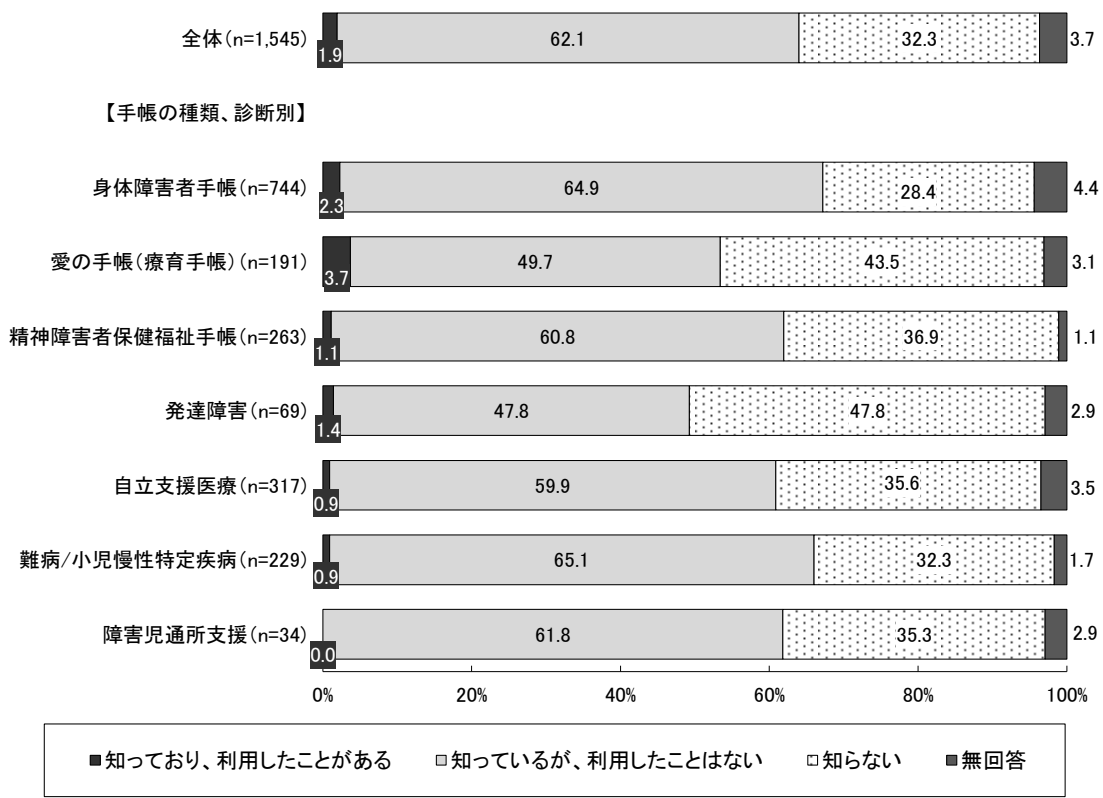
	合計	飲食店を利用する時	初めて行くところに出かける時	銀行を利用する時	病院にかかった時	旅行をする時	買い物をする時	スポーツやレクリエーションに参加する時	家を探す時	仕事をする時	その他
全体	1,545	10.4	26.7	10.4	18.9	10.7	11.2	6.5	5.6	10.0	4.9
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	12.0	21.6	10.3	20.3	12.0	11.8	5.4	3.0	5.2	4.6
愛の手帳(療育手帳)	191	24.1	50.8	28.8	34.0	23.6	22.0	15.7	16.2	16.2	11.0
精神障害者保健福祉手帳	263	9.5	38.0	12.2	19.8	9.5	13.3	8.0	12.9	27.4	6.5
発達障害	69	13.0	46.4	14.5	23.2	14.5	14.5	18.8	17.4	26.1	10.1
自立支援医療	317	6.3	34.7	10.1	16.7	6.6	8.2	6.0	7.6	19.9	4.7
難病/小児慢性特定疾病	229	10.0	18.8	5.7	14.4	7.9	8.7	1.7	1.3	2.6	2.2
障害児通所支援	34	17.6	50.0	17.6	26.5	23.5	20.6	20.6	17.6	11.8	11.8

	合計	特にない	無回答
全体	1,545	44.1	8.7
【手帳の種類、診断別】			
身体障害者手帳	744	44.8	10.8
愛の手帳(療育手帳)	191	18.8	7.3
精神障害者保健福祉手帳	263	32.7	4.2
発達障害	69	29.0	1.4
自立支援医療	317	39.7	6.0
難病/小児慢性特定疾病	229	55.5	8.7
障害児通所支援	34	23.5	2.9

**問 21 あなたは、成年後見制度について知っていますか。また、利用したことはありますか。
(〇は1つ)**

成年後見制度について知っているか、利用したことはあるかについては、「知っているが、利用したことはない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「知らない」が32.3%、「知っており、利用したことがある」が1.9%となっています。

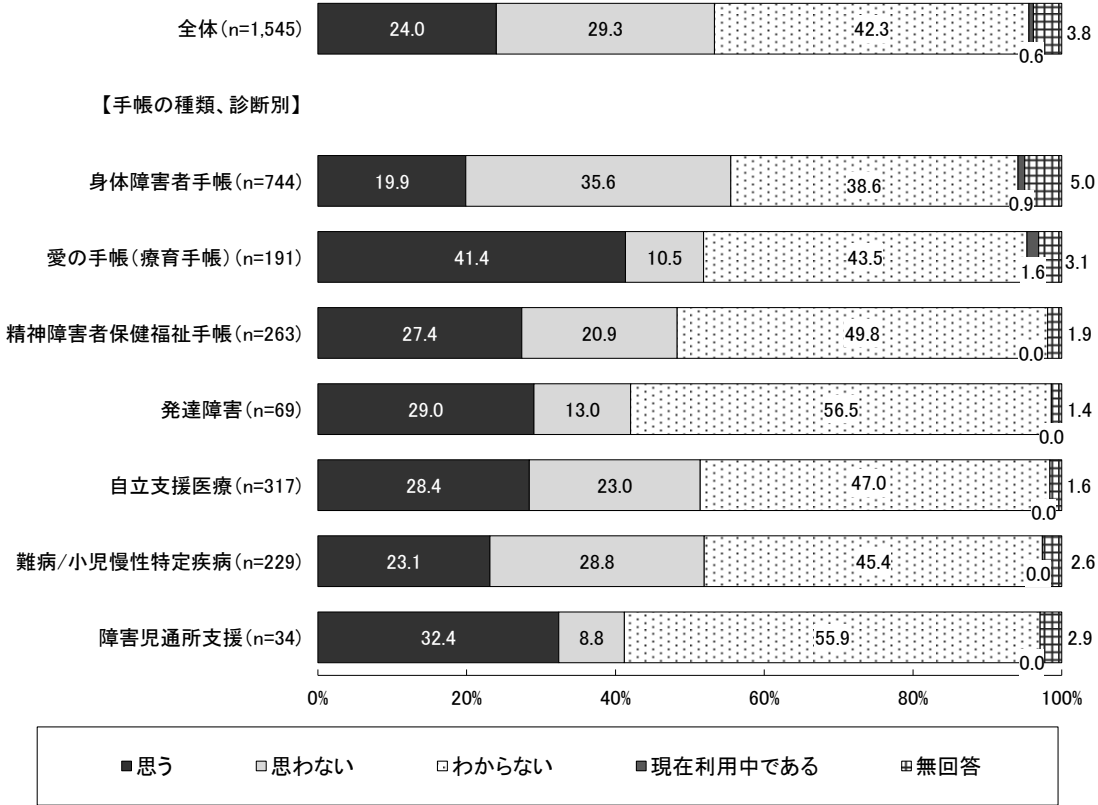
手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】と【発達障害】で「知らない」がそれぞれ43.5%、47.8%と、他に比べて高くなっています。



問 22 将来的にあなたご自身がいろいろな契約や手続をする際にひとりで決めることに不安や心配のある場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（〇は1つ）

成年後見制度について利用したいと思うかについては、「わからない」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「思わない」が 29.3%、「思う」が 24.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】と【障害児通所支援】で「思う」がそれぞれ 41.4%、32.4%と、他に比べて高くなっています。



問 23 地域で生活するなかで、あなたが手助けしてほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

地域で生活するなかで、手助けしてほしいと思うことについては、「特にない」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「災害時等の緊急時の援助」が 32.6%、「安否の声かけ」が 15.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「安否の声かけ」が 25.7%、「ちょっとした買い物」が 20.9%、「掃除・洗たく」が 27.2%、「調理や食事の手伝い」が 29.3%、【発達障害】で「趣味などの話し相手」が 20.3%、「掃除・洗たく」が 24.6%、「調理や食事の手伝い」が 24.6%、【障害児通所支援】で「安否の声かけ」が 26.5%、「趣味などの話し相手」が 26.5%、「掃除・洗たく」が 23.5%、「調理や食事の手伝い」が 26.5%と、他に比べて高くなっています。

	合計	安否の声かけ	趣味などの話し相手	子育て・介護等の相談相手	ちょっとした買い物	ゴミ出し	掃除・洗たく	草むしりや植木の手入れ	調理や食事の手伝い	災害時等の緊急時の援助	その他
全体	1,545	15.1	10.7	4.9	11.5	10.8	13.5	13.2	13.3	32.6	4.1
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	12.8	8.3	3.5	11.3	10.3	13.2	17.1	12.2	34.1	3.8
愛の手帳(療育手帳)	191	25.7	18.3	6.3	20.9	20.4	27.2	8.4	29.3	50.8	6.8
精神障害者保健福祉手帳	263	19.4	18.3	8.7	13.7	14.4	18.3	12.5	19.0	31.2	8.0
発達障害	69	17.4	20.3	8.7	13.0	17.4	24.6	10.1	24.6	34.8	8.7
自立支援医療	317	16.4	16.7	4.7	11.0	8.8	14.5	7.6	14.5	27.8	6.0
難病/小児慢性特定疾病	229	11.4	6.1	6.6	10.0	9.6	9.6	10.5	8.3	27.9	1.7
障害児通所支援	34	26.5	26.5	11.8	17.6	14.7	23.5	8.8	26.5	32.4	5.9

	合計	特にない	無回答
全体	1,545	37.9	6.7
【手帳の種類、診断別】			
身体障害者手帳	744	37.2	8.2
愛の手帳(療育手帳)	191	20.9	5.2
精神障害者保健福祉手帳	263	31.2	3.0
発達障害	69	37.7	0.0
自立支援医療	317	37.5	4.4
難病/小児慢性特定疾病	229	48.5	3.9
障害児通所支援	34	32.4	8.8

5. 社会参加について

問 24 これまでに余暇活動、文化芸術・スポーツ活動など、参加したことがあるものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

これまでに参加したことがある活動については、「特にない」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 36.9%、「旅行」が 35.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】で「特にない」が 41.4%、【愛の手帳(療育手帳)】と【障害児通所支援】で「旅行」がそれぞれ 42.4%、47.1%、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【自立支援医療】で「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が4割台半ばから5割台前半、【難病/小児慢性特定疾病】で「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」と「特にない」が同率で 38.4%と、最も高くなっています。

また、【愛の手帳(療育手帳)】で「障害者団体などの活動」が 26.2%、【障害児通所支援】で「スポーツ活動」が 32.4%、「学習や趣味の活動」が 26.5%と、他に比べて高くなっています。また、【発達障害】では「特にない」、「その他」を除いたすべての項目で、他に比べて高くなっています。

	合計	コンサートの鑑賞・見学	スポーツ活動	旅行	学習や趣味の活動	ボランティアなどの社会貢献活動	地域での交流、自治会などの活動	障害者団体などの活動	パソコンを使った活動	特になし	その他
全体	1,545	36.9	18.7	35.2	19.4	8.5	12.4	7.5	8.3	37.3	1.7
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	30.5	14.1	31.3	16.4	7.3	12.8	6.2	5.5	41.4	2.0
愛の手帳(療育手帳)	191	39.3	23.6	42.4	15.2	1.6	7.3	26.2	3.1	31.9	1.6
精神障害者保健福祉手帳	263	47.9	19.0	39.5	21.7	12.9	10.3	8.7	17.1	28.9	1.9
発達障害	69	52.2	42.0	49.3	36.2	14.5	17.4	15.9	18.8	26.1	1.4
自立支援医療	317	46.4	19.6	37.9	22.1	12.0	10.1	7.9	14.8	31.5	3.2
難病/小児慢性特定疾病	229	38.4	21.4	36.7	24.0	10.5	13.5	3.1	10.0	38.4	0.9
障害児通所支援	34	38.2	32.4	47.1	26.5	2.9	14.7	11.8	11.8	29.4	2.9

	合計	無回答
全体	1,545	5.3
【手帳の種類、診断別】		
身体障害者手帳	744	6.2
愛の手帳(療育手帳)	191	6.3
精神障害者保健福祉手帳	263	3.8
発達障害	69	1.4
自立支援医療	317	4.4
難病/小児慢性特定疾病	229	4.4
障害児通所支援	34	0.0

問 25 今後参加したい余暇活動、文化芸術・スポーツ活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

今後参加したい活動については、「特にない」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が 30.5%、「旅行」が 29.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【難病/小児慢性特定疾病】で「特にない」がそれぞれ 41.3%、39.3%、【愛の手帳(療育手帳)】と【障害児通所支援】で「旅行」がそれぞれ 35.6%、47.1%、【精神障害者保健福祉手帳】と【自立支援医療】で「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」がそれぞれ 35.4%、35.3%、【発達障害】で「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」と「学習や趣味の活動」が同率で 40.6%と、最も高くなっています。

また、【発達障害】で「スポーツ活動」が 33.3%、「学習や趣味の活動」が 40.6%、「パソコンを使った活動」が 23.2%、【障害児通所支援】で「スポーツ活動」が 35.3%と、他に比べて高くなっています。

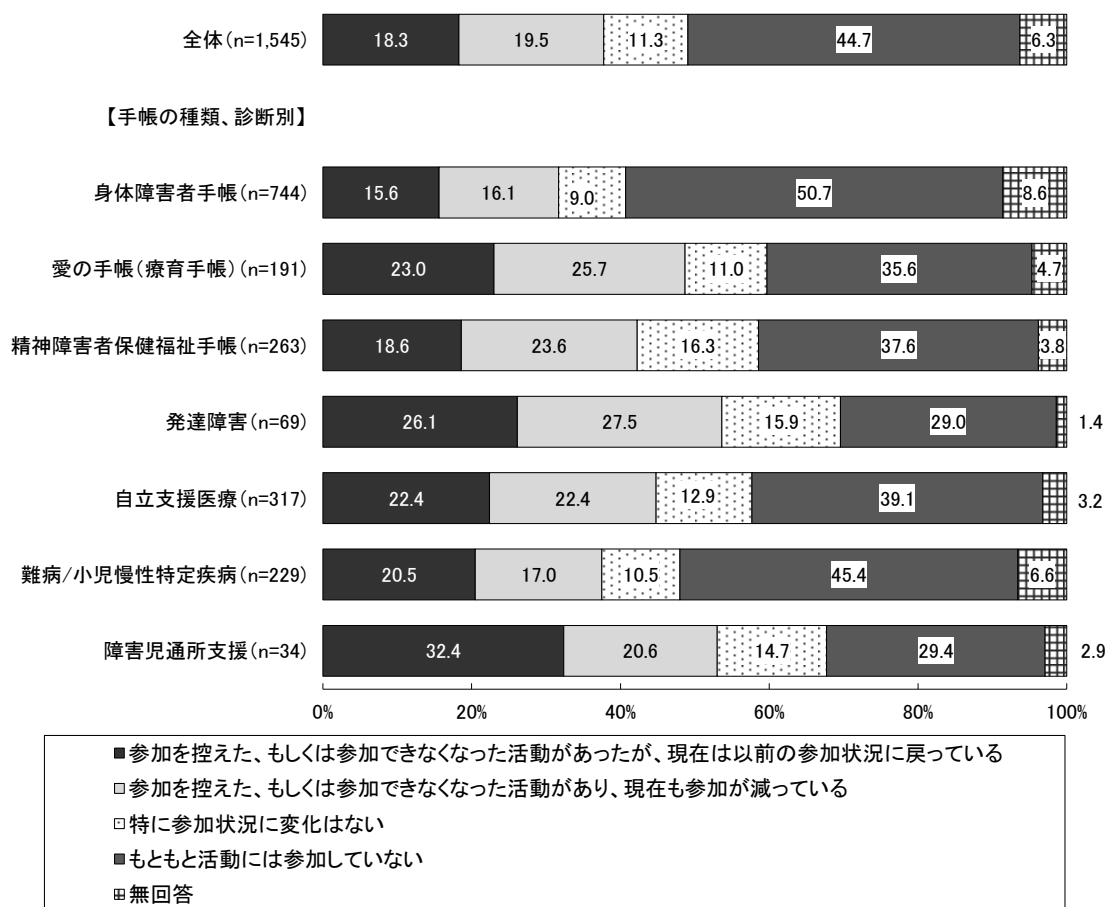
	合計	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ活動	旅行	学習や趣味の活動	ボランティアなどの社会貢献活動	地域での交流、自治会などの活動	障害者団体などの活動	パソコンを使った活動	特になし	その他
全体	1,545	30.5	15.6	29.4	22.5	7.2	9.6	5.8	11.1	37.2	1.5
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	26.9	10.9	26.9	19.6	5.9	9.5	4.4	8.2	41.3	1.9
愛の手帳(療育手帳)	191	34.6	22.0	35.6	20.9	4.7	7.3	19.9	9.9	26.7	1.0
精神障害者保健福祉手帳	263	35.4	20.2	31.2	25.9	8.7	8.4	5.7	18.3	33.1	1.1
発達障害	69	40.6	33.3	37.7	40.6	8.7	11.6	14.5	23.2	18.8	1.4
自立支援医療	317	35.3	17.7	31.2	28.7	10.1	9.1	6.9	18.6	32.5	2.2
難病/小児慢性特定疾病	229	31.0	14.4	28.4	22.7	8.7	11.4	3.9	11.4	39.3	0.4
障害児通所支援	34	32.4	35.3	47.1	29.4	5.9	14.7	17.6	14.7	14.7	0.0

	合計	無回答
全体	1,545	7.6
【手帳の種類、診断別】		
身体障害者手帳	744	8.7
愛の手帳(療育手帳)	191	11.5
精神障害者保健福祉手帳	263	5.3
発達障害	69	5.8
自立支援医療	317	6.0
難病/小児慢性特定疾病	229	6.1
障害児通所支援	34	8.8

問 26 新型コロナウイルス感染拡大の影響で余暇活動への参加状況に変化がありましたか。(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による余暇活動への参加状況の変化については、「もともと活動には参加していない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「参加を控えた、もしくは参加できなくなった活動があり、現在も参加が減っている」が19.5%、「参加を控えた、もしくは参加できなくなった活動があったが、現在は以前の参加状況に戻っている」が18.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【障害児通所支援】で「参加を控えた、もしくは参加できなくなった活動があったが、現在は以前の参加状況に戻っている」が32.4%と、最も高くなっています。



問 27 あなたが余暇活動、文化芸術・スポーツ活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

余暇活動、文化芸術・スポーツ活動に参加するために必要な条件については、「身近なところで活動できる」の割合が27.2%と最も高く、次いで「経済的な負担が少ない」が24.8%、「特にない」が22.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】で「特にない」が26.7%、【愛の手帳(療育手帳)】と【難病/小児慢性特定疾病】で「身近なところで活動できる」がそれぞれ31.4%、27.9%、【発達障害】で「身近なところで活動できる」と「経済的な負担が少ない」が同率で36.2%、【精神障害者保健福祉手帳】と【自立支援医療】で「経済的な負担が少ない」がそれぞれ39.5%、34.7%、【障害児通所支援】で「友人や仲間がいる」が41.2%と、最も高くなっています。

	合計	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解	心身の健康状態の維持・向上
全体	1,545	17.9	22.1	27.2	11.1	10.8	11.7	10.8	24.8	11.4	18.0
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	15.5	19.4	23.5	13.0	11.4	7.9	13.0	18.8	7.8	15.2
愛の手帳(療育手帳)	191	21.5	22.5	31.4	14.7	29.8	23.6	19.4	21.5	16.8	7.9
精神障害者保健福祉手帳	263	22.1	22.1	29.7	6.5	7.6	14.4	10.3	39.5	20.2	27.0
発達障害	69	23.2	31.9	36.2	8.7	17.4	34.8	11.6	36.2	14.5	20.3
自立支援医療	317	20.8	24.3	31.2	8.2	6.9	12.6	7.9	34.7	16.1	27.8
難病/小児慢性特定疾病	229	14.8	24.9	27.9	12.2	10.0	7.0	10.5	24.9	10.9	20.1
障害児通所支援	34	17.6	41.2	38.2	11.8	17.6	23.5	23.5	32.4	20.6	11.8

	合計	いろいろな人との出会いの場・機会がある	障害者と一緒にできる人もいない人も	施設の予約が取りやすい	手話などによるコミュニケーションの支援	特にない	その他	無回答
全体	1,545	10.2	9.4	5.8	0.7	22.7	2.2	7.1
【手帳の種類、診断別】								
身体障害者手帳	744	9.0	7.3	5.4	1.2	26.7	1.6	9.0
愛の手帳(療育手帳)	191	9.9	18.3	4.7	0.5	14.1	1.6	6.3
精神障害者保健福祉手帳	263	11.8	13.7	4.6	1.1	17.1	4.6	4.2
発達障害	69	18.8	18.8	8.7	1.4	8.7	2.9	0.0
自立支援医療	317	11.7	11.0	6.6	0.9	16.4	3.5	5.7
難病/小児慢性特定疾病	229	10.5	5.2	7.4	0.0	26.6	1.7	5.7
障害児通所支援	34	11.8	17.6	2.9	0.0	8.8	0.0	2.9

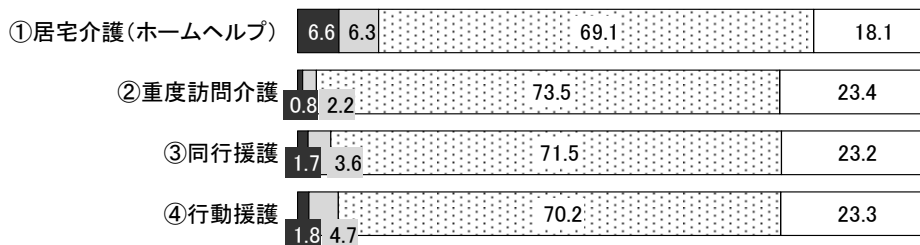
6. 障害福祉サービスなどについて

問 28 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。（それぞれに○は1つ）

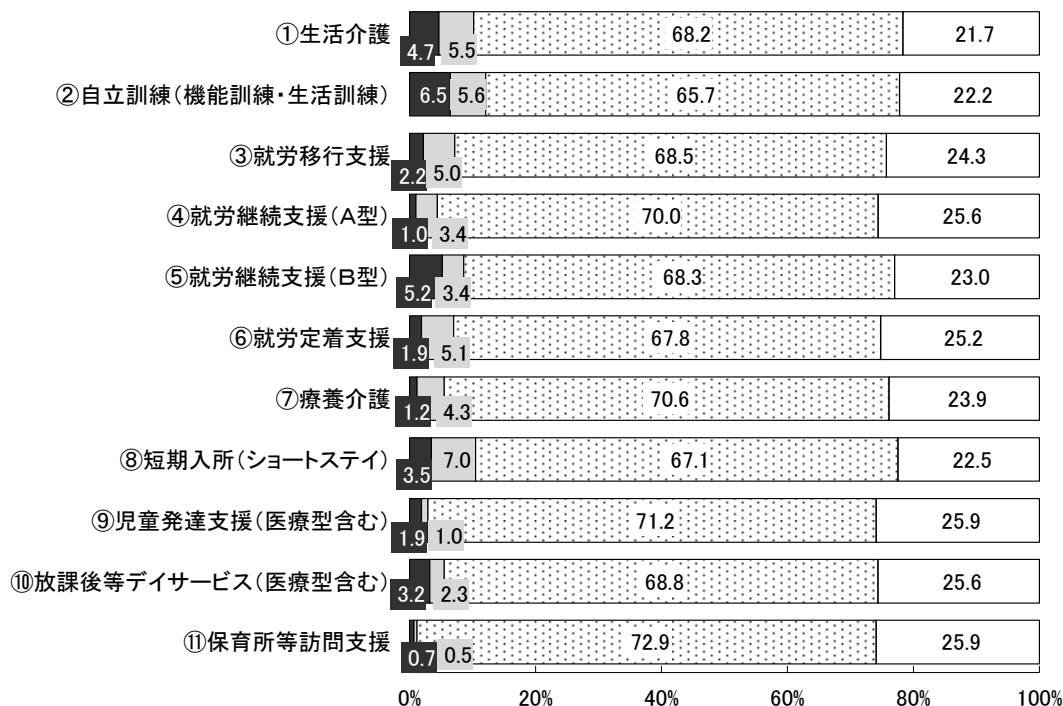
普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【相談系サービス①計画相談支援】が15.9%と最も高く、次いで【その他サービス⑥補装具費(車いす・補聴器等)の給付】が13.6%、【訪問系サービス①居宅介護(ホームヘルプ)】が12.9%となっています。

n=1,545

【訪問系サービス】



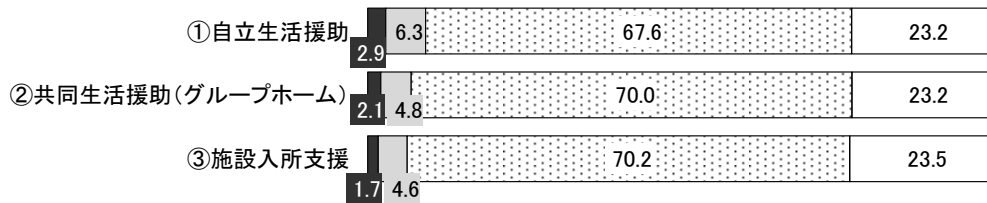
【日中活動系サービス】



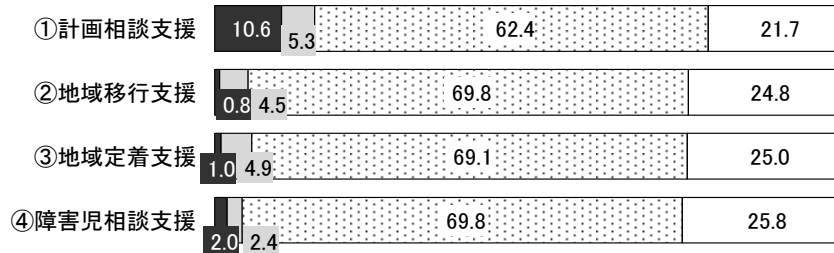
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=1,545

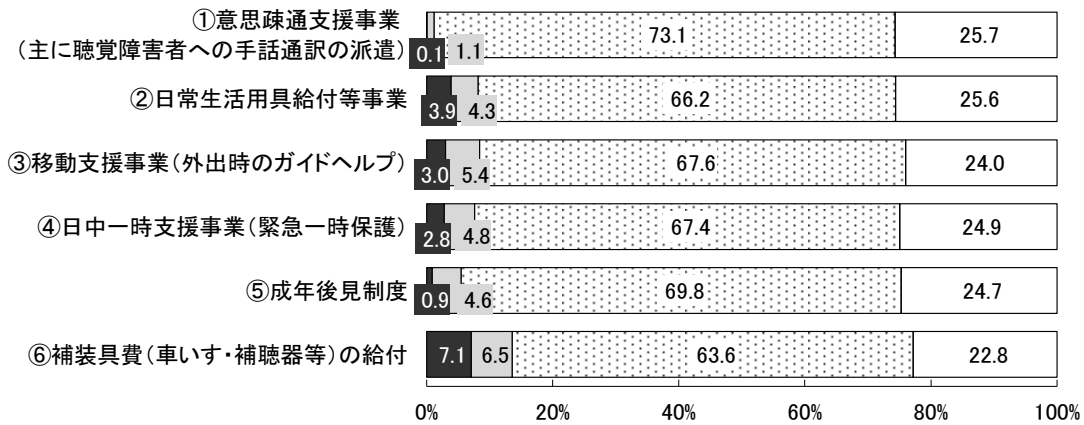
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



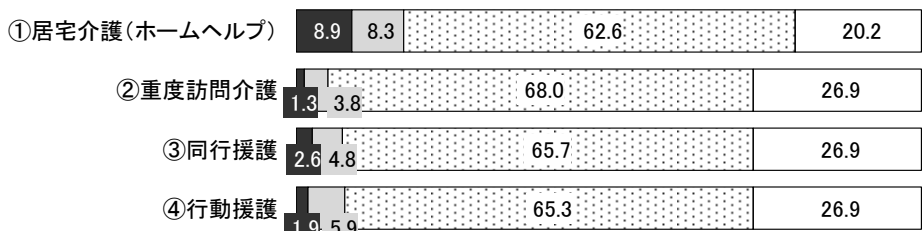
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【身体障害者手帳】をお持ちの方の障害福祉サービス利用状況

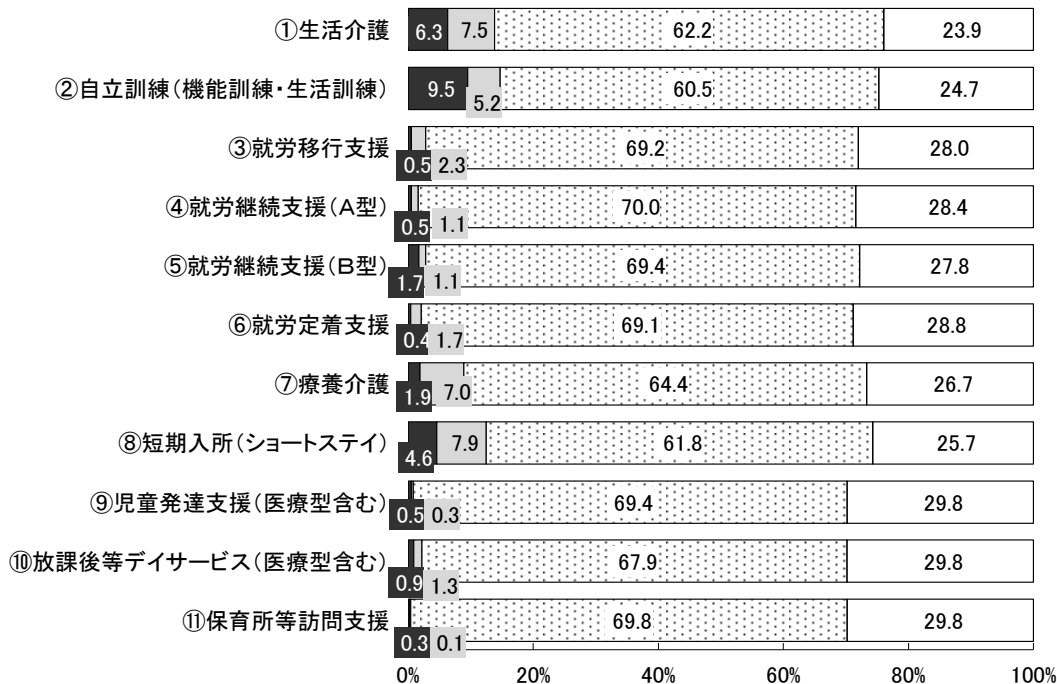
【身体障害者手帳】をお持ちの方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【その他サービス⑥補装具費(車いす・補聴器等)の給付】が 22.9%と最も高く、次いで【訪問系サービス①居宅介護(ホームヘルプ)】が 17.2%、【日中活動系サービス②自立訓練(機能訓練・生活訓練)】が 14.7%となっています。

n=744

【訪問系サービス】



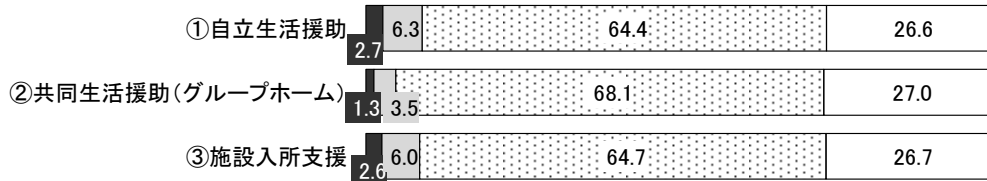
【日中活動系サービス】



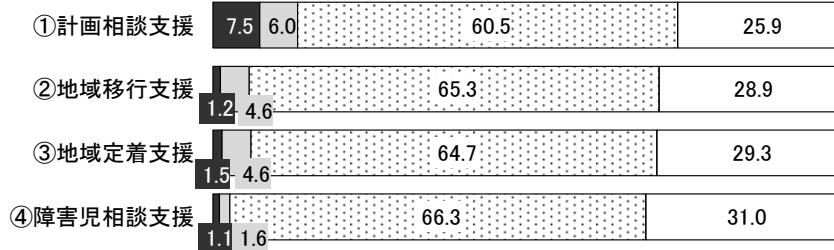
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=744

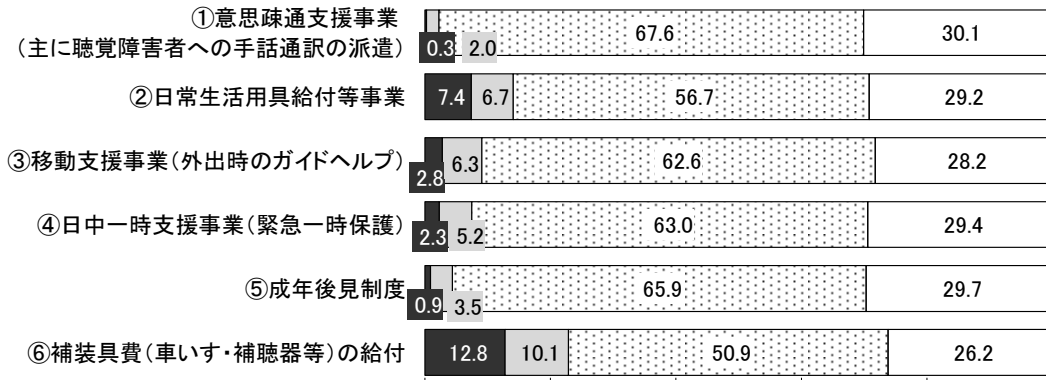
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

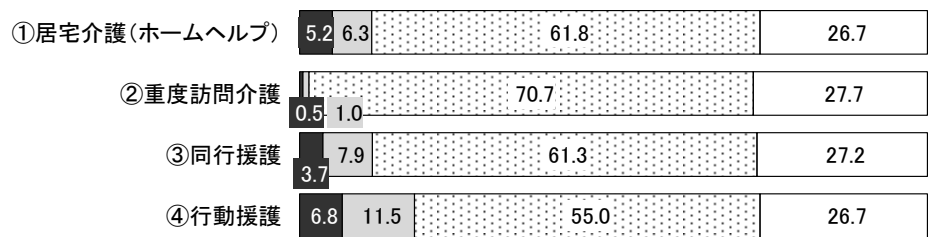
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【愛の手帳（療育手帳）】をお持ちの方の障害福祉サービス利用状況

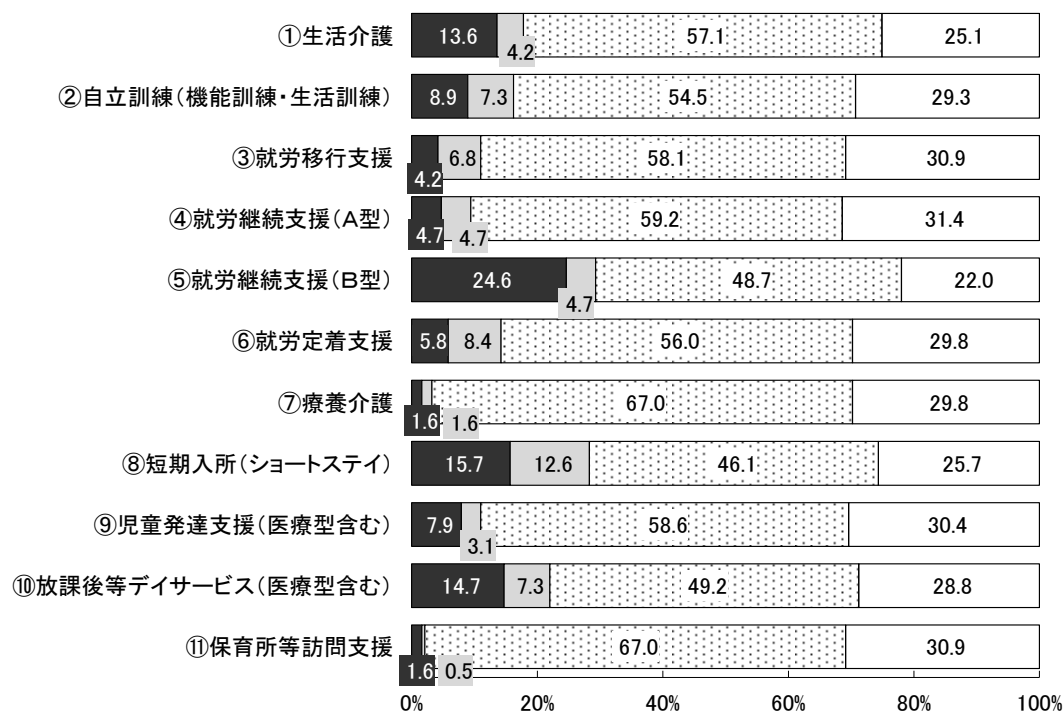
【愛の手帳(療育手帳)】をお持ちの方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【相談系サービス①計画相談支援】が44.0%と最も高く、次いで【その他サービス③移動支援事業(外出時のガイドヘルプ)】と【その他サービス④日中一時支援事業(緊急一時保護)】が同率で 29.9%となっています。

n=191

【訪問系サービス】



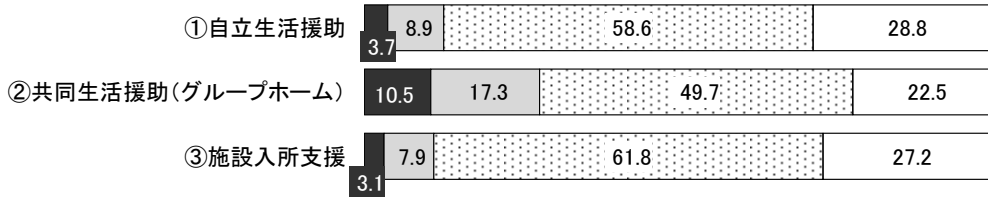
【日中活動系サービス】



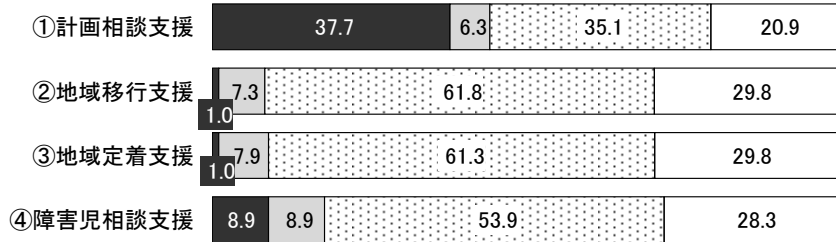
■ 利用しており、今後も利用したい □ 今は利用していないが3年以内に利用したい
 □ 利用の予定はない □ 無回答

n=191

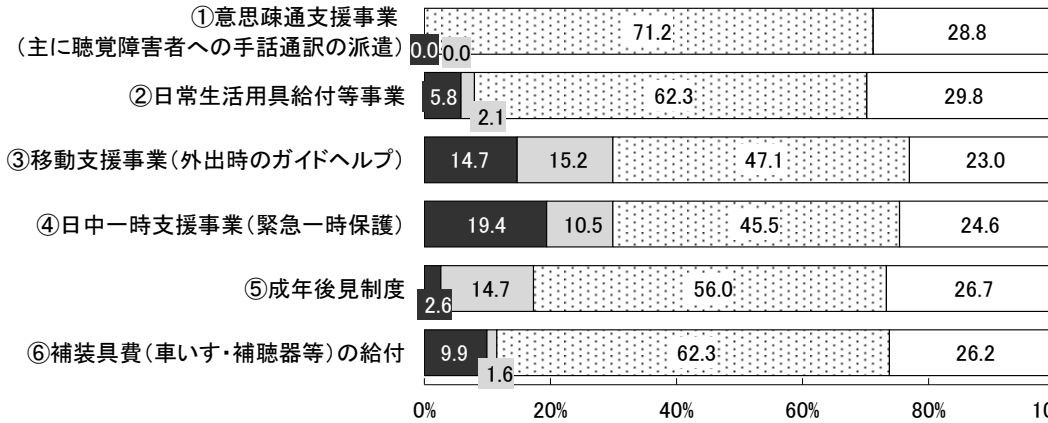
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



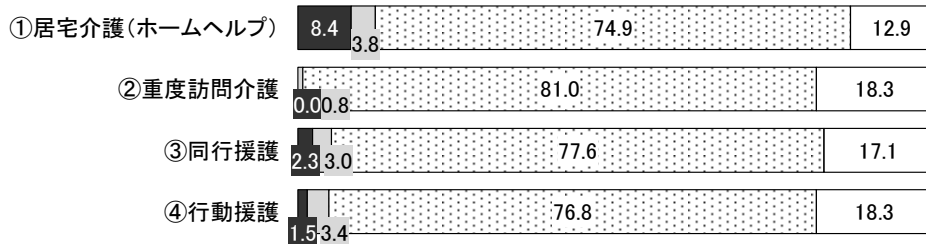
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【精神障害者保健福祉手帳】をお持ちの方の障害福祉サービス利用状況

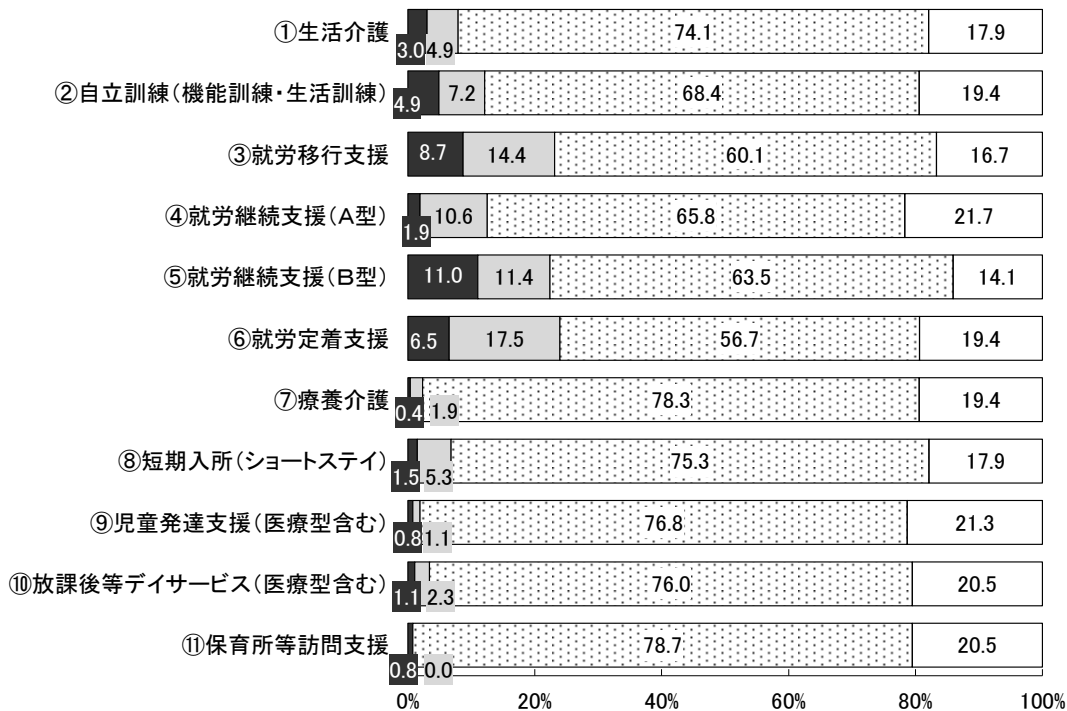
【精神障害者保健福祉手帳】をお持ちの方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【日中活動系サービス⑥就労定着支援】が 24.0%と最も高く、次いで【日中活動系サービス③就労移行支援】が 23.1%、【日中活動系サービス⑤就労継続支援(B型)】が 22.4%となっています。

n=263

【訪問系サービス】



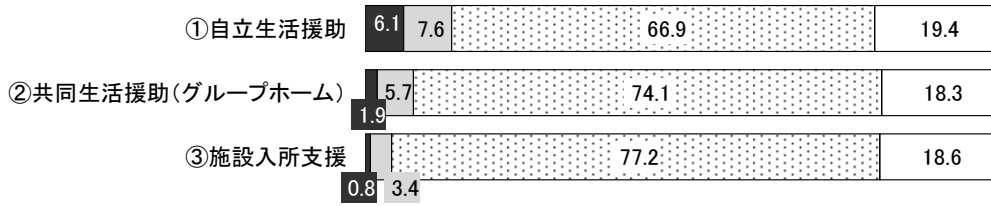
【日中活動系サービス】



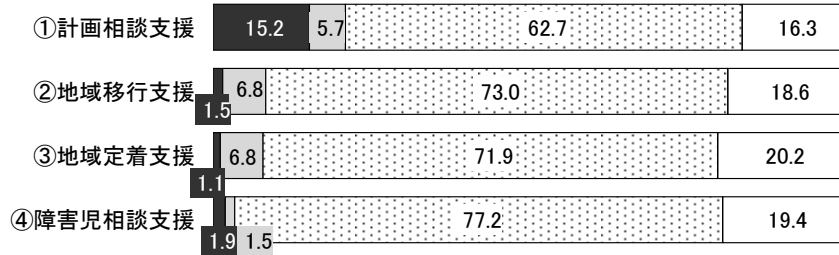
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=263

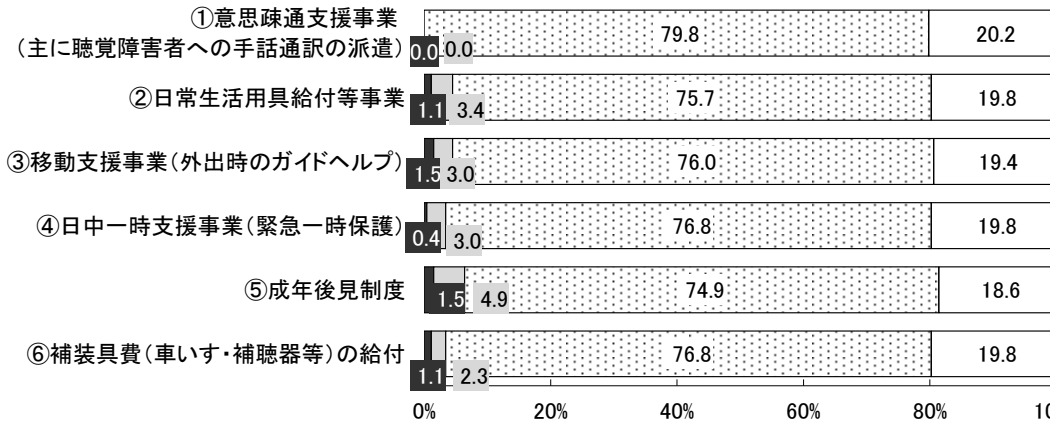
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



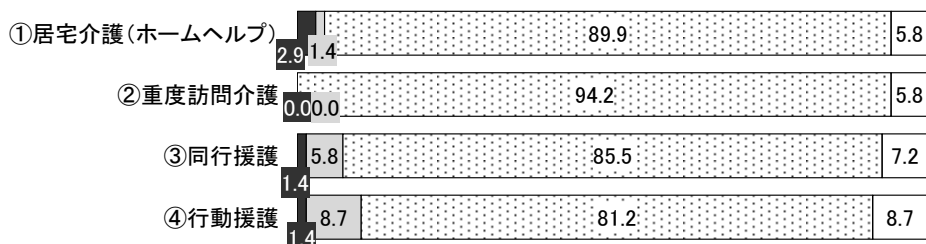
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【発達障害】の方の障害福祉サービス利用状況

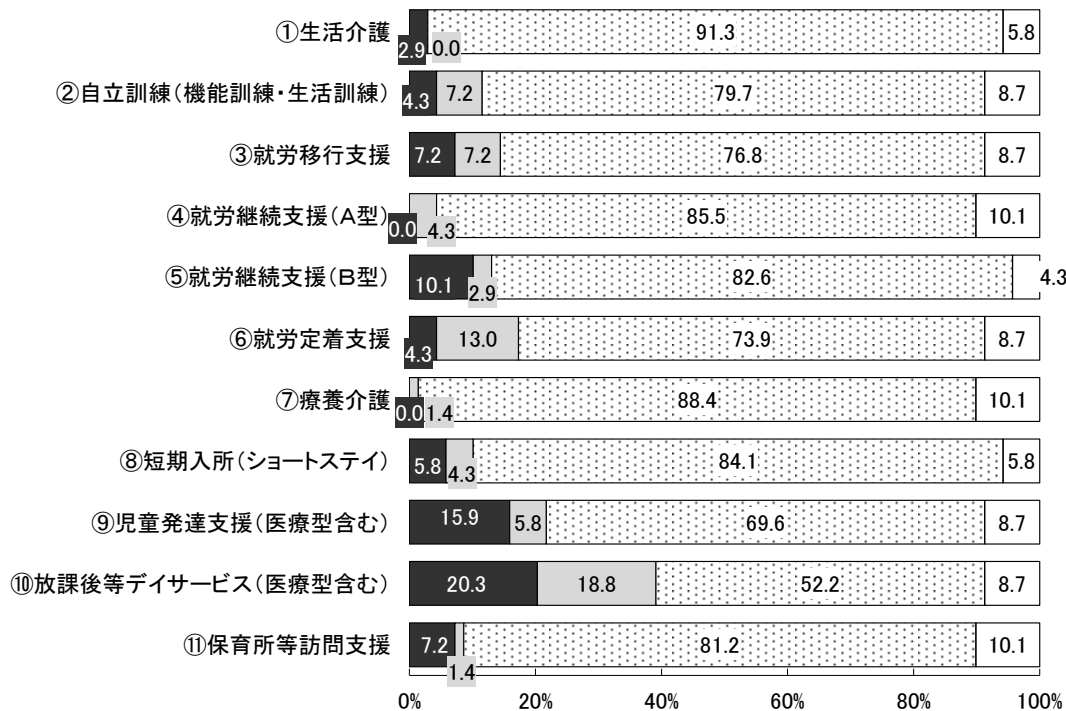
【発達障害】の方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【日中活動系サービス⑩放課後等デイサービス(医療型含む)】と【相談系サービス①計画相談支援】が同率で 39.1%と最も高く、次いで【相談系サービス④障害児相談支援】が 23.1%となっています。

n=69

【訪問系サービス】



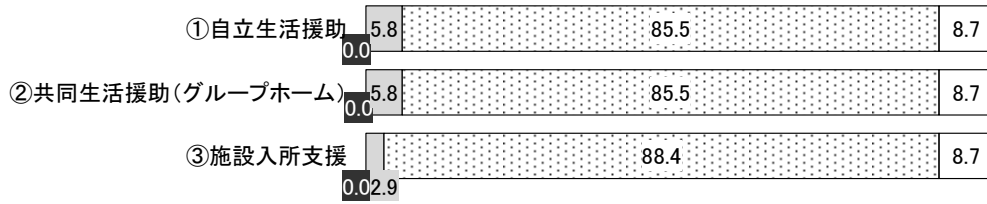
【日中活動系サービス】



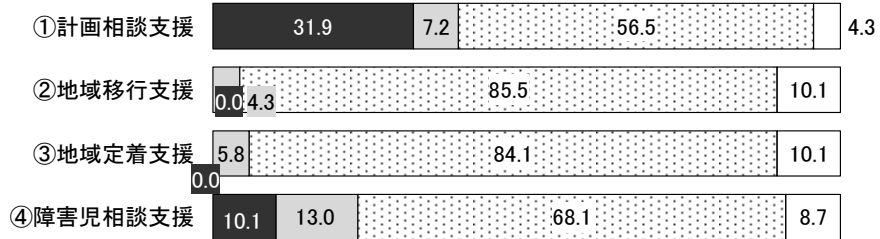
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=69

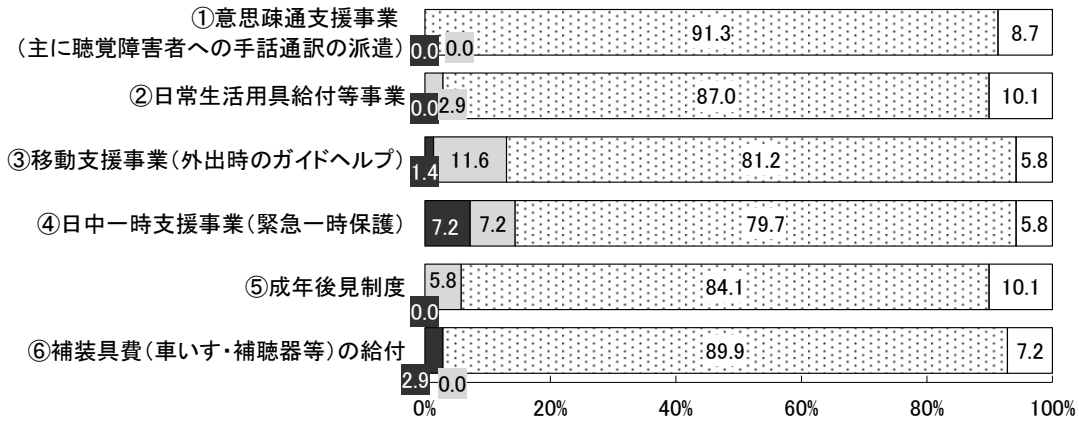
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



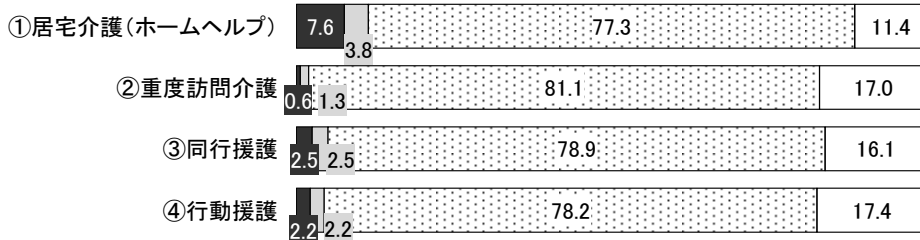
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【自立支援医療】の方の障害福祉サービスの利用状況

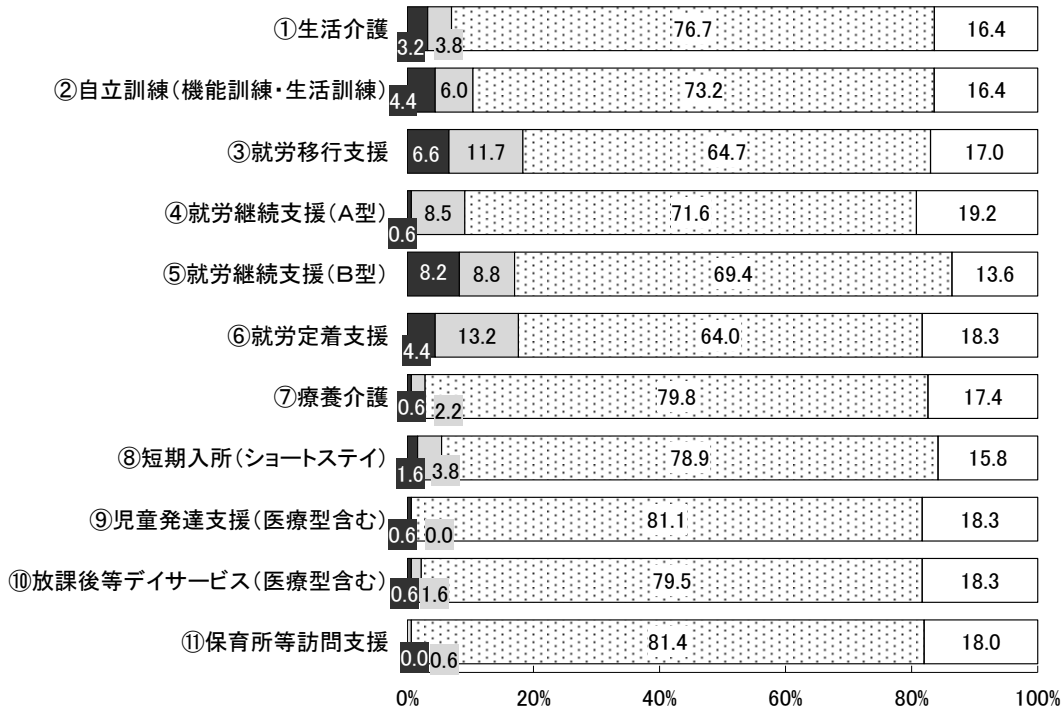
【自立支援医療】の方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【日中活動系サービス③就労移行支援】が 18.3%と最も高く、次いで【日中活動系サービス⑥就労定着支援】が 17.6%、【日中活動系サービス⑤就労継続支援(B型)】が 17.0%となっています。

n=317

【訪問系サービス】



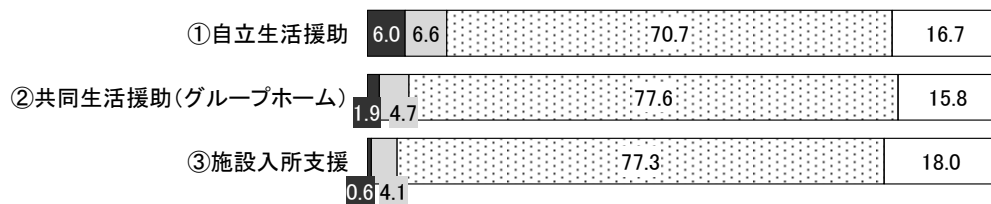
【日中活動系サービス】



利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=317

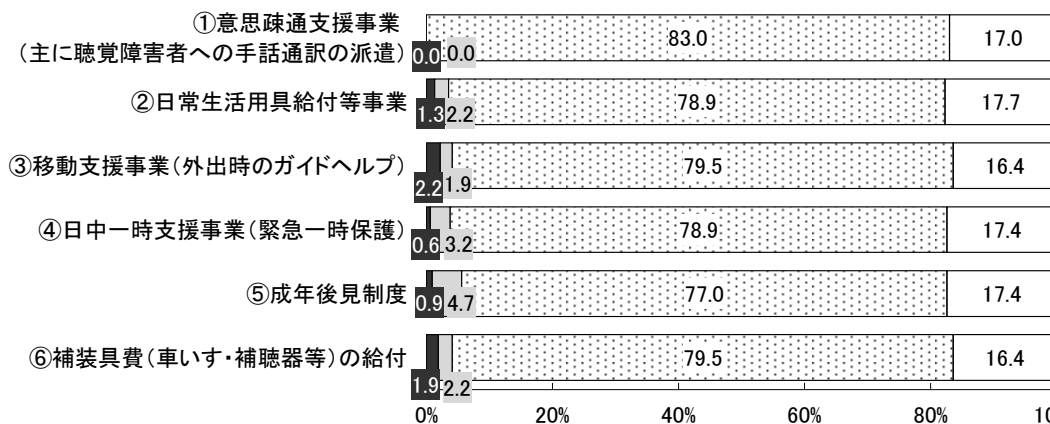
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



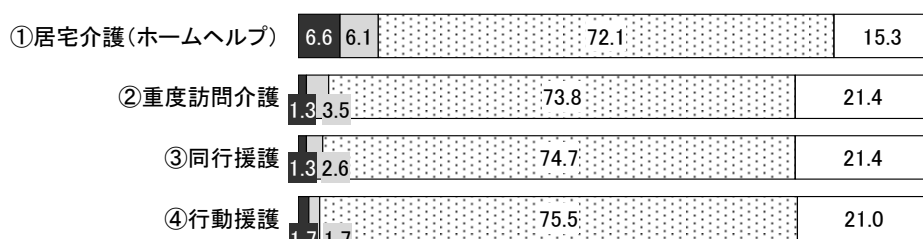
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

【難病／小児慢性特定疾病】の方の障害福祉サービスの利用状況

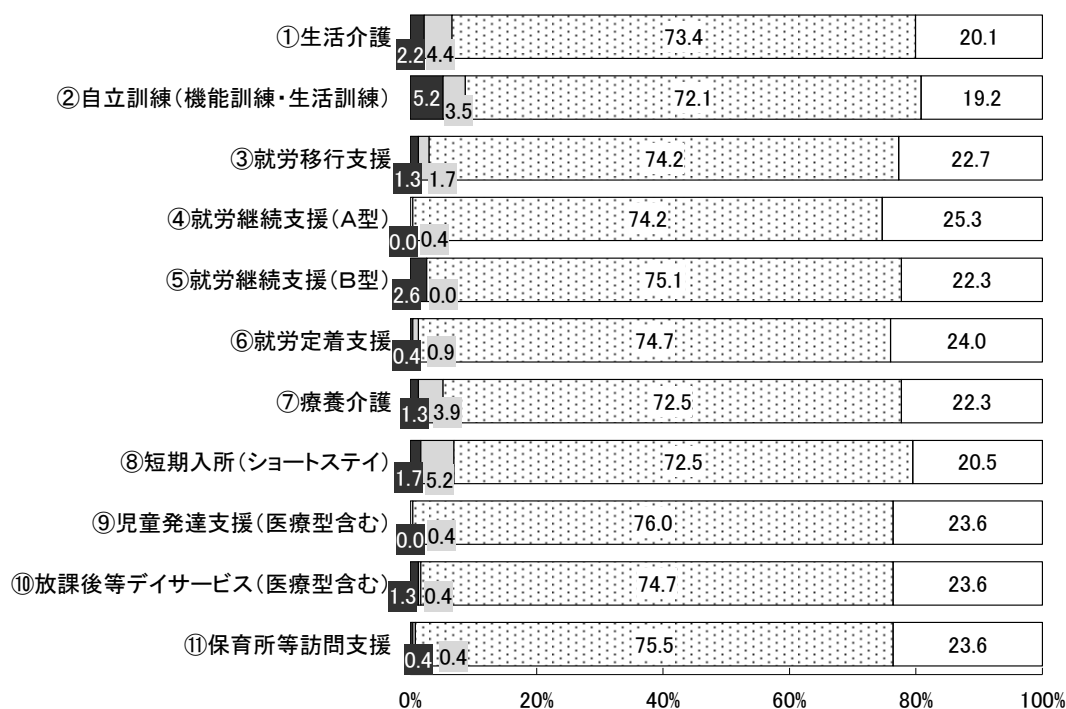
【難病／小児慢性特定疾病】の方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【その他サービス⑥補装具費(車いす・補聴器等)の給付】が 15.7%と最も高く、次いで【訪問系サービス①居宅介護(ホームヘルプ)】が 12.7%、【日中活動系サービス②自立訓練(機能訓練・生活訓練)】が 8.7%となっています。

n=229

【訪問系サービス】



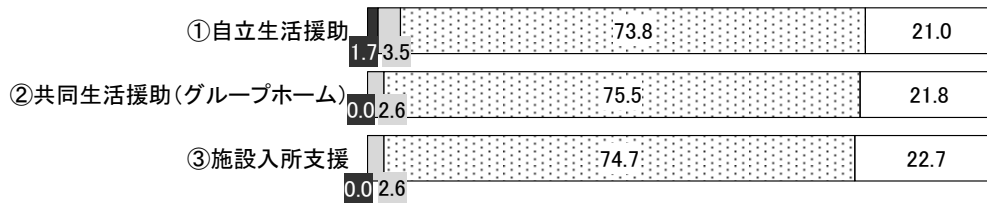
【日中活動系サービス】



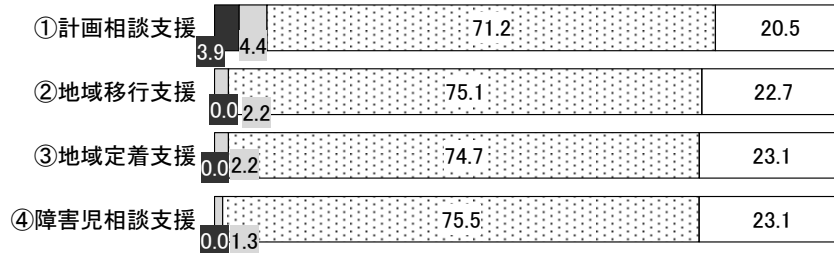
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=229

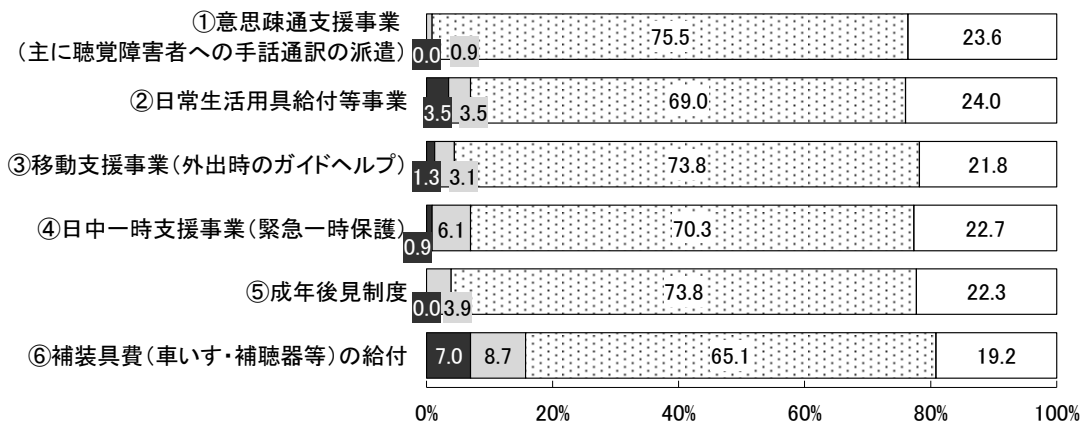
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



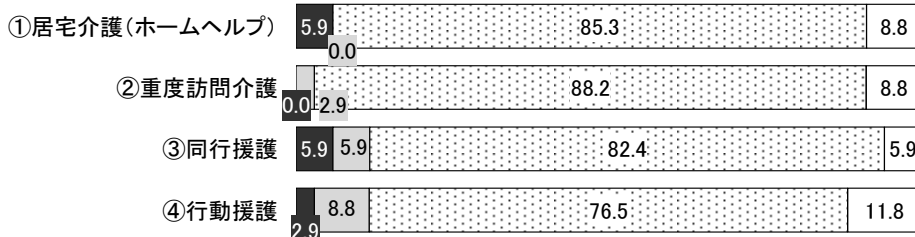
- 利用しており、今後も利用したい
- 今は利用していないが3年以内に利用したい
- 利用の予定はない
- 無回答

【障害児通所支援】の方の障害福祉サービスの利用状況

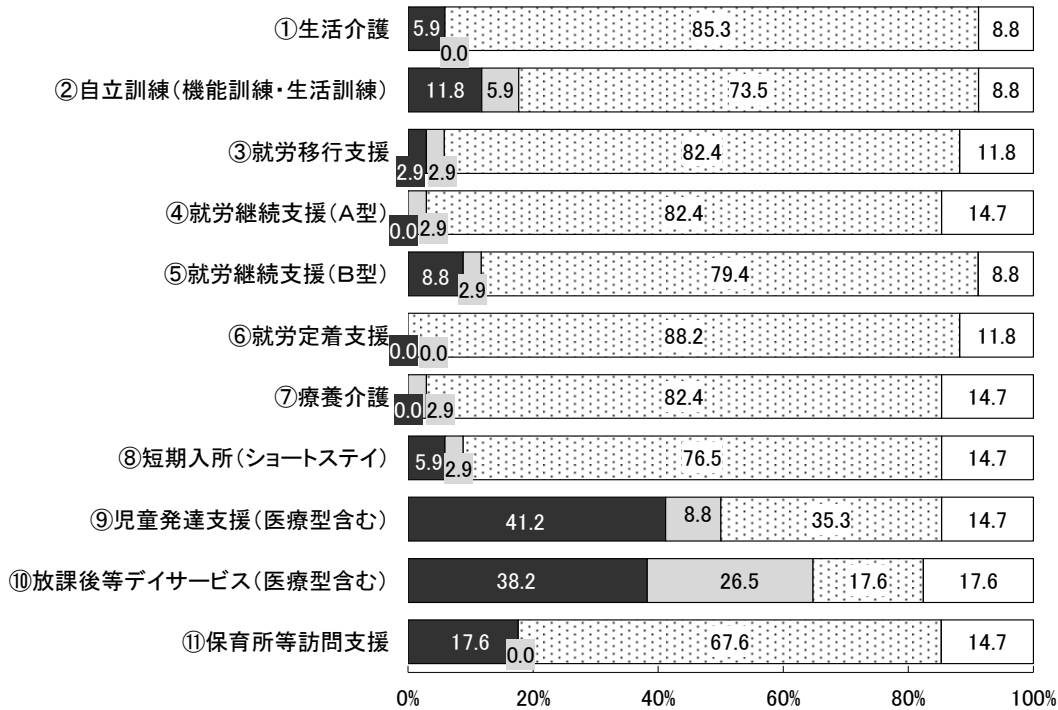
【障害児通所支援】の方の普段の障害福祉サービスの利用について、「利用しており、今後も利用したい」と「今は利用していないが3年以内に利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、【日中活動系サービス⑩放課後等デイサービス(医療型含む)】が64.7%と最も高く、次いで【相談系サービス①計画相談支援】が52.9%、【日中活動系サービス⑨児童発達支援(医療型含む)】が50.0%となっています。

n=34

【訪問系サービス】



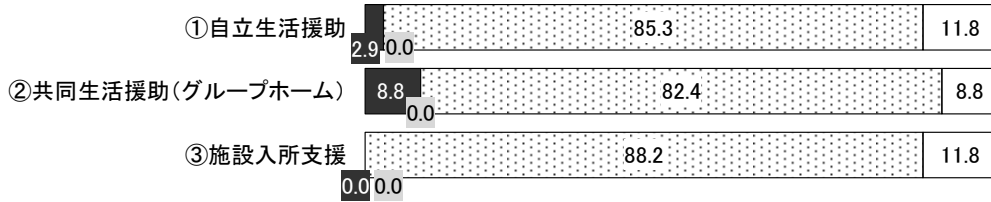
【日中活動系サービス】



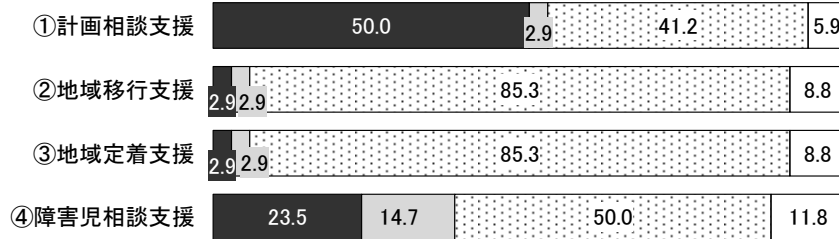
利用しており、今後も利用したい 今は利用していないが3年以内に利用したい
 利用の予定はない 無回答

n=34

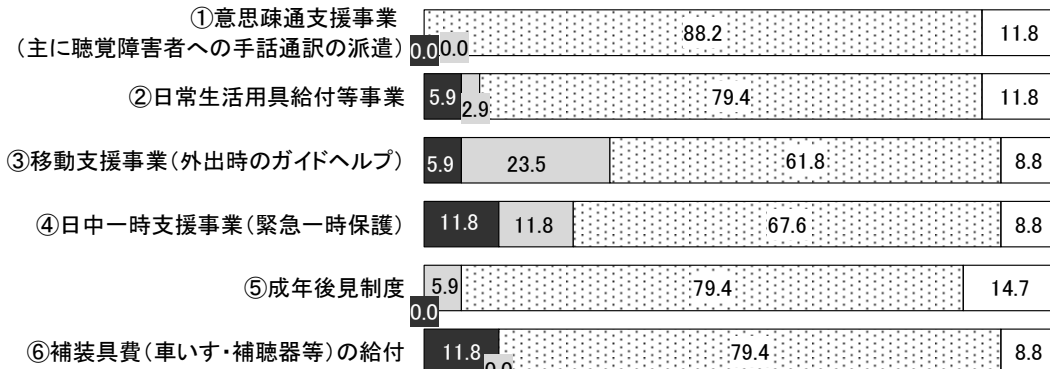
【居住系サービス】



【相談系サービス】



【その他サービス】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 利用しており、今後も利用したい
- 今は利用していないが3年以内に利用したい
- 利用の予定はない
- 無回答

問 29 新型コロナウイルス感染拡大の影響で障害福祉サービスの利用状況に変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による障害福祉サービスの利用状況の変化については、「以前から障害福祉サービスを利用していなかった」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「特に利用状況に変化はなかった」が 23.1%、「利用を控えた、もしくは利用できなくなったサービスがあったが、現在は新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に戻っている」が 10.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「利用を控えた、もしくは利用できなくなったサービスがあったが、現在は新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に戻っている」が 28.8%、【発達障害】と【障害児通所支援】で「特に利用状況に変化はなかった」がそれぞれ 37.7%、52.9%と、最も高くなっています。

	合計	の水 準に 戻っ てい る	は新 型コ ロサ ナウ イス がし く感 染た 拡大 以前	く用 を控 えた もし くは 利用 でき ない	減っ てい る	特に 利用 状況 に変 化は なか った	て以 前か ら障 害福 祉サ ービ スを 利用 し	無 回 答
全体	1,545	10.4	52.0	23.1	4.5	12.4		
【手帳の種類、診断別】								
身体障害者手帳	744	7.8	52.6	23.0	4.3	15.6		
愛の手帳(療育手帳)	191	28.8	28.3	27.2	9.9	8.4		
精神障害者保健福祉手帳	263	12.5	41.8	33.1	6.8	8.0		
発達障害	69	23.2	29.0	37.7	10.1	0.0		
自立支援医療	317	9.8	53.9	26.2	4.7	7.3		
難病/小児慢性特定疾病	229	8.3	62.4	14.8	2.2	12.7		
障害児通所支援	34	23.5	14.7	52.9	2.9	8.8		

問 30 あなたは、普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることについては、「特に困っていることはない」の割合が44.1%と最も高く、次いで「制度がわかりにくい」が21.2%、「市役所での手続きが大変」が14.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【精神障害者保健福祉手帳】で「制度がわかりにくい」が35.0%、【発達障害】と【障害児通所支援】で「市役所での手続きが大変」がそれぞれ36.2%、38.2%と、最も高くなっています。

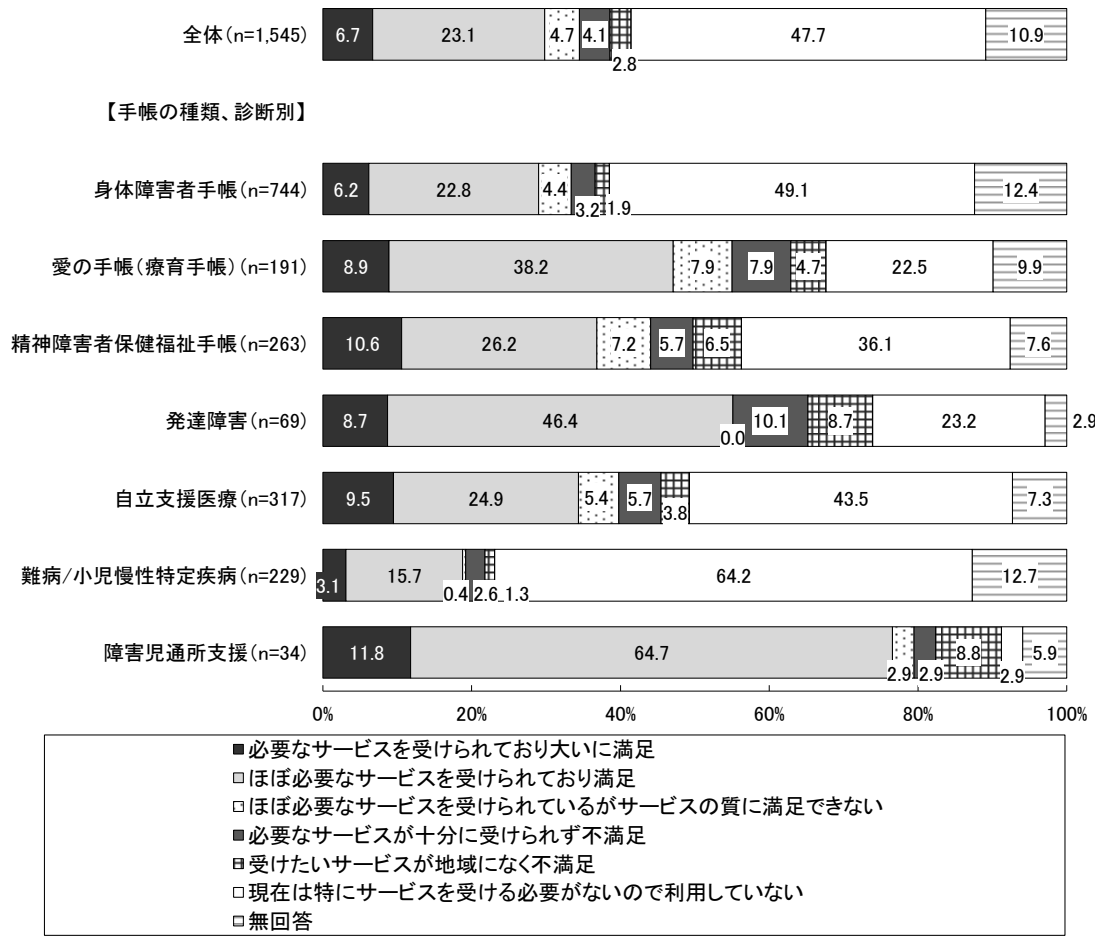
	合計	制度がわかりにくい	利用できない	利用したいサービスを利用できない	利用できる回数や日数が少ない	サービスの内容について困っている	他の利用者との関係が大変	市役所での手続きが大変	事業所との日時などの調整が大変	事業所への移動が大変	経済的負担が大きい	利用したい内容のサービスがない
全体	1,545	21.2	5.0	5.6	2.4	3.0	14.1	4.3	4.2	7.7	7.8	
【手帳の種類、診断別】												
身体障害者手帳	744	18.4	4.7	5.6	1.7	2.4	12.1	3.9	4.3	7.7	7.0	
愛の手帳(療育手帳)	191	30.4	13.1	17.3	5.8	5.8	15.7	10.5	9.4	6.8	6.8	
精神障害者保健福祉手帳	263	35.0	5.3	6.1	5.7	8.7	26.2	7.6	6.8	14.1	14.1	
発達障害	69	34.8	10.1	10.1	5.8	5.8	36.2	18.8	14.5	8.7	13.0	
自立支援医療	317	31.5	3.8	4.7	3.5	4.4	22.1	5.7	4.7	10.1	11.7	
難病/小児慢性特定疾病	229	14.8	3.5	3.1	0.9	2.2	10.9	2.2	1.7	4.8	4.4	
障害児通所支援	34	32.4	14.7	17.6	2.9	5.9	38.2	14.7	17.6	5.9	5.9	

	合計	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1,545	44.1	5.1	13.3
【手帳の種類、診断別】				
身体障害者手帳	744	45.8	4.6	15.2
愛の手帳(療育手帳)	191	32.5	4.2	9.9
精神障害者保健福祉手帳	263	31.6	6.8	8.0
発達障害	69	24.6	7.2	4.3
自立支援医療	317	37.9	5.7	8.5
難病/小児慢性特定疾病	229	48.9	7.0	17.5
障害児通所支援	34	29.4	2.9	5.9

問 31 あなたは、普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。（〇は1つ）

普段受けている障害福祉サービスに満足しているかについては、「現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」が23.1%、「必要なサービスを受けられており大いに満足」が6.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、「必要なサービスを受けられており大いに満足」と「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」を合わせた“満足”では【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で4割台後半から7割台半ばと、他に比べて高くなっています。一方、「ほぼ必要なサービスを受けられているがサービスの質に満足できない」と「必要なサービスが十分に受けられず不満足」と「受けたいサービスが地域になく不満足」を合わせた“不満足”では、【愛の手帳(療育手帳)】が20.5%と、他に比べてやや高くなっています。



問 31 で「必要なサービスが十分に受けられず不満足」か「受たいサービスが地域になく不満足」に○をつけた方にお聞きします。

問 31-1 地域の中で、障害者（児）に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。

余暇・健康活動

地域活動支援センターが 1 か所しかなく、前に利用したが雰囲気が合わず登録せず帰った。1 か所は少ない。
息子は 28 歳の知的障害者で特例子会社で就労していますが、家庭に戻ると(地域では)友達も全くいない為、両親が全て息子のケア、責任を負っており、息子が少しずつ社会に対する興味を伸ばしつつあっても、地域の中のサービスは全くない状態です。家族以外の人が地域の中で障害の人に関わってくれる様に、現状を把握して直ちに改善して欲しいです。
料理を習いたい。
精神障害者が映画や音楽コンサートに行きたいのに、一人では行けなくてサポートしてくれる人が欲しい。
作業所から帰っての余暇活動の場が少ない。
作業所が終わった後、作業所が休みの時に利用できるサービスが少ない。継続して利用できるサービスが少ない。ヘルパーの数が少なく利用したい時に出来るか不安がある。

住まい

一人暮らしに向けての一過性のグループホーム(発達障害者向け)。
GH、短期入所、日中通う作業所。
住宅・生活費の補助。
マンション型のグループホームが不足していると思う。
グループホーム。ガイドヘルパーを請け負ってくれる事業所。
グループホーム。

就労

作業所内での職務内容に見直し希望。「封緘」「封入」「ラベル貼り」「宛名貼」よりパソコン作業をしたい。
自身に向いている仕事かわからない。自身がサービスを受けたがらない。作業所へ行くのを嫌がる。
会社で障害者が正社員で働ける制度がない。
2万円の中から交通費¥5,700-昼食¥5,000-を出資しなければならない。福祉作業所の給料が月 2 万円は安すぎる。
仕事ではなく、ゆったりした雰囲気で短時間、仲間と作業をしたい。通所に 30 分以内の所が欲しいです。
会社訪問して、雇い主との課題共有や調整に向けた支援がコロナ感染拡大が起きて以来、受けられていない。
就労移行支援を利用していますが、ゲーム性が高すぎるので、もっと就労支援の要素が欲しいと思います。

療育・障害児サービス

東久留米市の公的な児童発達支援の療育事業(わかき学園)は月に 1 回のみ開催なので、もっと幅広く行って欲しい。(西東京市の”ひいらぎ”は、毎週幼稚園や保育園に通いながら通えると聞いている)。
児童発達支援のサービスがある施設が近くにあって欲しい。
児童発達支援施設、放課後デイサービス。
新生児のショートステイがなく子育てに不便。
感覚統合や SST を行ってくれる放課後等デイサービス(近くになく、バスで通っています)。

医療ケアが必要となると看護師の確保が出来ない等の理由で、移動支援等が利用できず困っている。放課後デイサービスも増えているが、医ケア・重心の子が受け入れてもらえる所がない。
グレーゾーンの子供が利用できるサービスがない。
放課後デイの内容が学童と変わらず辞めた。療育をきちんと行ってくれるところが少なすぎる。開所の条件に加えてほしい。

理解

健常者と障害者との隔たり。健常者、障害者に一度でもなってみないと心的にも分からないと思う。
社会、市民の障害に対する理解。
障害と言っても様々なものがある事を理解して頂きたい。私、短期記憶力がありません。
障害に関する理解と障害者(児)に出会った時の対応方法の知識の浸透。

情報がない

交通費等又、受けられるサービスについて十分な情報を与えてもらえず、しばらくの間、サービスを知らずに自費で負担していた。
制度の PR と利用への具体的な案内。
障害を持った時、早く受けられる様、教えて欲しい。私も早く教えて貰えたら受けられたサービスがある。
情報。
サービスが分からない。
何を受けられるのかが全然分かりません。どうすればいいですか。パンフレットがほしいです。すみません。ぜんぜんです。いつも市役所さんはいい人ばかりです。ありがとうございます。

移動

公共交通がない駅までいつでも乗れるのが欲しい。
タクシー券の配布があると良い。
ミニバス(自由に乗車出来る)他の地域にはあるのに東久留米は無い。
くるぶーに乗りたい。買物時に具合が悪くなって、いすで 30 分休憩してから頑張っているが、夏はネットスーパーにしようとは思っている。でもネットスーパーは稀にとても時間がかかるので無理して出かけて転んだりする事がある。
訪問診療で対応できる科が少ない。介護タクシーの利用料が高すぎる。
統合失調症で家にひきこもりがちな生活が続いており、外出することがひとりでは難しいので移動に関する支援を受けたいが、そのサービスを受けられるのが分からず困っている。くるぶーなどの事業に障害者も利用できるように制度も整えてほしいです。
移動支援(スタッフの人数不足で利用回数が限られている)。
タクシーを利用する機会が多いので福祉タクシーの増額が出来ればありがたいです。
孫のこと。支援学校まで往復の交通手段なし。障害児に母親の同行必須(吸引)。父親が勤務を調整し実施中。徒歩では片道 40 分はかかる。老人夫婦私自身は免許返納、妻 82 才で孫の送迎はできない。
移動支援事業に申請をしても登録して利用できる事業所がない(事業所の人手不足)。
移動の手段。移動の付き添いのサポート。
医療機関への交通アクセスが不便。
耳だけではなく足の方も悪くなって外出が不自由。妻に迷惑かけている。タクシーでの移動。
移動するのにバスの割引ぐらいしかないのが困る。タクシーも割引がほんの少し。

経済的支援

収入が少ないのに税金が高い。
ガソリンのサービスが受けられない。世帯収入オーバーと聞いていますが子供の収入にはたよれない(同居しているが会計は別)。年金収入で考えてほしい。
お金、家賃補助。
目に見えない支出(紙パンツ・尿モレパット)などのお金の全額支援がほしい。
NHK、ゴミ袋、世帯主が課税だから1ヶ月800~900円でも支払いしていますからNHK、ゴミ袋サービス利用できない。世帯主の総支給金額219万位だから障害非課税サービスを利用したいです。
金銭の支給。
補聴器は10年程度で変える必要があるが、交換時に購入費用の補助をしてくれたらうれしい。

制度上の問題

買物や病院への付き添い等、ちょっとした事を手伝って貰えるサービスが受けられない。介護保険では細かいルールがあり、使い勝手が良くない。
希望したサービスが受けられない。希望したいサービスなどで、受けるに当たって、時間割を決められるのが嫌だ。市役所などで、障害を持っているからなのか、上から目線で、親切では無い。
問30で答えに書いたのですが、電動車イス(私の場合)のように、かなり重度にならないと補助を受けることができません。実際は暮らしていくためには自走の車イスでは移動が大変だということを理解してほしい。市役所から駅まで自走の車イスでの移動を体験して市政に関わる人に考えてほしいです。
要支援の認定を受けてないトリハビリ施設を利用できない(しまむら前にあり)。

個別状況に対応したサービス

小学校に通っているが、何度も役所と学校に相談に行き、日中の導尿サポートをお願いしたが「検討します」しか言われず何もしてくれない。清瀬市は障害者(児)サポート体制に積極的と病院の医師にも言われている。
私個人の要望というか障害によるものですが、コミュニケーションが問題なので、訓練を受けられたらいいと思います。ですが健常者の負担増になりたくない。障害に限らず、学校で役に立たない知識を教えるより、ビジネスマナーやコミュニケーション、相手の嫌がる事など教えた方がいいと思う。コミュニケーションの問題も1人1人異なるので、いろんなパターンにあった支援があればいいと思う。
受け入れ事業所及び人数が少なすぎる。
在宅診療を充実して欲しい(通院が難しい人や不可の人の為。全科で訪問診療して欲しい。介護にかかる費用の補助。介護度が上がるとかなり負担が増す)。訪問リハビリの時間を増やして欲しい。
土日に預けられる場が少ない。あっても抽選になり、思う様に入れない。コロナによって1日の定員の制限が続いたり、介助者不足による受け入れる態勢の問題がある。障害児を雨の日に安心して遊ばせる事が出来る室内の場がない。色々な年代、定型発達の子達も来る児童館、大勢の人が利用する商業施設は他の人に迷惑がかかり易く、雨でも走り回れる、大声を出せる室内スペースが欲しい。親、本人が風邪他、感染症罹患した際、完全に孤立する。こんな時に家事を手伝ってくれたり、買物してくれる人が欲しい。
サービスの充実。軽い障害でも時には大変な時もある。一見、障害がない様に思われがちだが、それなりに苦労している。
病院が自宅から遠い。障害者の手続きに不足があれば教えてください。病院を選ぶのがとても難しい。
手話が出来る人の育成とか。
受入人数の制限。
グレーゾーンの障害者に対するサービスの不足を感じる。

同じ障害(精神疾患の方)との交流がない。
サービスの数、質。利用したい時に使えない。親の介護の為、毎月10時間掛けて車で帰っている。その都度連れて帰るのは、とても辛い。
生活のサポート。
ショートステイの場所が少ない。(精神障害者への)グループホーム。
自立支援。
気軽に相談が出来る体制になっていない。
相談した時に話を遮られて、どんどん話を進められて強引に解決されました。聞いて下さると言っていたのに騙されました。ひどい裏切りであって傷つきました。
市内でコミュニケーションが取れる(他者との関わり)場所。外出に不安を感じるので、近くにあると助かる。
放課後デイサービスの利用を増やしたいが枠はない為、日中一時支援との併用で何年も経過している。
65才以上で障害医療保険1割が使えない。年金ですがたいした年金ではないのに医療保険障害者は医療保険は75才以上です。1割にしてほしいです。
ヘルパーとか！必要な時に、受けてほしいのに。
放課後等デイサービスは充実していてとても満足していますが、ショートステイ利用は東村山福祉園5~6年待ち、日野市七生福祉園は遠方なのと空きがほとんどなくまだ利用できていません。
発達について相談できる病院が地域にない、もしくは少ない。
本当は毎日来てほしい。
介助者(親)の体調不良や急用の時など、1週間以上とか即泊りでみてもらえると助かります。
放課後デイサービスは基本的にうまっていることが多く探すのが大変。リトミックやSST、プレイセラピー等単体で受けてい療育を実施している機関がない。また、習い事となると高額。
デイサービスの日数が少ない。重度の子供でも何か(習い事)できれば行きたい。
人員不足。
訪問介護。
疾患の性質上、常に介護が必要な状態ではないため疾患が悪化し、何もできなくなってしまったときの短期間利用できるサービスが全くありません。家族が存命であれば何とかありますが、家族も健康を害するなど、そういったことが重なった場合どうすればいいのでしょうか。
ヘルパー(介助人)不足。選択できる施設不足。
日中一時サービスで時間数がたりないので、時間をふやしてほしいです。

その他

コロナ渦で転入して来た為、必要最低限(3ヶ月に1回、2時間半の預かり)しかまだ利用しておらず、わからない事だらけです。
我世帯は、老々介護となるのは時間の問題で、元気うちにサービスがなければ体力がもたないと思っている。
対応に時間等がかかる。
難病指定を受けておりますが、意思伝達が出来る市役所の職員の方はいらっしゃいますか？今回はマイナンバー制作依頼が出来ず「本人確認ができない」と言われ、車の手配、人員の手配等で出来ないと話すもなんら解決出来ませんでした。本当に残念です。車いすの国会での採決は2,3回で議員内で出来ました。参議院の予算委員会は倍の時間を委員会でいただいたようです。やれば出来るのにスタート台にも立てないのはいかなるものと思います。
後天的に障害者となった者へのサービス(市役所などへの問い合わせにチャットができるが良い)。
上辺だけの感じがわかるので、かかわりたくない。
交通機関等の不満について、すぐに言える窓口が少ない。

認知症となってサービス側に負担になっている気がしている。
自分がこういう体になってどうすべきかまったくわからない。私みたいな体の人を受け入れてくれる所があるとも思えない。
重心、医ケア、車椅子に対応してくれる事業所や入浴に関するサービスが不足していると思います。
しばらく施設を利用していなくて施設の方からきっかけを作ってほしいです。
ヘルパーさん、看護師さん、理学療法士さんが来てくれていますが、居宅介護からの支援と承知しております。障害福祉サービスは受けていないと思っております。
道路の整備、ひび割れでつまづきやすい。
生活保護。
10年に1度申請できると聞きましたが、あれこれ必要なものはたくさんあるので自己負担は苦しい。

40歳以上の方にお聞きします。

問 32 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方は該当する要介護度に○をつけてください。（○は1つ）

介護保険による認定については、「認定を受けていない」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「要介護1」が 5.6%、「要支援1」、「要支援2」、「要介護2」が同率で 3.2%となっています。

手帳の種類・診断別に「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」の合計“認定を受けている”でみると、【身体障害者手帳】で 27.7%、【難病/小児慢性特定疾病】で 24.2%と、他に比べて高くなっています。

	合計	認定を受けていない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	1,234	60.4	3.2	3.2	5.6	3.2	2.4	2.4	1.8	17.8
【手帳の種類、診断別】										
身体障害者手帳	692	53.0	3.3	3.8	7.4	4.6	3.3	3.0	2.3	19.2
愛の手帳(療育手帳)	70	74.3	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	2.9	1.4	17.1
精神障害者保健福祉手帳	184	70.7	2.7	1.6	3.8	1.6	0.5	0.0	1.6	17.4
発達障害	20	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
自立支援医療	229	74.2	3.5	1.7	3.1	0.9	1.3	1.3	1.3	12.7
難病/小児慢性特定疾病	195	62.1	4.1	4.6	6.2	2.6	3.1	1.5	2.1	13.8
障害児通所支援	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3

40歳以上65歳未満の方にお聞きします。

問 32-1 介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことについては「特にない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「利用者負担が増えること」が30.8%、「その他」が8.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【発達障害】と【障害児通所支援】で「利用者負担が増えること」がそれぞれ40.0%、60.0%と、最も高くなっています。また、【発達障害】と【障害児通所支援】で「これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること」が同率で20.0%と、他に比べて高くなっています。

	合計	利用者負担が増えること	利用時間が少なくなること	所 これ が使 えま で利 用し てい た事 業	質 福 これ 社 が 下 が る 類 似 サ ー ビ ス よ り も	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体	481	30.8	7.3	4.4	6.7	47.4	8.3	12.1
【手帳の種類、診断別】								
身体障害者手帳	149	30.2	7.4	4.0	7.4	49.7	7.4	11.4
愛の手帳(療育手帳)	64	23.4	6.3	7.8	12.5	39.1	3.1	26.6
精神障害者保健福祉手帳	148	29.7	6.1	5.4	6.8	42.6	14.9	12.2
発達障害	20	40.0	15.0	10.0	20.0	30.0	15.0	15.0
自立支援医療	160	35.6	10.0	4.4	7.5	40.6	11.3	11.9
難病/小児慢性特定疾病	82	31.7	4.9	1.2	2.4	47.6	11.0	11.0
障害児通所支援	5	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0

7. 雇用・就労について(18歳以上のみ)

問 33 あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

平日の日中の過ごし方については、「特に何もしていない」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「自宅で家事や手伝いをしている」が 15.4%、「パート・アルバイトなどで働いている」が 11.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「福祉的就労をしている(福祉作業所など)」が 31.0%、【精神障害者保健福祉手帳】で「自宅で家事や手伝いをしている」が 21.3%、【発達障害】で「正社員として働いている」が 17.9%と、最も高くなっています。

	合計	正社員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	自営業などを営んでいる	福祉的就労をしている(福祉作業所など)	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	学校などに通っている	就業訓練中・就職活動中	特に何もしていない	その他
全体	1,419	10.4	11.6	2.5	5.6	3.2	15.4	1.1	1.5	30.2	6.2
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	722	7.8	8.7	2.6	2.4	2.6	14.1	0.3	0.3	39.9	6.1
愛の手帳(療育手帳)	142	9.2	15.5	0.0	31.0	18.3	3.5	1.4	0.7	4.9	4.9
精神障害者保健福祉手帳	249	9.6	11.6	0.8	11.2	3.6	21.3	2.0	5.6	19.7	6.8
発達障害	39	17.9	7.7	2.6	15.4	5.1	7.7	10.3	5.1	10.3	10.3
自立支援医療	303	13.5	14.2	1.0	6.9	2.6	20.5	2.0	4.3	21.1	6.3
難病/小児慢性特定疾病	218	17.9	10.6	4.6	2.3	0.9	18.3	0.9	1.4	24.8	6.9
障害児通所支援	6	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	無回答
全体	1,419	12.3
【手帳の種類、診断別】		
身体障害者手帳	722	15.2
愛の手帳(療育手帳)	142	10.6
精神障害者保健福祉手帳	249	7.6
発達障害	39	7.7
自立支援医療	303	7.6
難病/小児慢性特定疾病	218	11.5
障害児通所支援	6	50.0

問 33 で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にお聞きします。

問 33-1 あなたが仕事をする上で困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

仕事をする上で困っていることについては、「給与・工賃などの収入が少ない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が 34.4%、「精神的な負担が大きい」が 18.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【自立支援医療】で、「給与・工賃などの収入が少ない」、「精神的な負担が大きい」、「障害に対する職場の理解が不足している」、「職場の人間関係」がそれぞれ他に比べて高くなっています。

	合計	給与・工賃などの収入が少ない	通勤が大変	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	障害に対する職場の理解が不足している	職場の人間関係	仕事に自分には合わない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	427	35.4	18.5	14.8	18.7	8.0	16.4	3.0	34.4	2.6	5.9
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	155	25.2	18.7	18.1	10.3	7.7	10.3	1.3	42.6	3.9	8.4
愛の手帳(療育手帳)	79	36.7	11.4	7.6	6.3	7.6	19.0	5.1	30.4	5.1	11.4
精神障害者保健福祉手帳	83	53.0	27.7	10.8	39.8	19.3	31.3	8.4	18.1	2.4	1.2
発達障害	17	64.7	23.5	11.8	29.4	23.5	35.3	5.9	23.5	5.9	0.0
自立支援医療	108	52.8	23.1	21.3	39.8	14.8	31.5	2.8	19.4	1.9	0.0
難病/小児慢性特定疾病	77	33.8	24.7	14.3	11.7	2.6	13.0	1.3	37.7	1.3	2.6
障害児通所支援	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 33 で「4. 福祉的就労をしている（福祉作業所など）」か「5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

問 33-2 日中活動終了後、どのように過ごしたいですか。

自宅で過ごす

家で YouTube をみて過ごしている。
冬は帰ってくるとすぐ暗くなるので、外出はしないで家の中で TV など見て過ごすが、春夏はなるべく運動(散歩など)して夕方まで過ごす。
ゲームなど体力、精神力を使わないものをして過ごす。横になって休む。本当はもっと活動的に健康だった時に好きだったミシン作業などがしたい。
家でゲームしてる。
自宅でのんびりしている。
現状、テレビ、新聞。希望、特になし。
家に帰り着くのが 6 時 30 分から 7 時くらいなので食事をしてテレビを見ている。
リハビリか家でテレビ。
散歩したり、テレビ見たり、料理したり。
家でのんびりすごしたり、近所の直売野菜を買いに行ったりしている。
家に帰りのんびりする。
平日は、自宅で過ごしている。休日は旅行をしたり、友人と会ったりしている。
他人と関わるだけでストレスが強いので、なるべく一人になりたい。YouTube 等を観て過ごす。
家に帰って夕食を食べ、お風呂に入り、ヨガを行い、明日の準備をして寝る。
そのまま自宅へ帰る。
コンビニなどで弁当を買い、動画を見ながら食事をとる。
好きな音楽を聞いたり読書をしたり、一人きりの時間を確保している。
活動が終わると寮に帰りゆっくりと寝る用意をする。親としたらさみしい思いをしているのではと気になります。
帰宅し、のんびりしている。
家でテレビをみている。
仕事の終わりは一人でご飯を食べてお風呂に入っている。今よりも静かな環境で暮らし落ち着いて過ごしたい。
家でリラックスして TV を(歌番組子供向け)みたり、ひも遊びをして過ごす。
自宅に戻り、食事・入浴して寝る生活が続いています。週 2 日間ゆっくり休める休みがほしいです。
家でのんびりテレビをみている。
家族と過ごしている。
家族と家で過ごしている。好きな時に好きな所へ外出したい。

グループホームで過ごす

夕方から翌朝までグループホームで世話になっている。
グループホームで生活しています。
午後はグループホームで過ごしている。水曜日に訪問看護。
まっすぐにグループホームへ帰ります。ホームには友達やスタッフの方が居るので楽しく過ごせています。
グループホームに帰寮し生活している。

家事等をして過ごす

掃除、食事作りでいっぱい毎日です。もう少し振り返る余裕があれば良いのですが。
家の事、家族の世話。
料理、皿洗い、洗濯。
ペットの世話を一日中している。糖尿病なので血糖値のコントロールが難しく遠出が出来ない。
リラックスしてテレビを見ている。または買い物に行っている。
買物して家族の帰って来るのを待っている。少し散歩。
仕事が13時に終わる為、帰宅後は昼寝。そして夕食作りをしている。夜は軽度、趣味をして過ごす。
家事、育児。
家で家事や手伝いをしてテレビを見ている。
炊事・草むしり・家事全般・買い物すべて現在は一人で行っているが、手の不自由な私には重い物を運んだりゴミ袋を結んだり瓶のゴムふたを取る事等困る事は沢山あります。夜は疲れて夕飯もそこそこにベッドに入ります。
家事、昼寝、趣味。
孫とインターネットで遊んだり。ただ母親の食事(介護)全て自分がやっている為、食費などの負担が大きい。
自分のペースで出来る家事をしているか、テレビを観ています。
ワンちゃんと散歩。家の掃除、洗濯。ライン(友人、家族と)。
現在は娘(4歳)の保育園の送り迎え後、夕食の買い物、家事、お風呂などの世話をし、就寝。自分だけの時間や、仲の良い友人が欲しい。
家事を行っている。場合によっては気分が落ちてしまい、何も手がつけられない事や休まる事がない。
買い物して、食事して寝ます。
家事に追われ自由な時間はほとんどない。

休息をとる

身体を休める。
老人健康保険施設で夜勤以外の早番、遅番、日勤で働いています。月に2日連続の休みが少なく3連勤で1日休み、また3連勤務が多いので疲れてすぐ寝てしまいます。温泉が好きなので泊りがけでリフレッシュしたいと思いますが、難しいです。
清掃の仕事をしています。営業所が各店舗より一番大きい店です。一人で清掃をしていますので、身体的及び精神的に負担が大きいので大変疲れます。また、通勤が片道約2時間くらいかかります。仕事の終了後しばらくボーっとして休んでいますが、なかなか疲れが取れないです。
横になって静養している事が多い。
どっと疲れるので在宅ワーク後は寝てしまう。余暇を楽しめない。
夜は1人で静養している事が多いです。
休憩を取る。
身体を休めています。
寝る。
家で休養をとっています。
休んでいる。
疲れて寝てしまう(夕食時刻を過ぎてしまう事も多い)。仕事以外の家事や、趣味(リフレッシュ)の時間を作りたい。
なるべくリラックスする様に努める。
自宅で休む。

余暇活動を楽しむ

植木の手入れ、散歩、ウインドウショッピング、読書。
テレビを見たり音楽を聴く。
時間があるので毎日やりたい事をやっている。
勝手な事をせず自由に。
地活(めるくまー)に行ったり、通院や趣味、家事。
テレビを見る。新聞を読む。本を読む。
かるがも青年部にほぼ毎日行っています。カルガモ青年部がないと、大変困るし精神的に良くないです。安心できる好きな場所で過ごしたい!!
家の外で夕食をして夕食を済ませる。家に帰ったら余裕のある時はジョギングをするが、余裕のない時は疲れているのですぐに寝てしまう。
TV、CD(音楽)の鑑賞、読書、アメリカの友人と英文で e-mail。
一人で楽に気ままに過ごしたい。周りに迷惑を掛けず、友達と交流したり、恋愛を楽しみたい。ゆっくりくつろぎたい。教養を高めたい。美しい物を見たい。
仕事を忘れて、ゆったり好きな事をして過ごす(持ち帰りが多い為)。
家の中でネットを利用している。日々の日常生活の支えが欲しい。
動画(YouTube)鑑賞やプラモデル制作、老健施設にいる母との電話での話し。
読書、執筆、暇潰しプラブラ。
作業所から帰って来てからテレビを観たり本を見て過ごしています。
運動して、食事後テレビ見る。
読書、ウォーキング、スポーツ観戦。
手造りのアクセサリを作ったりフリーマーケットで出店したりしていますが、たいした収入にはなりません気分転換にしています。
本を読む。
買い物。ペットのお世話。Youtube。
ホットヨガを利用しています(リラックス効果があるため、自律神経を整えたり、筋トレになるストレッチでしょうか、太らない努力してます)。

その他

働ける仕事よりそこまでの通勤がまず困難。また、欲しい物、やりたい事があっても貧しくできず、あとは疲れも多分にあり、日常を過ごす方法は基本的にないと八割がた思う。
花や草の手入れ。椅子に座ってゆっくりとちょっと昼寝。またテレビや友達と井戸端会議。
人と話したくないので一人でいます。
作業所終了後は、通院している病院での「ナイトケア」(夕食付)に参加している。
週4日テレワーク、1日出社。
家庭内でネットやテレビを見るしかなく、両親の加齢もあり、息子の希望に沿って同行するのも大変難しい。スポーツ、文化等のサークル活動が出来る機会を設ける等もう少し軽度の知的障害者の活動プログラムに市も主体的に企画して欲しい。
週に2回ほど入浴サービスやデイサービスに行っています。
職場と家の往復のみ。一人の時間を大切にしている。
人とのコミュニケーションが辛いので一人でのんびりしたい。
(月)居宅介護サービス、(水)(木)青年余暇活動支援を利用している。

仕事が終わったら、主治医からは ON と OFF をするように言われています。頓服薬を飲んで落ち着くまで休んでから(胸が痛くなるので)帰ります。
コロナ以前はショート、日中一時を利用していたが、今はほぼ利用していません。
仕事の後に活動出来る場をもっと増やして欲しいです。
何もする事が無い。有意義に過ごしたい。何か趣味を持ちたい。出来なくなった事ばかり。
直ぐ自宅に戻り、次の日の準備をしている。朝方で睡眠薬のこともあり、活動時間が限られてしまい自分 1 人の時間をとれるようになりたい。
残業が多く、自分の時間(余暇活動)がほとんど持てない。現状の職場で、余裕のある働き方をするには、正規職員では不可能。パート、アルバイトでは、暮らしてゆけないので、余暇は作れない。
1 日に 1H でいいから TV を見たいが、その時間もとれない。精神薬が強すぎてねむってばかりいるから。でも家族がため息をつきながら食器洗いのセットをするのを見ると辛い。
シフト制で働いていて、早上がりの時は、1 人の時間を確保して、コーヒーショップで、落ちつかせている。
普通に平凡な生活がしたいです。
なるべく残業しないようにして帰宅している。本当は時々、早退してなるべく早く帰りたい。
人に会いたくない。
寄り道をしたりします。
今は病気(癌)で病院へ通っている為、時々通所施設の職員、友達(グループ)に会うのが楽しみです。
定時に仕事を終え、家で過ごす時間を増やしたい。
お酒でその日の嫌な事を忘れる。
休みたいとき休みたい。
完全にプライベートな時間を過ごしたい。
帰宅しても何もしない。月 1~2 回生活支援グループに行っている。
自身の生活で手一杯。以前はケースワーカーの紹介でアルバイトを経験しています。2 年位でした。
薬を入れたり、音楽を聞いたりしている。
就業後にスポーツジムに通ったりするなどの体力、金銭、時間的余裕がほしい。

問 33 で「5」～「6」、「9」（就労していない）に○をつけた方にお聞きします。

問 33-3 あなたが就労していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

就労していない理由については、「高齢だから」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「障害や病気が重いから」が 27.7%、「働くための知識や能力に自信がないから」が 10.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【難病/小児慢性特定疾病】で「高齢だから」がそれぞれ 61.9%、59.4%、【愛の手帳(療育手帳)】、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【自立支援医療】で「障害や病気が重いから」が3割台半ばから6割台半ばと、最も高くなっています。

	合計	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事かわからないから	希望に合った求人が見つからないから	信がくたための知識や能力に自信がないから	働くための知識や能力に自信がないから	職場の障害理解に不安があるから	通勤が困難だから	仕事以外のことをしたいから	わからない	その他
全体	693	27.7	51.7	8.2	7.6	10.1	4.8	6.6	6.3	5.5	7.5	
【手帳の種類、診断別】												
身体障害者手帳	409	26.4	61.9	3.2	4.2	3.9	1.5	5.1	5.4	2.4	5.9	
愛の手帳(療育手帳)	38	42.1	10.5	21.1	7.9	21.1	7.9	2.6	2.6	10.5	2.6	
精神障害者保健福祉手帳	111	39.6	18.9	18.9	16.2	31.5	16.2	10.8	6.3	12.6	15.3	
発達障害	9	66.7	11.1	44.4	55.6	55.6	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	
自立支援医療	134	36.6	28.4	21.6	17.2	23.1	14.2	12.7	10.4	8.2	13.4	
難病/小児慢性特定疾病	96	26.0	59.4	1.0	5.2	4.2	1.0	5.2	6.3	6.3	6.3	
障害児通所支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	合計	無回答
全体	693	13.3
【手帳の種類、診断別】		
身体障害者手帳	409	13.9
愛の手帳(療育手帳)	38	23.7
精神障害者保健福祉手帳	111	10.8
発達障害	9	0.0
自立支援医療	134	10.4
難病/小児慢性特定疾病	96	13.5
障害児通所支援	1	100.0

すべての方にお聞きします。

問 34 あなたは、就労していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

就労していくために必要だと思う支援については、「障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 32.4%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が 27.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「ジョブコーチや介助者などの職場に定着するための支援」が 23.9%、【自立支援医療】で「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 47.9%、「障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制」が 49.8%と、他に比べて高くなっています。また、【精神障害者保健福祉手帳】と【発達障害】で「職場のバリアフリー化」「その他」を除くすべての項目で他と比べて高くなっています。

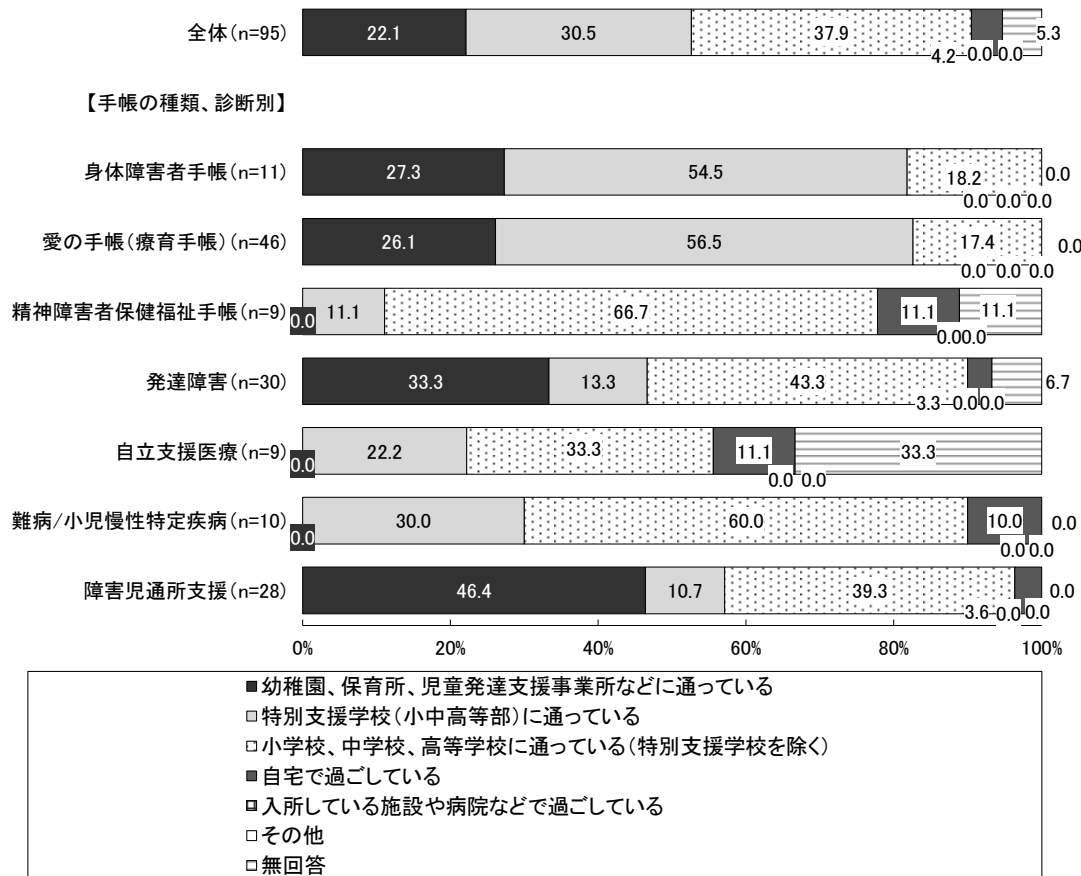
	合計	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	障害への働きかけ	職場のバリアフリー化	障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制	職場に定着するための支援	ジョブコーチや介助者などの職	その他	無回答
全体	1,419	32.4	19.5	13.2	27.2	19.9	10.6	34.2	10.1	11.5	31.7	
【手帳の種類、診断別】												
身体障害者手帳	722	23.0	12.6	8.2	21.7	14.4	13.4	26.2	6.8	13.9	39.3	
愛の手帳(療育手帳)	142	36.6	23.2	19.0	35.9	30.3	7.0	31.0	23.9	5.6	24.6	
精神障害者保健福祉手帳	249	50.6	36.1	28.9	47.0	36.9	10.0	54.2	20.5	11.2	12.4	
発達障害	39	56.4	48.7	41.0	64.1	35.9	10.3	64.1	33.3	15.4	7.7	
自立支援医療	303	47.9	29.7	23.8	36.6	28.1	7.9	49.8	14.5	11.9	14.5	
難病/小児慢性特定疾病	218	29.4	20.2	7.8	20.6	13.3	10.1	36.7	3.7	9.6	35.3	
障害児通所支援	6	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	

8. 障害児福祉について(18歳未満のみ)

問 35 あなた（あて名のご本人）は普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（〇は1つ）

平日の日中の過ごし方については、「小学校、中学校、高等学校に通っている（特別支援学校を除く）」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「特別支援学校（小中高等部）に通っている」が 30.5%、「幼稚園、保育所、児童発達支援事業所などに通っている」が 22.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【愛の手帳（療育手帳）】で「特別支援学校（小中高等部）に通っている」がそれぞれ 54.5%、56.5%、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【自立支援医療】、【難病/小児慢性特定疾病】で「小学校、中学校、高等学校に通っている（特別支援学校を除く）」が3割台前半から6割台半ば、【障害児通所支援】で「幼稚園、保育所、児童発達支援事業所などに通っている」が 46.4%と、最も高くなっています。

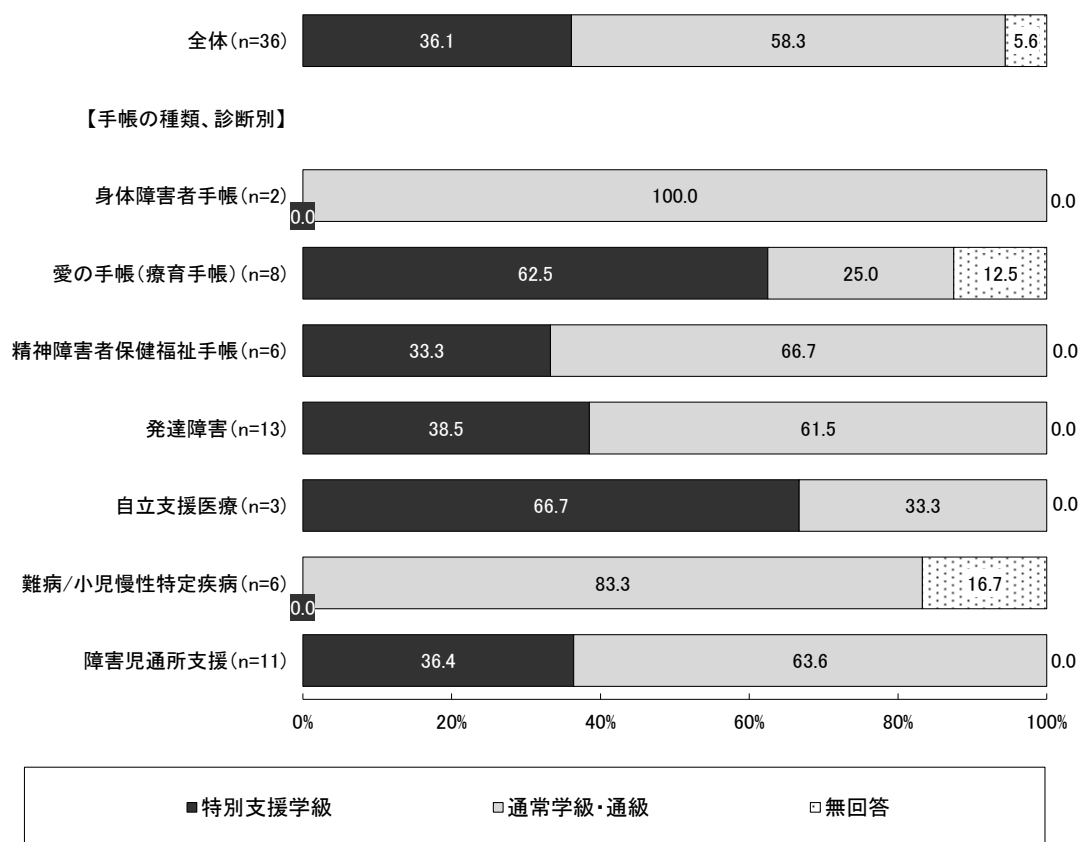


問 35 で「小学校、中学校、高等学校（特別支援学校を除く）に通っている」に○をつけた方

あなた（あて名のご本人）の通っている特別支援学校以外の小学校、中学校、高等学校の種類（○は1つ）

通っている小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を除く)の種類については、「通常学級・通級」の割合が58.3%と、「特別支援学級」の36.1%を上回っています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】(該当者2名)、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【難病/小児慢性特定疾病】、【障害児通所支援】で「通常学級・通級」が6割前半から100.0%、【愛の手帳(療育手帳)】と【自立支援医療】で「特別支援学級」がそれぞれ62.5%、66.7%となっています。



問 36 あなた（あて名のご本人）の障害に気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

障害に気づいたきっかけについては、「家族による気づき」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「病院などの医療機関による受診・健診」が 36.8%、「市が実施する健診」が 20.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】で「病院などの医療機関による受診・健診」が 72.7%、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【難病/小児慢性特定疾病】、【障害児通所支援】で「家族による気づき」が5割台から7割台と、最も高くなっています。

	合計	病院などの医療機関による受診・健診	市が実施する健診	小児保健センターで実施する就学時健診	児童発達支援センターの助言	幼稚園、保育所の助言	学校の助言	家族による気づき	その他	無回答
全体	95	36.8	20.0	1.1	15.8	16.8	4.2	48.4	7.4	1.1
【手帳の種類、診断別】										
身体障害者手帳	11	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	27.3	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	43.5	28.3	0.0	17.4	10.9	4.3	52.2	8.7	0.0
精神障害者保健福祉手帳	9	11.1	22.2	11.1	44.4	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0
発達障害	30	26.7	16.7	3.3	20.0	16.7	0.0	63.3	6.7	0.0
自立支援医療	9	66.7	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	11.1
難病/小児慢性特定疾病	10	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	70.0	0.0	0.0
障害児通所支援	28	32.1	21.4	0.0	14.3	17.9	0.0	50.0	10.7	0.0

問 37 あなた（あて名のご本人）は普段、放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後や夏休みなどの長期休暇の際に過ごしている場所については、「自分の家」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」が 37.9%、「塾・習い事」が 20.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【愛の手帳(療育手帳)】で「放課後等デイサービス」が 52.2%と、他に比べて高くなっています。

	合計	幼稚園、 保育所	学童 クラブ	児童 館	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	公 園 等	学 校 の 部 活 動	塾 ・ 習 い 事	地 域 の ス ポ ー ツ ク ラ ブ	自 分 の 家	友 達 の 家
全体	95	8.4	4.2	4.2	37.9	9.5	7.4	20.0	1.1	80.0	4.2
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	11	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	81.8	9.1
愛の手帳(療育手帳)	46	6.5	2.2	4.3	52.2	4.3	4.3	13.0	0.0	76.1	2.2
精神障害者保健福祉手帳	9	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	44.4	0.0	100.0	11.1
発達障害	30	13.3	3.3	3.3	40.0	10.0	3.3	26.7	3.3	83.3	3.3
自立支援医療	9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	77.8	0.0
難病/小児慢性特定疾病	10	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	80.0	0.0
障害児通所支援	28	7.1	7.1	7.1	39.3	14.3	0.0	21.4	0.0	92.9	3.6

	合計	そ の 他	無 回 答
全体	95	12.6	1.1
【手帳の種類、診断別】			
身体障害者手帳	11	9.1	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	15.2	0.0
精神障害者保健福祉手帳	9	0.0	0.0
発達障害	30	16.7	0.0
自立支援医療	9	22.2	11.1
難病/小児慢性特定疾病	10	0.0	0.0
障害児通所支援	28	10.7	0.0

問 38 幼稚園、保育所、通園施設などに通ううえで重要と思われるものをお答えください。（〇は3つまで）

幼稚園、保育所、通園施設などに通ううえで重要と思うものについては、「送迎など、通所・通学のサポート」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「学習支援や介助など、園・学校生活のサポート」が 49.5%、「放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす」が 34.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【障害児通所支援】で「送迎など、通所・通学のサポート」と「学習支援や介助など、園・学校生活のサポート」が同率で 71.4%、【難病/小児慢性特定疾病】が「子ども同士の理解を深める交流機会を増やす」が 60.0%と、最も高くなっています。

	合計	送迎など、通所・通学のサポート	学習支援や介助など、園・学校生活のサポート	専門的な指導	生活訓練や職業訓練など、専門的な指導	なげア	投薬や喀痰吸引など、医療的	福祉サービスの事業所など、外部との連携	子ども同士の理解を深める交流機会を増やす	フリー化	保育施設や学校施設のバリア	就学相談や進路相談を積極的に行う	通常の学級への受け入れを進める	放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす
全体	95	58.9	49.5	30.5	7.4	24.2	29.5	7.4	27.4	15.8	34.7			
【手帳の種類、診断別】														
身体障害者手帳	11	54.5	36.4	36.4	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	45.5			
愛の手帳(療育手帳)	46	73.9	56.5	37.0	8.7	30.4	28.3	4.3	28.3	10.9	47.8			
精神障害者保健福祉手帳	9	55.6	55.6	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1			
発達障害	30	70.0	66.7	26.7	3.3	23.3	36.7	6.7	30.0	20.0	33.3			
自立支援医療	9	33.3	22.2	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	22.2	33.3	11.1			
難病/小児慢性特定疾病	10	30.0	20.0	0.0	10.0	20.0	60.0	20.0	20.0	10.0	40.0			
障害児通所支援	28	71.4	71.4	35.7	3.6	28.6	32.1	3.6	28.6	21.4	35.7			

	合計	その他	無回答
全体	95	5.3	2.1
【手帳の種類、診断別】			
身体障害者手帳	11	0.0	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	6.5	0.0
精神障害者保健福祉手帳	9	0.0	0.0
発達障害	30	3.3	3.3
自立支援医療	9	0.0	22.2
難病/小児慢性特定疾病	10	10.0	0.0
障害児通所支援	28	10.7	0.0

問 39 今の学校の卒業後について、希望する進路はどれですか。（〇は1つ）

希望する卒業後の進路については、「上級学校に進学したい」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「まだ考えていない」が 35.8%、「企業などへ就職したい」が 8.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】で「上級学校に進学したい」と「まだ考えていない」が同率で 27.3%、【愛の手帳(療育手帳)】で「まだ考えていない」が 37.0%、【精神障害者保健福祉手帳】、【発達障害】、【難病/小児慢性特定疾病】、【障害児通所支援】で「上級学校に進学したい」が4割台前半から5割台半ばと、最も高くなっています。

	合計	訓練施設に通いたい	入所して、訓練などを受けたい	企業などへ就職したい	職業訓練校で訓練を受けた	上級学校に進学したい	まだ考えていない	その他	無回答
全体	95	4.2	0.0	8.4	2.1	43.2	35.8	3.2	3.2
【手帳の種類、診断別】									
身体障害者手帳	11	9.1	0.0	18.2	0.0	27.3	27.3	18.2	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	8.7	0.0	13.0	2.2	34.8	37.0	2.2	2.2
精神障害者保健福祉手帳	9	0.0	0.0	22.2	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0
発達障害	30	0.0	0.0	6.7	6.7	43.3	40.0	3.3	0.0
自立支援医療	9	0.0	0.0	22.2	0.0	33.3	33.3	0.0	11.1
難病/小児慢性特定疾病	10	0.0	0.0	10.0	0.0	50.0	40.0	0.0	0.0
障害児通所支援	28	0.0	0.0	0.0	3.6	50.0	39.3	3.6	3.6

問 40 保護者の方は、あなた（あて名のご本人）の現在または将来について、どのような不安や悩みがありますか。（〇は3つまで）

保護者の不安や悩みについては、「学校での集団生活や人間関係」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「本人の習熟度にあった勉強指導」が 32.6%、「適性に合った進路の相談支援」と「進学等の環境変化に伴う本人の適応性」が同率で 25.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】で「長期休暇時の子どもの過ごし方」が 45.5%、【愛の手帳(療育手帳)】で「成人後の日中の通所先」が 32.6%、【発達障害】、【障害児通所支援】で「学校での集団生活や人間関係」が6割台前半、【難病/小児慢性特定疾病】で「特にない」が 30.0%と、最も高くなっています。

	合計	本人の習熟度にあつた勉強指導	学校での集団生活や人間関係	学校生活に関する相談	適性に合った進路の相談支援	進学等の環境変化に伴う本人の適応性	進学時における教員間での引継ぎ	教職員の障害に対する理解	教育・保育施設での医療的ケアの対応	長期休暇時の子どもの過ごし方	通学時の送迎
全体	95	32.6	42.1	13.7	25.3	25.3	14.7	14.7	3.2	17.9	14.7
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	11	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	45.5	36.4
愛の手帳(療育手帳)	46	28.3	30.4	10.9	26.1	23.9	13.0	8.7	2.2	23.9	19.6
精神障害者保健福祉手帳	9	33.3	44.4	22.2	44.4	44.4	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0
発達障害	30	46.7	63.3	20.0	16.7	36.7	20.0	20.0	3.3	26.7	13.3
自立支援医療	9	22.2	44.4	11.1	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病/小児慢性特定疾病	10	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
障害児通所支援	28	50.0	60.7	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	3.6	25.0	25.0

	合計	適性に合った就職先の紹介	就職に必要な技術等の訓練の機会	就職に関する総合的な相談支援	成人後の日中の通所先	成人後の日中活動終了後の過ごし方	特にない	その他	無回答
全体	95	18.9	12.6	13.7	17.9	14.7	6.3	5.3	2.1
【手帳の種類、診断別】									
身体障害者手帳	11	9.1	9.1	27.3	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	21.7	19.6	21.7	32.6	30.4	2.2	8.7	2.2
精神障害者保健福祉手帳	9	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害	30	13.3	16.7	10.0	23.3	13.3	0.0	6.7	0.0
自立支援医療	9	33.3	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2
難病/小児慢性特定疾病	10	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0
障害児通所支援	28	14.3	7.1	3.6	17.9	7.1	0.0	7.1	0.0

問 41 保護者の方が、不安や悩みを相談する場として希望するものはどれですか。（〇は3つまで）

保護者の方が、不安や悩みの相談を希望する場については、「児童発達支援センターわかき学園」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「障害児通所支援事業所」が 23.2%、「わからない」が 21.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】、【愛の手帳(療育手帳)】、【発達障害】、【障害児通所支援】で「児童発達支援センターわかき学園」が4割台半ばから7割台半ば、【難病/小児慢性特定疾病】で「特にない」が 40.0%と、最も高くなっています。

	合計	ペアレントトレーニングや	ピアサポート活動	家族会への参加	子ども家庭支援センター	障害児通所支援事業所	相談支援事業所	児童発達支援センターわかき学園	さいわい福祉センター	スクールソーシャルワーカー	教育相談室
全体	95	13.7	4.2	11.6	7.4	23.2	8.4	47.4	8.4	13.7	6.3
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	11	18.2	9.1	27.3	0.0	18.2	0.0	45.5	18.2	9.1	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	8.7	6.5	15.2	4.3	28.3	6.5	56.5	15.2	8.7	8.7
精神障害者保健福祉手帳	9	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
発達障害	30	10.0	6.7	10.0	6.7	33.3	10.0	56.7	3.3	13.3	10.0
自立支援医療	9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
難病/小児慢性特定疾病	10	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0
障害児通所支援	28	10.7	3.6	10.7	10.7	50.0	7.1	75.0	7.1	21.4	7.1

	合計	特にない	その他	わからない	無回答
全体	95	14.7	5.3	21.1	2.1
【手帳の種類、診断別】					
身体障害者手帳	11	18.2	0.0	18.2	0.0
愛の手帳(療育手帳)	46	8.7	4.3	28.3	2.2
精神障害者保健福祉手帳	9	33.3	0.0	33.3	0.0
発達障害	30	0.0	6.7	20.0	0.0
自立支援医療	9	33.3	0.0	11.1	22.2
難病/小児慢性特定疾病	10	40.0	20.0	10.0	0.0
障害児通所支援	28	0.0	7.1	10.7	0.0

9. 東久留米市の障害福祉施策について

問 42 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。(〇は3つまで)

福祉に関する情報の入手先については、「市や社会福祉協議会等の広報紙」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「インターネット」が 16.9%、「医療機関」が 15.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【発達障害】と【障害児通所支援】で「インターネット」がそれぞれ 43.5%、44.1%と、最も高くなっています。また、【精神障害者保健福祉手帳】で「医療機関」が 22.8%、「市や都の窓口」が 22.1%、【発達障害】で「友人・知人」が 20.3%、「障害者の福祉施設」が 21.7%、【自立支援医療】で「医療機関」が 22.7%、【障害児通所支援】で「友人・知人」が 23.5%、「障害者の福祉施設」が 26.5%と、他に比べて高くなっています。

	合計	報 紙	市 や 社 会 福 祉 協 議 会 等 の 広 報	声 の 広 報	テ レ ビ や ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌	イ ン タ ー ネ ッ ト	障 害 者 団 体	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 、 身 体 ・ 知 的 障 害 者 相 談 員	ホ ー ム ヘル パー	家 族 ・ 親 戚	友 人 ・ 知 人
全体	1,545	44.5	1.6	8.0	6.7	16.9	2.5	1.6	2.2	8.9	7.1	
【手帳の種類、診断別】												
身体障害者手帳	744	47.3	2.0	10.1	9.0	11.3	2.0	1.6	3.4	8.2	6.0	
愛の手帳(療育手帳)	191	34.6	0.5	6.3	2.1	16.8	9.9	2.6	0.5	15.7	15.7	
精神障害者保健福祉手帳	263	41.1	1.5	4.6	3.0	24.7	2.7	1.5	1.5	11.4	6.5	
発達障害	69	36.2	1.4	5.8	1.4	43.5	0.0	1.4	0.0	10.1	20.3	
自立支援医療	317	44.5	1.3	5.7	3.5	25.2	1.6	1.9	3.2	10.1	7.9	
難病/小児慢性特定疾病	229	45.4	1.3	8.3	7.4	20.1	0.4	2.2	1.7	7.4	5.2	
障害児通所支援	34	38.2	0.0	2.9	2.9	44.1	5.9	2.9	0.0	2.9	23.5	

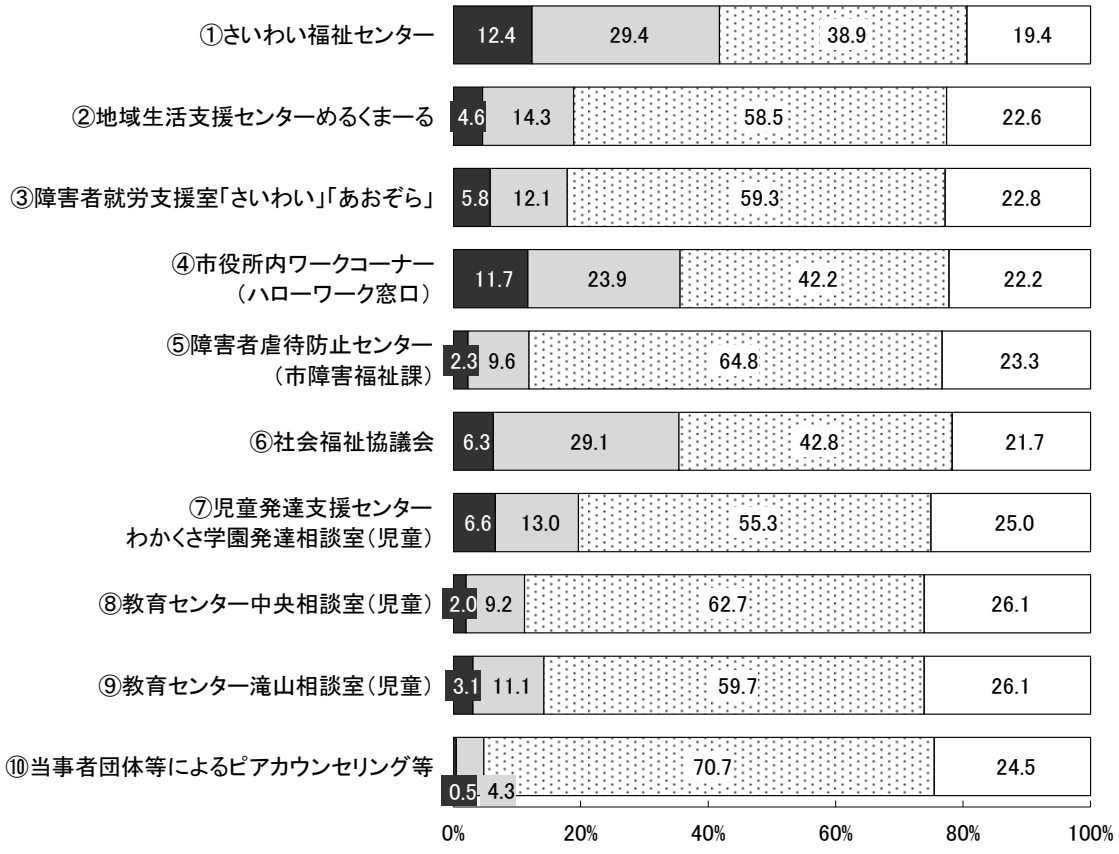
	合計	医 療 機 関	市 や 都 の 窓 口	障 害 者 の 福 祉 施 設	情 報 は 得 ら れ て い な い	そ の 他	無 回 答
全体	1,545	15.7	15.2	9.3	11.5	3.4	11.8
【手帳の種類、診断別】							
身体障害者手帳	744	15.1	14.7	6.6	11.6	4.0	13.0
愛の手帳(療育手帳)	191	8.4	16.8	34.0	7.3	4.2	10.5
精神障害者保健福祉手帳	263	22.8	22.1	16.0	9.9	5.3	8.0
発達障害	69	17.4	18.8	21.7	8.7	7.2	10.1
自立支援医療	317	22.7	17.4	9.5	10.4	3.8	8.5
難病/小児慢性特定疾病	229	13.5	13.1	3.1	14.0	3.1	12.7
障害児通所支援	34	14.7	8.8	26.5	8.8	8.8	8.8

問 43 次の障害者（児）に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。（①～⑩までそれぞれに○は1つ）

市の相談窓口について「知っており、利用したことがある」の割合は、【①さいわい福祉センター】が12.4%と最も高く、次いで【④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）】が11.7%、【⑦児童発達支援センターわかさ学園発達相談室（児童）】が6.6%となっています。

「知っており、利用したことがある」と「知っていたが、利用したことはない」を合わせた“知っている”は、【①さいわい福祉センター】が41.8%、【④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）】が35.6%、【⑥社会福祉協議会】が35.4%となっています。また、「知らない」の割合は、【⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等】が70.7%、【⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）】が64.8%、【⑧教育センター中央相談室（児童）】が62.7%と高くなっています。

n=1,545



■ 知っており、利用したことがある □ 知っていたが、利用したことはない □ 知らない □ 無回答

問 44 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（〇は3つまで）

今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策については、「災害時の支援」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「障害者の就労支援の充実」が 23.4%、「バリアフリーのまちづくり」が 19.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、【身体障害者手帳】と【難病/小児慢性特定疾病】で「災害時の支援」がそれぞれ 33.5%、28.4%、【愛の手帳(療育手帳)】で「グループホームの施設整備」が 34.6%、【精神障害者保健福祉手帳】、【自立支援医療】で「障害者の就労支援の充実」が 43.0%、32.8%、【発達障害】で「児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり」と「障害者の就労支援の充実」が同率で 34.8%、【障害児通所支援】で「特別支援教育のいっそうの充実」が 44.1%と、最も高くなっています。

	合計	く児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり	特別支援教育のいっそうの充実	こ教育と福祉の連携を強める	障害者の放課後や余暇活動の充実	成人期の余暇活動の場づくり	障害者(児)への虐待の予防・権利擁護	障害者の就労支援の充実	親の就労支援の充実等による	就労系事業所の定員の拡大	重度の障害者(児)の日常生活の確保
全体	1,545	9.2	6.1	9.1	4.5	7.0	8.1	23.4	5.0	5.8	5.4
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	4.4	3.8	5.9	3.4	4.0	6.2	15.3	4.0	3.1	5.6
愛の手帳(療育手帳)	191	13.6	8.4	9.9	9.4	24.1	11.0	33.5	5.2	12.6	12.0
精神障害者保健福祉手帳	263	9.1	4.9	11.0	3.4	8.7	11.4	43.0	5.3	11.0	4.2
発達障害	69	34.8	24.6	15.9	13.0	15.9	14.5	34.8	10.1	13.0	5.8
自立支援医療	317	10.7	5.0	10.1	2.5	8.8	12.9	32.8	5.4	8.8	5.4
難病/小児慢性特定疾病	229	10.9	4.8	11.8	2.6	5.2	7.4	17.9	4.8	4.8	4.8
障害児通所支援	34	32.4	44.1	23.5	29.4	8.8	11.8	26.5	23.5	5.9	8.8

	合計	在宅でも医療を受けられる体制づくり	グループホームの施設整備	バリアフリーのまちづくり	障害特性に応じた情報提供	相談支援体制の強化	障害者(児)への理解を深めるための講習やイベント	研修等による支援者やボランティアの育成	災害時の支援	その他	無回答
全体	1,545	18.8	10.7	19.7	14.6	17.3	5.2	3.9	29.3	4.2	17.1
【手帳の種類、診断別】											
身体障害者手帳	744	24.6	8.3	26.7	13.0	14.9	4.3	3.4	33.5	4.4	19.9
愛の手帳(療育手帳)	191	8.4	34.6	6.8	14.7	15.2	6.8	7.9	26.7	3.1	12.6
精神障害者保健福祉手帳	263	11.0	9.9	9.5	22.8	23.6	8.4	4.9	25.1	6.5	11.8
発達障害	69	7.2	14.5	2.9	26.1	27.5	11.6	1.4	21.7	8.7	2.9
自立支援医療	317	13.6	7.3	13.2	19.6	23.3	6.3	3.8	25.2	6.3	12.6
難病/小児慢性特定疾病	229	23.6	7.9	25.3	11.4	14.0	4.8	4.8	28.4	2.6	18.3
障害児通所支援	34	0.0	17.6	0.0	17.6	14.7	8.8	0.0	8.8	5.9	11.8

東久留米市の障害福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

相談支援に関すること

福祉の施策を受けられるべき人に利用されないでいる現実があると思う。もっと分かり易く休日でも相談できる窓口があった方が良いのでは。知っている人だけがだいに利用している不平等を感じている。病気で苦しんでいる現実に対して、障害としての認定に厳しすぎる気がする。
東久留米市の福祉課窓口はいつも対応が親切で助かります。これからも困っている障害者に対して相談に乗って力を貸して欲しいと思います。私も年を取ってしまい障害者の子供の世話が出来なくなってくる事がとても不安です。その時は相談に行きたいと思います。心よりお願いしたいと思います。
恐らく色々なサービス支援の相談窓口は多くあるのですが、実際面では知られていません。予算も多く使われるジャンルですので、限界は有ると思いますが何でも相談に乗って下さる総合窓口を創設して欲しいです。有るのでしたら広報にもっと力を入れて欲しいと思います。
現在高校3年生なのですが、学校についての相談や家の中で親や兄弟に対する相談相手がなく、とても大変です。誰か自分の話を聞いてくれて、自分とは関りが無いといった人がいたりするとうれしいです(相談をする人がいてほしい)。
自分の病気、障害について相談、支援はとても有り難いです。私は子供がいますが、子育ての相談、支援は心強いです。ありがとうございます。
時間や手間がかかる相談が多数かと思いますが、一件一件親身に対応できる体制の維持、強化に勤めて頂きたいと思います。
体についてですが、私は15年前から統合失調症で、ものごとの考える判断力や、全身の体が痛くて、生活が出きない状態です。どこで相談すればよいのか教えて下さい。
今以上相談窓口等のPRをすることにより、地域の方々に理解されるのではないかと。
窓口で相談をしたり説明を受ける際に、隣の方の話が聞こえてきてしまい会話が難しくなったり理解できない時があるので、物理的な配慮をしていただきたいです。
ひとりがひとつの障害や疾患だけを持っている場合が多いかもしれませんが、いくつもの障害や疾患を抱えている人もいます。相談内容も多岐にわたることもあり、その数だけ相談窓口を尋ねるのは大変です。難しいこととは思いますが、福祉のワンストップ窓口を作ってほしい。

サービス基盤に関すること

脳梗塞で倒れて3年。要介護5でケアマネージャーがつかいましたが、障害福祉の事は教えてくれませんでした。自分で調べて足の装具と障害者手帳を入手しました(2年後に)。もっと横のつながりをもって、ケアマネージャーから教えてもらっていたらもっと早く障害福祉課に相談できていたのにとおもいます。
大変お世話になっています。ありがとうございます。親の老齢で重症心身の娘の介護に不安を感じておりましたが、お陰様で44歳時に入所させて頂きました。障害福祉課の職員の皆さんは常に障害者とその家族に寄り添って下さり窓口に行くといつもホッとした気持ちで帰宅していました。昨年からは見人の方をお願いする事にしました。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。
東久留米市は、福祉が充実して息子達(知的障害と自閉症の双子男子)をわかき学園やさいわい福祉センターもよくして頂き、とてもありがたく思いました。
グループホーム、ショートステイが出来る所を増やして欲しい。支援センターに自転車置き場が欲しい。
障害福祉施設が市内のどこに有るか分からない。
現在は病気の後遺症もほとんど無く一人で生活できますが、生活全般のカウンセリングを受けたいです。
グループホーム入居の場合、その地域での医療が受けられる体制づくり。(市からの医療通知のコロナ注射・保険等)住所変更せずに受けられるように出来れば。

<p>障害者の介護者(親、兄弟)が亡くなった場合の残された障害者を支援できる施設の充実をはかってほしい。</p>
<p>支援を受けていますが、支援者の適性に疑問を感じています。人間性やコミュニケーション能力の無さに困っています。</p>
<p>他の市や区と比べて東久留米市(と清瀬市)は障害福祉サービスが充実している方だと感じています。今後もさらに障害者とその家族、支援者が暮らしやすい市になっていくことを願っています。</p>
<p>香川県では障害手帳の申請用の医師による診断書作成料を助成してくれる制度がありました。しかし東久留米市では助成が無いと聞いています。2年に1度診断書を提出しなければならず、経済的にかなり負担です。助成金を出して欲しいです。</p>
<p>いつもお世話になりますが、グループホームの施設整備に力を入れて下さい。</p>
<p>時間があれば、話し合い、又はグループホーム、色んな施設に行ってみたいです。</p>
<p>いつも大変お世話になっております。おかげ様で両親の精神安定は保てています。さいわい福祉センター様には特にお世話になっております。日中一時の情報をもっと広く公開してもらえ、さらにワクを増やしてもらえるとありがたいです。</p>
<p>日常生活は、妻である私が元気な限り介助できますが、急に何か介助できなくなった時、入所できる施設があると安心できます。今の時点ではケアマネージャーさんに聞くと言っていました。ぜひ、お願いしたいです。</p>
<p>障害者に対する助成が手薄いようです。規則に安易に従事することなく、拡大解釈もケースバイケースで実行されたい。小生、いわゆる高齢者ですが、若い方、若年の方に手厚い助成をお願いします。</p>
<p>グループホームの入居の手続きをもう少し簡単になれば良いなあと思います。</p>
<p>障害のある人は生活、教育等、基本的なところの支援はよく入りますが、妊娠、出産における支援は皆無だと思います。もし自分が子を持たた時、他の人より支援が必要と思いますが、健康な人と同じ土俵で考えられるのが辛いです。生活のその先にある健康者同様の大変さに障害者の苦労を想像して頂きたいです。広報誌に、1回1つの病気についてコラムを書いたりすると、障害、病気の理解が深まるかも知れません。(病気の説明、必要な支援等)手帳に該当する病気か否かは関係無し。</p>
<p>在宅医療を受けながら病院へ通い、又時々通所へ通うのが楽しみなので、このままの体制を維持したいと思っている為、支援をお願いします。</p>
<p>何をやるにも視力不足は決定的。それへの対応をお願いします。</p>
<p>現在障害者年金の手続きを進めている。働くことができないのに、過去少なくとも2回申請が通らなかった。かかりつけの医師も協力的でなかった。弱者に寄り添う仕組みづくりを強く願う。</p>
<p>私は自立支援を受けていますが、働けるほどの体力などはまだないのに、手帳を持っていないと受けられないサービスや支援が多く、もう少しなんとかならないかと思うことがあります。</p>
<p>現在受けているサービスに期限(更新)がある場合、期限前に連絡していただきたい(ex.1~2ヶ月前)。自己申告だけでは忘れてしまうことが大変心配です。</p>
<p>機械的事務的でなく親身になってほしい。市の職員はあまりよくないことが多い。</p>
<p>重度訪問介護サービスを利用しやすくしていただきたいです。</p>
<p>放課後等デイサービスや移動支援など、とても助かるサービスなのに支援していただける方の人手不足のために利用が出来ないことが残念です。人員確保のためにも何とか考えていただきたいです。</p>
<p>歩行が困難になったので、介護保険を申請し、要介護1の認定を受けた。ケアマネージャーの紹介で行ったデイサービスではここでは無理だと変更をすすめられた。医師の指導で変更の申請をしたが、市の面談の後、進展がない。医師の勧めもあり、デイサービスでリハビリをしたいが、連絡が無いので困っている。ケアマネージャーからは何の連絡もない。障害者手帳は難聴で交付されたが、歩行困難の障害とどう関係するのか。</p>
<p>移動支援事業が今のままでは単価が安い為必要な時に使えない。また、人員が足りない為利用するのが困難。成人期のデイサービスを使っていけないと、今の子どもたちが大きくなった時、行き場のない人が増えてしまいます。一人では出かけられない為絶対的に必要だと思います。</p>
<p>市は下肢障害者手当を廃止する等しているが障害福祉に逆行しているのではないですか。手当少額でも痛みケアに必要な金額です。</p>

経済的支援に関すること

収入が少ないのでごみ袋 1 枚にも気をつかう。値下げ、出来れば無料化して欲しい。市バスのくるぶーがあるが、無料か 100 円程度で定期的に走るバスにして欲しい。杖の支給、高齢の人は杖をついている人が多い。国保料を下げて欲しい。東久留米市は高い。リハビリ施設を作って欲しい。
免疫機能の薬を飲み続けていて、その費用がとても高い為、助成金は本当にありがたいです。ただ、体の状態によって通院時にタクシーを使う事もあり、月に 1 回でもタクシー券などがあればなお助かります。
交通費(車移動の援助)。
自立支援医療を受けています。一割負担なのでとても助かっています。障害者は収入が少ないです。経済的支援がより充実すると嬉しいです。
障害者が健常者と比較してどのくらいの負担を抱えてるか検討して欲しい(生活面、金銭面等)。年金で暮らしている者にとっては障害者の介護度数が上がるとうかなりの負担になる。(介護用品、介護タクシーの利用、ショートステイ、施設等の利用などその他多数あり。)
東久留米市は障害者手当がつかないのが不満。所沢や練馬はついている。
私は今の所、支援や介護の必要はないが、市民税所得税の減額、固定資産税の軽減、交通費やガソリン代の補助等物価や公共料金の値上げに対する助成金を出して欲しい。
「中等度難聴児発達支援事業」について、最初に全額支払い、後日領収書で 9 割全額返金申請がづらいです。周りの市や区は 1 割で補聴器を購入できます。金額が大きいので、周りの市区に合せて欲しいです。
看護学校卒業後 30 年位普通の会社で約 10 万円近い収入で働かせていただいていた。今、月 2 万円位で福祉作業所で働いています。交通費、昼食代等 1 万円位の出費、親も年老いてきましたので、親が死亡した後のことが心配でたまりません。
物価上昇によりオムツの負担額が急に大きく上昇しました。その他の消耗品も同様です。物価が上昇している間だけの期間や限定の手当てがあるとよいです。いつも障害福祉に尽力いただき本当にありがとうございます。
税金が高いから支払いが間に合わない。障害手帳をもっているもすべての交通手段が安くならないし、市から援助費を出すべきだと思います。
難病指定に伴い補助金(?)をいただいています。引越し前の市より月額が低かったのですが、いただけることに感謝です(調子がいい時はいいですが、検査や入院した際には特にありがたいと思います)。様々な障害や状態の人がいるため対応が難しいこともあると思いますが、何かあった時行政が頼りになると心強いのでひきつづきよろしく願います。
大人のオムツの補助費がなくなったのは残念。予算が無いのか? 不要と思うからか? 隣の西東京市にはそういう補助があるのに。
学童のような小学校や中学校のあとに学校に併設されている施設があると助かります。長期休暇中など放デイでは短時間すぎたり平日週 5 で入ることができず、働けない環境となっている障害児の親はたくさんいます(8:30-17:00 くらいまでみてもらえないと正社員は不可能。他の兄妹もいます。お金がとてもじゃないけど足りない。教育費が絶対に稼いであげられない)。
タクシーを呼ぶ時の料金の負担を無くして欲しい。
直腸癌の手術を受け、ストーマ金で割高なアパートの家賃¥36,000+2,330(老人だから見守りという名目) = ¥38,330-都営住宅を申し込んでいるが、5 回も落選でとても辛いです。乳癌の受け、現在も抗癌剤(24 時間毎)を摂取しています。
ストーマ装具の給付基準額の見直しと増額をご検討下さい。宜しくお願い申し上げます。
外出したいけど、バス代が高いので外出できない。
収入により子もない為、医療費の負担が多い。どうかして欲しい。
成人後も小児慢性疾患が治癒するわけではなく、同様の経済的支援が必要です。
受けなければならない人が、適切な支援を受けられていない。判定の方法や判定者に問題がある。交通機関が不十分で、家族の助けが無ければタクシーを使わなくてはならず、金銭的な負担が大きい。

他の市や区に比べて、東久留米市は圧倒的に難病手当の金額が低いです。特に他の点(障害福祉政策以外)で他の市より優位なところがないので、ずっと住み続けたいとはあまり思えないです。魅力的な市になる事を期待します。
身体障害者手帳 3 級の場合は、福祉手当が月額 4000 円ですが、等級が違えどその月にかかる医療費や交通費(通院費)は 1・2 級と同じなので、もう少し手当額を増やしていただくと負担が減ってありがたいです。
タクシーの支援は少なすぎて利用することが出来ないのももう少し考えてほしいです。他市と比べてください。
児童から成人期にむけて途切れることなく東久留米で生活できること。特に作業所・グループホーム(民間はあるが)が足りない。移動支援なども事業所のスタッフ不足、施設→地域と掲げるならばどれが欠けても生活はできません。移動支援単価が低いため 1 時間対応が受けられないと事業者方のお話伺いました。是非単価見直しお願い致します(うちは行動援護の為に対応して頂いています)。
民間鉄道会社に介助者が居ない場合でも手帳を見せるだけで運賃の半額にできるように交渉してほしい。
経済面のサポートをもっと充実させてほしい。
入院時の補償制度。
障害者が受ける(公的)手当が少なすぎます。もう少し上げてほしい。月々 1 万円は支給してほしい。仕事上のベースアップも少しずつあるのに障害者にはほんとうに少額です。

障害児への療育、特別支援教育に関すること

今年度入学した児童にはサポートの方がいるのに短時間の支援には対応できないと言われて納得いかない。短時間でも支援を必要としている児童がいる事にも目を向けて欲しい。また、ある小学校の校長先生に「他にも支援が必要な子供が多いから、別の小学校へ行ったほうがお子さんの為だ。」と詳しく話も聞いてもらえず、とても不愉快になった事は一生忘れない。教育の場にいるべきではない。本当に子供の事を考えているのかと不安になる校長である。
いつも有難うございます。さいわい福祉センター、日中一時預かり「コスモ」と民間放課後デイサービスさんの中間的な位置づけの障害者向け児童館があれば良いなと感じました。
今後小学校へ就学予定の子供がおります。通常学級、支援学級、通級指導教室等、方向性はまだ定まっておりますが、支援級や通級指導に通う場合、親の送迎が必要になると思うので負担になる事が不安です。こういった場合、自宅から学校まで離れている人だけでも公的な送迎サービスがあったら非常に助かります。ご検討よろしくお願ひいたします。
障害福祉課の方にはいつもお世話になっておりありがとうございます。学校へ行きにくい子供の為に、学習適応教室がありますがルールが多く課題をずっとやり続けるといった、学校よりも行きにくい場です。不登校の子供の日中の居場所があるととても嬉しいですよ(またはペアレントメンターがいるといいなと思います)。
小学校では情緒級があるのに、中学校では通級を利用しての通常級か、特別支援学級となるのは本人にとっても保護者にとっても酷な事です。是非情緒級を開設して欲しいです。
知人に医療ケアの必要な障害児のお子さんがあるが、看護師が放デイに配置されていないので利用できる放デイが市内になく、非常に親の負担が大きい。なんとか受け入れできる放デイを作る事に力を入れて頂きたいと感じています。よろしくお願ひ致します。
発達障害児の運動療育について、幼児だと療育を受けられる施設がけっこうあるが、小学生になると受けられる施設がすごく少なくなると聞いています。実際運動療育メインの放課後デイは市内にほぼ無いようで、市外はどこも定員に達して利用出来ません。市内に運動療育メインの放課後デイを増やしていただきたいです。
児童発達支援。放課後デイの施設を増やして欲しい。
特別支援学級児童の送迎の充実(バス)をお願いします(同居の孫の送迎は高齢の為、出来ない)。
発達障害児の放課後デイサービスについて情報が欲しくて市役所へ行ったがパンフレットが事業所数件しか無く、見比べられなく困ったので、保育所のように一覧表等有ると比較できて有り難い。障害者(児)でも人によって、その種類や程度がバラバラなので、その人に合わせての相談(就学や学校生活の問題、悩み等)を受けてもらえる場があると良いと思う。

発達障害、知的障害児の送迎システムを作っていただきたい(割引タクシー)。
障害者、児の選択を1つでも増やして欲しいです。それで就労や放デイ等の居場所を増やす事や、支援者を増やし、頼れる人を増やす事等、選択肢を増やす事が出来れば、チャレンジする事が出来ます。人との相性が悪くても、別の場所へ行こうと思えます。家族だけで問題を抱えてしまいがちなので、まず外へ出る事が可能になる居場所を増やして欲しいです。
昔にくらべ児童の発達に関してかなり手厚い支援ができています。しかし、もう成人している人の時代、40才くらいの方はみんな一緒に小学校ですごして支援もなかった。その人たちは生きづらく困っている。声もあげられない。私はもしかしてグレー？そのような相談できる気軽によれる所があればいい。あと認知症の人を家でみている人はかなりきつい。お金がない人は家でみるしかない。8040 問題取り組んでほしい。
子供の発達障害について必要な検査等のようにして、どこの医療機関で受けたらよいか、また療育施設の一覧などがあると良い。グレーゾーンの子供達が支援を受けづらく通常級に入り、二次障害といったパターンも見受けられる。わかき学園の巡回相談も親が希望した場合、園側は拒否できないようにしてほしい。兄の通う幼稚園では、巡回をお願いしても園側からNGが出ている。発達障害児への適切な声かけや接し方の勉強会のようなものを保育士同士で行ってほしい。
市内の公立中学校に情緒固定の支援級を置いて下さい。小学校6年間で全員が通常級を目指すという目標は難しい。子供それぞれの成長スピードが異なるわけで、あと数年手厚くやれる環境があれば、小学校であせって交流に行かなくてもすむ。隣の新座市は市内全ての中学校に情緒固定を置いているし、清瀬も西東京市も中学にもあるのに、東久留米は遅すぎる。引越しや受験で私立も考えなくてはならず、つらいです。
障害を持っている子供の親としては気にしていただいてありがたいです。通所している職員がいるだけで心強いです。
放課後デイの数は増え入所しやすくなったが、内容がただのあずかりになっている所が多い。学童とする事はほぼ一緒(宿題、遊び)で周りに子供より重度の障害をもった子がいて、傷つけられる事も多く退所した。もっとSTやOTなどを必ず一定時間訓練をしてくれる場所が欲しい。保育園の時は無料で病院で受けられたが、学校に上がったからADHDに関して有効な訓練を受けられないのが残念です。親と手探りで沢山失敗しながら普通級に通っています。
ペアレントトレーニングは子どもが生まれる前、もしくは子育てと同時に受けられると良かった。
障害児を持つ親としてその時々悩みが一生続くと思います。地域で暮らしたいという希望はもちろんあります。放課後デイサービスの利用には満足していますが、学校を卒業した後の不安が大きいです。就労場所、余暇活動不足。特に余暇活動は、決して余暇ではなく、作業所の後の居場所です。15時、16時に帰宅した後の過ごす場所です。親の就労や高齢にも関わってきます。家族全体の生活の問題となります。しっかりとした制度とサービスを強く願います。又、移動支援、短期入所等、スタッフ人員不足が常に問題となっていてどんどん増えていく利用者と反比例しています。早急に解決しないとしない課題と思います。市の福祉課による、現状のサービス説明や親の意見を聞いたり、公演会等の場を作って欲しい。わかきさやさいわい等の場所で市と保護者の交流を作って欲しい。まろにえホール等、さいわいの部屋やわかきさ、障害者、障害児の利用出来る日を作って欲しい。→貸し切り、解放日等。

地域で暮らすためのバリアフリー化に関すること

市役所前に障害者用の駐輪場が欲しい。
障害福祉課に虐待防止センターがある事を初めて知りました。市内の施設で使っている事案は把握されている事を願っております。家族は今でも時折後遺症に悩んでおります。東久留米市の障害福祉の未来が明るいものでありますように。
市内の歩道が整備されておらず、車椅子、シルバーカー、杖の利用される方が歩行しづらい。駅周辺だけでなく歩道の修理、整備をお願いしたいです。
私の近所では障害者に対して”障害者は死ね！この世に生きて資格はない”と家族で何度も言われました。私たちは生きてはダメなのでしょうか。そんな人たちに対しての教育をして欲しい。出来れば謝って欲しいです。その人は嘘つきです。すごく傷ついています。

<p>障害者への理解を深めて頂くための健常者の方への啓蒙がもっと必要だと思います(市というよりは国としての方が大きいですが)。先日の名古屋でのニュース(名古屋城復元工事の件)、エレベーターがいらないとかの様な状況が起こらないで欲しい。</p>
<p>目に見える障がいだけでなく、精神的や知的の障がいがある事を多くの人に知って、理解して欲しい。また、そういう人らが「腫物」扱いされない様な社会になって欲しい。自身が学生生活の時、不登校になり辛い思いをしたので、特に教育機関においての不登校や精神病や障がい等の認識を強めて欲しいと思います。</p>
<p>要介護1・2の人は自立しているが、日常のちょっとした事に困っていると思う。</p>
<p>介護保険だと限界がある為、地域で見ると気付いた近隣の人が手を貸す等、地域ボランティア精神を啓蒙する機会、教育が必要に思う。なので高齢者と住民を分けて考える様な事をしているとサービスにも限界がある為、高齢者が孤立してしまうと思う。</p>
<p>色々な現場(障害者本人、それを受け入れる現場)に寄り添って、本当の意味での優しい福祉。</p>
<p>交通機関(公的機関ではなく企業なのですが)障害者手帳を提示してサービスを受ける時、とても差別的な言葉を言われたり、態度を示されて恐ろしくて交通機関を利用するのをやめようかと思う程こわいので、そういう行動がなくなる町・企業にアドバイスをして貰えたら嬉しいです。</p>
<p>心の病なので、見た目にはわかりにくく理解されない。(うつという病に逃げている)障害者のみの参加でない(のみだと区別を感じる)イベントかコミュニティなどを増やして欲しい。</p>
<p>一般の子育てでは子がある程度の年齢になれば親の手を徐々に離れ、親は自分の時間ができますが、障がいのある子供の親は、子供の親としての仕事が終わることはありません(時間と、体力と精神力を使い続けます)。成人以降の障がい者が過ごす場所と、介助・介護者の心配をすることなく生きる為に生活を整えて下さい。</p>
<p>73歳の時に両膝人工関節の手術をし、3年前3月大腿骨骨折で3ヶ月入院をして(千葉県内で)コロナ後やっと東京に帰りました。東久留米市内で医院がなかなか見つからず、ますます歩行等出来なくなり困っています。主人と2人だけ生活で不安の事が多いので助けて欲しいです。</p>
<p>障害は見てわかる人、見てわからない人がいるので、1人1人の立場になって考えて欲しい。</p>
<p>市内の道路に段差が多くあり過ぎる。段差のない道にしてほしい。</p>
<p>発達障害に関して社会の理解が遅れており、偏見の目を向けられたり、人権が守られない生活を送っているのが現状です。理解が進み社会の共通認識が良い方向へ変わる事を望んでいます。第一段階として発達障害という誤解されやすい呼称を「スペシャルニーズ」へ変更する事を要望します。</p>
<p>視覚障害の為、バスに乗る時、音声案内が充実していると助かります(次に来るバスの行き先や到着時間等)。</p>
<p>私は74歳女性です。いつも散歩をして過ごす事が多いのですが、休憩するベンチ等が余りありません。もっと沢山備えて頂ければ助かります。</p>
<p>健常者の障害者に対しての理解、対応不足が改善されてない。</p>
<p>脊損のおむつ購入に際しての助成金の支給。駅のロータリー内に乗用車から車椅子へ乗降できるスペースがあると助かります。</p>
<p>地域で共に生活していくため、理解を深めるための活動(行事・催物・交流等)と支援。雇用と就労への支援と拡充。家庭への支援。アンケート内容の簡素化を図ること(回答が難しい)。</p>
<p>駅のエレベーターになかなか乗れない。車イスやベビーカーは場所をとるのですぐ乗れません。みなさん走ってきたり(子どもの手をひいて走ってくる方も)(子どもの頃の体験が人を作ると思う)どうみても入りきらないのにギューギュー乗ってきます。たくさんの方が乗ってから「どうぞ」と言われても入ることができません。歩道がとても狭い。段差が多い。自転車が歩道を走る時すごいスピードで走っていてこわい。もっと自分達でそれぞれの障害(車イス、白杖、耳がきこえない)の立場に立って体験して、何が必要なのか考えてほしい。今年になって駐輪場ができたことと、西口のビルの前が「みんちゅー」になり、違法駐車が減ったことは良かったと思います。このままの状態が続くとうれいしいです。次回アンケートする時は障害の状況に合わせたアンケートにしてほしい。質問に答えにくいし、わかりにくいです。</p>
<p>親も高齢となりつつあり、グループホーム入居を考えてますが、難しいです。本人の理解や、空きがあっても遠くだったり！設立になっても住民の理解がなければどうにもなりません。みなさんに障害者は身体だけではなく、いろんな障害があることを知ってほしい。</p>

歩道が狭いところが多い。車イスではムリ。
視覚障害者に普通の文字のアンケートは読めません。全盲ではない視覚障害者なので、自転車も利用します。駅前の駐輪所が全て無人。機械では利用できません。知的障害・高齢者も機械式は難しいと思います。機械式になっても、手助けして下さる人を必ず配置していただきたいです(家族が全て代筆)。
大門町の“しまむら”の前の歩道は狭すぎて車椅子どころか乳母車も通るのがやっとです。最近ではカートを引いたお年寄りも多く、すれちがうには車道に出るしかありません。どうか安全に通行できる歩道にしてください。
歩道の段差 1cm でも車椅子での歩行が大変で、1人では出られない。押ししてもらっても大変である。
普段仕事をしていると、車イスに乗っている人をなかなか見かけません。土日も見かけませんが、出づらいのか、たまたま見かけないのか。重度の障害ある人も外出できる環境があるといいと思います。
路地裏の歩道もいつの日か整備に加えてください。狭く、平坦でないの。
私自身、障害者の入り口に立っただけで福祉施策について一言いうのはない。ただ西口の下りのエスカレーターを早く取り付けてほしい。階段の下りの事故は結構いると思う。エレベーターを使えばと健常者から言われるが遅い！
安心して歩ける歩道の強化(歩道は狭く自転車が自由に乗ってこわいです)。

就労に関すること

B型作業場に6年余りおりました。そこでは様々な障害を持つ人たちと出会い、障害者というものを多く知りました。でもまだ自分は通常に近い生活に戻れるとA型へと進みます。しかし、A型では自習を受け、後に理由も知らされず不採用。では一般就労(障害者可)に紹介者同行で行けば、そういった所はその会社のPRが重きの各所店舗の掃除回り。※身体障害者では無理な作業でした。年齢は増し、もうすぐ障害者になってからの月日の方が健常者だった頃の日々を上回り、障害に老化も加わってきます。民間の就労斡旋業者にも一年身を置く事にしました。が、ここでも就労には結ばれません。そしてその割には入所してくる人は多数であり、会社はどんどん膨らんでいきます。公的資金を使って自分たちに損するものはない、いい会社を作ったものです。
あおぞらさんの支援でアルバイト先を見つけました。トラブルが起きて困った時も助けてくれ何とか続けられています。こういったアフターフォローが重要で、仕事が続けられるか決まると感じます。
将来の為の就労対策。
障害者手帳のない、うつ病等になり仕事をやめてしまった人が、再度就労するのが困難で、障害者雇用の枠でしか企業は採用し難い部分があるので困っているの、施策が欲しいと思います。
グレーゾーンの障害者の支援をして欲しい。鍼の国家資格を取ったら練習台になってくれる人を探している。それがなかなか見つからない。また、学校を卒業したものの資格が取れないので困っている。
障害者が働ける施設を増やしてほしいです。障害者の就労支援の情報が少ないので力を入れてほしいです。一般企業、市役所、福祉施設での労働者を増やしていただきたいです。障害者支援のスタッフ(専門家、社会福祉士など)の人の人数を増やしてほしい。
できるだけ早く、就労支援を受けたいのですが、現状物価高騰や光熱費の値上げなどで生活が(お金のやりくり)厳しいので今はただただ家に居るだけでウォーキングに行ったり、筋トレしたりと生活しています。障害福祉施策とは関係ない事ですけど。
手帳発行にはならない程度の精神関係の病状者についての、復帰支援を強めてほしい。
心療内科、精神科が少なく、そのドクターと合わない、遠くへ通院せざるを得ない。市内にB型の精神作業所を、もっと建てて下さい。選べるように色々なタイプを。
超短時間労働があると聞いた時は感動しました。しかし場所が遠かったり、活動時間に合わなかったりで中々…。種類が増えて選択ができるとステップアップになったり自信もつので是非、力を入れて欲しいと思います。
就労継続支援の在宅利用の強化、A型の増設。精神障害者でも利用可能にするヘルパー。
東久留米は、市役所も積極的に障害者雇用を促進してほしいと思います。市報での募集も見かけません。他自治体で私は働いていますが、その点でとても残念です。
作業所が狭くて大変。屋根が丈夫でないの、暑さや寒さに耐えられない。トイレが狭い。

ホームヘルパー2級、4年半病院夜勤2年。病院医療事務1年行った経験を生かして仕事につけたらいいなと思っています。
いつも窓口の方も優しく助かっております。難病ですが日常生活は送れる、でも通常通り働くには体力などで不安があります。そういった対象への就労などの案内が欲しいのと相談ができるといいなと思います。
職業訓練は週5で通わなければならない。私は週3の外出が限界の為週2~4で通える場所がほしい。いきなり休職から就労は不安なので、その間のつなぎになる施設やサービスがほしい。

生きがいづくりに関すること

成人後の出会いの場や余暇活動が充実する事を願っています。また、結婚にもつながるようなサービスがあると良いと感じています。自立の在り方は様々ですが、地域の中で安心して当たり前で生活できる環境づくりを望んでいます。
第2土曜日のNewスポーツデーは、とても楽しいイベントです。このような余暇活動の場がもう少し増えて欲しいです。
現在、在籍中の職場の傷病手当で生計を立てていますが、休職可能期間終了と精神疾患治療に専念するため、退職します。失業手当の支給までの間の収入がなく不安です。
現在グループホームに入っているが、土、日、祝は自宅に帰るのが基本になっているので、親の負担がまだまだある。グループホームで週末を過ごす事も可能だが、外出等の支援は親が手配しないと1日中グループホーム内で過ごす事になるので体を持って余してしまう。ヘルパーとの外出も良いが、グループで活動出来る場が沢山あると良い人生が送れるのではと思います。
現在どんぐりに通わせていただき充実していますが、身体を動かせる機会があればと思います。スポーツセンターなどでそういう機会があればありがたいです。筋トレとか指導者も週一回とかからみてくれると助かります。有料でもかまいません。めくるくまーはどちらかというとな静かなので。
今自分が困っている事は、利用している余暇活動の施設の運営が厳しいことです。とても大切な場所で大切な仲間がいて、スタッフも素晴らしいです。いつまでも通いたいと思える場所です。スタッフの方が悩むことなくスムーズな運営ができるような施策を考えていただけたらと思います。
精神障害者や知的障害者、ひきこもりが定期的に集まれる場所が欲しい。生活支援センターなどはあるが利用登録や手続きが必要でハードルが高い。自助グループは相性の良し悪しがある。常設でなくていいので、気軽に参加できる場所がほしい。

移動支援に関すること

3ページの間6がある方もくるぶーが使えるようにして欲しいです。
定期的に病院(市外の西東京)に通っており、病院通いの為の地域の拡充をお願いしたい。
市内循環バスをルート別にして、もっと増やしてほしい。今は自力で市役所にも行けるが、今後もっと高齢になった時、とても不便だと思う。予約制のくるぶーとかでなく定期的に運行しているバスが南沢付近にも停留所があれば楽に利用できると思います。
駅のエスカレーター、エレベーターの改修。自転車が電動自転車が増え歩道を歩いていてもものすごいスピードで隣りを通りすぎるのが怖くて散歩させるのも場所を選ばないといけない。自転車優先になっているので事故も増えているのだから整備してもらいたい。
東久留米市東口、西口の下りエスカレーターの設置。くるぶーの帰りの予約の対策(すぐ呼べる体制)があると、ありがたいです。
西部地区センターは歩行器や土足のままでは入れません。
バスの強化、新座近く坂上。

情報提供に関すること

<p>それぞれの障害や介助者(親)の困り事に合わせた福祉サービスの情報を分かり易い形でお知らせ頂きたい。現状、こちらから問い合わせたり、行動しないと得られず、日々障害児と向き合い疲弊している親にとっては、情報を得て行動する事が難しい。また放課後等デイサービス、さいわい福祉センターにしても介助者の不足や運営する資金不足があると思う。いつかなくなってしまうかという不安がある。介助者の育成や資金面で支える施策をお願いしたい。それとは別に、今、不安な事があります。清瀬特別支援学校の仮校舎移転問題です。事前に保護者や児童に対して、仮校舎の見学や十分な説明(体育館、プール、畑が無いが、活動はどうなる?保護者が学校に行く際の駐車スペースはあるのか?通学のバスの時刻の変更について)が無いまま9月移転を迎えようとしています。息子は、今年支援学校に入学したばかりで、入学当初、酷いパニックを連日起こしていたので、事前の準備のないまま9月1日から仮校舎へ行く事が不安です。市からも都へ働き掛け、親からの不安の声がある事を伝え、事前に児童や保護者が仮校舎を見学する機会や疑問に対して学校が答える機会を設けて欲しいです(学校側は都からの意見がないと中々動いてくれません)。</p>
<p>作業所が東村山市の為、東久留米の情報が入り難い。今回のアンケート記入よりも他の方法で、より理解して欲しい(市内の相談窓口に行く気がしない。予約を取るのが大変。1人では無理)。</p>
<p>東久留米市でどんな障害者福祉施策を行っているのかわかり易く記載した冊子がほしい。それを障害者当事者の家に発送してほしい。サービスを利用したくても情報がなければ必要なものにたどり着くことができない。どうかよろしくお願いします。</p>
<p>そもそも障害福祉施策の情報はどこで得られるのですか?市役所に足を運ぶ事が難しい人は、インターネットが出来ない人は?いつでも受け取れる発信先は?相談したら納得する答えが返ってくる、解決までとことん考えてくれますか?障害があるんだから、諦めろ的なこと健常者の方は思っていますか?私は相談に行っても、いつも、耳が聞こえないんだから仕方ないでしょ!と言われていたようで、諦める事が多かったです。障害が軽いんだから諦めなさいよ…と。</p>
<p>受ける事の出来るサービスに関する情報を得る事が出来ない。</p>
<p>サービスが提供されているのに、知られていないのは勿体ないと思う。興味が無いと目に入らないのが人間なので、小さい頃から教えておくのが良いのかなと思います。</p>
<p>もっと分かりやすくしてください。情報が得づらい。</p>
<p>ネット公開あると助かります。市のHPへジャンプすると、一覧が見られる仕組み作り。</p>
<p>どの様な支援があるのかがわからない。市の外れに住んでいる為、情報があまり回って来ていない様な気がする。</p>
<p>市の行っている障害福祉施策を、もっと一般に周知されるように広報活動の積極化、充実化を図って頂きたい!</p>
<p>サービスが色々あるようですが、分かりにくくて情報も少ない気がします。</p>

市政全般に関すること

<p>意識していなかったのですが、これから目を配っていきたくないと自戒しました。市報などでもう少し特集を組んで強く市民に知らせて頂ければ有難いです。</p>
<p>以前用事があり利用しました。そして利用時間についてその日の利用(東久留米市役所障害福祉課)総合時間が結果長く、かつ不愉快にさせられ、だが合わせてやり付き合いましたが、最初の用事とは別の他の事も押し付けられ終わりました。</p>
<p>更新の書類を書く事。市役所まで出かけて手続きをする事がとても大変です。今より身体状態が悪くなったら出来ないと思います。必要なのに出来なくなったらどうしようと考えています。施設入所したとしても、職員に頼むわけにはいかないと思います。</p>
<p>いつも支援ありがとうございます。障害者福祉課の担当の方にはいつも大変お世話になっております。何年かで担当の方が変わってしまうのが残念です(慣れた頃に異動で違う方になる事が多く)。</p>
<p>福祉課のカウンター番号札が上手く機能していないので改善した方が良いです。</p>

福祉の窓口は丁寧に対応する職員とぞんざいな職員とがいる。申請主義を基本とする窓口は、申請を出し易い様な対応でいるべきである。国の介護基準は、お金のある、施設に入所の方を基準にしたもので、良いとは言い難い。
くるめ新聞等で知る事が多い。
難病申請の手続(申請書類提出～許可証受領)の期間が長過ぎる。都への申請で時間がかかる事は理解しているが、せめて2ヶ月程度短縮して欲しい(現状3ヵ月)。
市民への積極的な情報公開及び理解を求める活動を求めます。
問44の(7)についてです。多様化する社会環境下、就労支援の担当する業務については専任化(他の業務との兼務ではなく)と専門性が求められています。市として早急に推し進めて頂きたい。強く要望致します。
市の窓口で自立支援の更新を頼んだ際、担当が居ないと断られたことがあった。可能であれば、受付時間内は常に対応出来るようにして欲しい。
いつも窓口での対応が親切で有難いです。
障害を持った人と同居したことがない人には障害のある人やその保護者の気持ちは絶対にわかりません。施策を考えるような仕事をする中心のメンバーは100%障害のある人と暮らしたことがある人を求めます。障害者をただ眺めることしかしてこなかった人にはプライベートをさらけ出した悩みを相談なんかしたくもないというのが本音です。失礼な発言で申し訳ありませんが、障害の子と暮らすのはそれだけ大変な思いをしているんです。
他の自治体より福祉がまだ充実していないように思われるので特に高齢化に伴う福祉、子育て世帯への支援の拡大を望む。
市役所の人、頑張ってください。
私は音声障害者です。後天的なのですが母(亡)も同じ障害だったので少し慣れてはきましたが、公的な手続きなどの問い合わせが電話がほとんどなのでリアルタイムで対応していただける窓口以外にチャットやSMS・メールなどできたら嬉しく思います。
市の施策はだんだん厚く、進行形だと思います。
ひとりでの外出が難しいため、市役所になかなか行くことができず困っています。移動しやすいくるぶーなどの事業を障害者にも広げて行ってほしいです。また、市報でも障害者に関する記述や施策が少ないように感じます。より制度や施策を充実させて行ってほしいです。
障害のある人が暮らしやすい町は、障害のない人々にとっても暮らしやすい町です。「障害」と区別するのではなく。ハンデを背負っている人こそが暮らしやすい町作りを市が一丸となって、目指して頂きたいです。その取り組みのおかげで、人が集まる市になったら良いと思います。
市報が見にくい。参加できるものが少ない。
6/15号ひがしくるめの広報(あんしん生活調査)アンケート75才以上の世帯に自宅訪問して見守り声掛け困り事を聞き必要な支援につなげる目的とされるとの情報を読み今は未だ何とか自立しているが、年を重ねるごとに不安につながります。この記事でとても未来に対して安心感が湧きました。
(市内 循環バスを運行して欲しい) <ul style="list-style-type: none"> ・くるぶーに障がい者も登録したい。西武新宿線へも行きたい。 ・障害福祉課の名称「害」→「がい」に変更して欲しい。今は、日常生活に多少の不便しかありませんが、病気の進行で今後、支援が必要になる時、市のHPなど障「害」の字を目にすることが、つらく思います。

アンケートに関すること

市の福祉サービスは手帳の更新などの際しか利用していませんでしたが、色々なサービスがある事をアンケートを通して知る事が出来ました。今後は自分に合ったサービスの利用はしていきたいです。
私は健常者と同じように就労しており、不自由はありませんので、このようなアンケートをされても何ら返答のしようがありません。
この様なアンケート等でも、あると無いとでは市との繋がりがある様に感じ気持ち的には全然違うなど今回感じました。障害がある事でなかなか福祉について知ったり利用したりするのを自分で調べたりして行動に移すのが難しい

方もいらっしゃると思います。実際、私もその1人ではありました。東久留米市で暮らしてから知り、利用した制度もありますので、今後もこの様な支援含め、東久留米市が充実する事を願っています。
アンケート調査票と返信用封筒の大きさが合っていない。障害を持っている人に回答を求め、意見を集約する為にも日頃から障害を持っている人の立場に立った行動が必要だと思います。封筒が小さいのは日常の配慮不足であり、改善される事を望みます。
1.回答項目内容が障害特性別になって居ないので丸を付けづらい。2.身体障害者向けの質問になっていて、精神障害者向けと区別すると良い。但し、自意識以上から「てんかん」(発作外は正常)まで質問は多義に渡り難しいと思う。
指定難病を利用させていただいています。18歳まで病院からの情報提供等なく、3割負担の医療費で、経済的に不安でした。安心して暮らせるように、病院、行政両方からの積極的な情報提供をお願いします。また、指定難病手帳の更新は不要だと思います。現状維持はあっても、よくはならないからです。このようなアンケートをとってくださること、知ろうとくださること、とても嬉しいです。ありがとうございます。
まず根本的なことですが、アンケートを送付する相手を適切に選んで下さい。私には送っていただく必要は全くなかったのですが、市の行政のお役に立てず又、費用の浪費だと思いました。
障害者(児)の生活等に意見を求めるなら、人付き合いに問題ある人々に対しても支援をしてもいいのでは?と思う。友人等を増やしたい人向けに東久留米から意外なサービス等を発信していくのような。支援会的な事があっていいと思う。
受給者証等の申請の際、子供を別室で待たせてもらえると有り難いです(発達障害がある事を本人に伝えていない場合、話しづらい。年中5歳でも、話の内容を気にしていました)。同様に、このアンケートも特性を伝えていない場合、予期せず知って、子供がショックを受けてしまう場合があるので、保護者宛にするなど、配慮して頂きたいです。
アンケートの設問が多すぎる。親子で一緒に考え記入しました。本人が自分で考えられる程度なら問題ないのですが…。今、さいわい福祉センターの紹介で作業所へ通っていて、グループホームの見学等させて頂き大変助かっています。様々な情報が欲しいです。親が老齢となり、それが不安です。母。
重度の障害のため本人は理解できないし、家族としてもどう答えて良いかわからない質問もあり困りました。
私は神経の病気で胸が急に苦しくなります。今回は精神的な質問があまりなかった。

その他

子供が障害児です。その為、育児ストレスにより心療内科(自立支援医療)に通院中です。パニック症と言ったら分かりやすいと思います。不安→緊張→症状→外出難くなる→仕事したくても出来ず。医師からは環境が変わるか子供が成長するまで治らないかもと言われる。子供の支援は色々あると思いますが…(障害児の親がストレスで障害が出る事は少なくないらしいです)。このような親(成人)への支援ってないですよ(例:子供 or 家庭から距離をとる為、気分を落ちつかせる為などに低額で宿泊できる場所など)。障害児の親で障害が出た人が生活弱者だと思います。本来国が検討すべき事案と思いますが、東久留米市が率先していち早く生活弱者に優しい町になる事を願っています。
いつもありがとうございます。
今後とも宜しくお願い致します。
くるぶーを障害者でも利用可としてもらえないかと思います。選挙公報の発行を郵便投票の開始に合わせて欲しい。郵便投票をしようとしても公報が届いておらず、投函を待っていると締め切りになってしまう。
現在は元気で仕事をしています(心臓機能障害、弁置換1級)。将来はあと何年くらいで動けなくなるか分かりません。市行政の障害福祉施策のどれに当てはまるのか分かりませんが、その時は相談してお世話になるかもしれません。その時はよろしく願いいたします。
私(夫)が要介護Ⅰ、妻がⅡで2人で助け合っていますが、将来的には不安である。その為にもヘルパーさんや在宅医療の関係者の増加、施設等の充実を望みます。又、それらの人員増加の為にも働く人の賃金を上げないと働く人は増えないと思います。これは国として大切な保障です。

私は脳を手術していて記憶や物や事や人の話の理解が出来ずなので、今後パソコンや機械の操作が出来ないから紙でのやり取りも出来る様にしたい。
初めて障害福祉課を訪れた時は、病気が分かった直後で泣きながらの相談になりました。担当して下さいの方は親身に話を聞いて下さり、とても有難かったです。今も時々窓口に向う事がありますが、いつも優しく対応して頂き感謝しています。差別なく障害を持つ者も持たない方も生き生きと過ごせる町にしていきたいです。
老々介護ではなく、老朗介護でケアしましょう。明るく、朗らかに。
私は母と UR の住宅に住んでいます。東久留米で生を受け、現在に至っております。45歳の頃から足の痛みがあり、変形性股関節の手術をしました。手術後は暫く静かな生活をし、ボランティア活動としてマザアスさん入居の方に週1、唄の伴奏(ピアノ)等をし、家でご近所の方に唄うサロン等をしておりましたが、いつまでもそんな訳にはいかずと思い母と相談をした。それで母が東久留米市障害就労支援課に電話をしました。私の足の具合の事、20年のブランクがある事等働く場所がどういう所にあるか等お聞きしました。結果さいわい福祉センター就労支援室を紹介して下さい、早速問合せしました。そして現在に至っております。とても良い流れで進行しております。出会う方々がとても御親切で、心が暖かく私も母も有難く思っております。「福」を頂きました。将来母が亡き後には、グループホームに入居したいと思っております。これから先の事を安心して、相談しながら進んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
国の問題だけど、精神の障害年金の制度を初診からすぐ教えて貰えたら申請出来たのに、教えて貰えず申請自体出来なかった事が今でも苦しいです(20年前)。
いつもありがとうございます。障害児は染色体異常の子です。国の別策によって(出生前診断)生まれてくる数も年々少なくなるだろうと思います。少数派の障害者達が安心して暮らせる街づくり、支援を今後とも長期に渡りお願いしたいと切に希望します。
ハンディを背負った人は、たくさんいると思います。充実して、サービスの提供はなかなか難しいと思いはするが、そういう人達に視線を向けた支援、市政運営を期待します。
意見、要望は特にありません。ただ、現状の施策(実施中)は今後も引き続きお願いしたいと思います。
生涯、障害者(児)が安心して暮らしていけるような、総合的な福祉の制度設計の構築を望みます。
私たち夫婦は老老介護(88歳と82歳)で今日は元気だったというような状態で暮らしております。一人の子供は遠くで生活しており希望するような生活は望めません。まわりにお世話になり生活しております。もっと深く考えてなんとかしなければいけないと思いい年を取ってしまいました。この様なことは必ず来ますね。
大変助けられています。いつもありがとうございます。
東久留米市は障害福祉等につきましてはとても理解のある行政だと思っております。これからもよろしくお願い致します。
ケースワーカーさんや市役所職員さんの勤務態度などで、常に上から目線で、もっと親切丁寧にしていただきたく、その態度などが、とても不愉快。障害者としても、人間なので、給付金と多少の支援を受けたからと言って、人間としての尊厳をもっと尊重して頂きたい。今後このような横暴な態度を改めて頂き、もっと真摯に向き合って障害者の心によりそっていただけますように努力して下さい。
年齢を重ねて不安の件。この度、入所が決定し安堵しました。本当に長いこと気に掛けていただきありがとうございます。これからも宜しくお願いします。
特別養護老人ホームが一般の人の目に届かない所で姥捨て山状態に陥っていると思われれます。民主政治かつ衆愚政治に陥らない様に切に望みます。
障害回復には家族の理解と愛情が不可欠と思います。また、障害福祉施策は明るく開かれたものでなくてはならないと考えます。”命は平等”誰もが生きられますように…。
適応障害になってからお世話になっています。窓口に行くのも難しく大変でした。病院からの郵送等で最初の手続きができたなら有難かったと思っています。
3カ月前に歩いていてふらついたので公園で休み、頭が痛くなってきて我慢できず119にTELしたら、歩けるんだったら呼ばないでくださいと言われた。
地域ごとの本件の情報、遠いスピーカーは聞きづらい。

80代の高齢者などに特に支援金など無くもっと老人に対して考えるべき。88才すぎても祝いの品などもなく、他市はいろいろあるようだ。私の親も年金のみ…大変です。もっと支援してほしい。
今の内容は自分はわかりません。
今後のより良い福祉、田園研究施設(自然×科学×福祉)の掛け算で、経済力を蓄え得る中核として担って頂けるよう期待しています。マンダラアートの市としてアートと福祉、そして経済と、科学的よりオカルト(目に見えないの意、存在)の学びの場として新しい引き寄せの法則を追求して欲しい。
民生委員の訪問を受けた事が全く無い→何をしています？
この障害福祉創設に当たり、貴東久留米市の益々の支援教育の無事発展を願う者です。
感謝しております。
障害者もインターネットを使えると良いです。
施設様の方々には親切に対応して頂いております。個人的な事ですが、自身の障害と94歳の母の介護にとっても疲れています。どこに相談させて頂けるのか知りたいです。今後ともよろしくお願い申し上げます。
特定疾患の更更新続の簡素化、毎年同じ内容の繰り返し。
今はまだ介助なしで生活が送っていますが、10年20年後には、必ず助けが必要となってくるかと思えます。その時には、充実した障害福祉が受けられる事を願ってます。よろしくお願いします。
東京都からお米15kg・5kg×3袋もらいました。炊飯して冷凍して、おかずを用意するのがたいへんです。缶詰とか、ふりかけとかないと食べづらいです。
とにかく、脳出血の後遺症を改善すべく、リハビリの毎日。元の健康体に戻るため頑張るしかありません。主人が市の窓口に出向きましたら、よろしく御指導下さい。
障害者が納税というカタチで支援を受けていることに対し、自立支援の名の基、当該者(達)がそれをどう還元して言うのか考える動機付けに。
何も期待してません。事務的な対応にもうんざりしてますし、福祉総務課でもテレビがなくても生活できるでしょ!! と、担当のワーカーに言われましたし、福祉なんて口先だけなのだと思います。そんな事を言う人が福祉課(生保)にいることが笑えますね…。
ページ10の障害福祉サービスなどについて○印はつけていません。現在はお陰様でひとり暮らしが出来ておりますが、気持的には利用の予定はないに○印をしたいのですが、年々体力も気力も弱っているのは実感しており来年のことは多分このまま行けるとして暮らしておりますがわかりません。アンケート用紙を送っていただき、福祉の制度を知ることが出来て有難いことだと思いました。前向きに元気が一番を目標に年を重ねて行けたらと思います。ありがとうございます。
満足している。
書類のやり取りで郵便やネットが使えず、すぐに窓口に来いと言いますが、障害への理解がなさすぎる。仕事ができる体の方は立ててない、力が入らない苦しみを理解し、自分たちが何ができるのか考えて欲しい。
東久留米市内での精神手帳に対する割引等を検討してほしい。相談窓口(支援)の時間帯を長くして欲しい。(希望としては24時間対応。)
特にありません。現在の状況で十分です。
なにかとお世話になっています。これからも、よろしくお願いします。
うつ病発症後かなり時間が経ちましたが、妻のおかげもあり、取り敢えず不自由なく生活しております。今はあまり外部からの波風にさらされず、静かに暮らしていきたいと考えています。
引っ越したばかりで、地理的にまだ分からない事が多い。年齢的に働く所が無く、又どうやって調べるかも分からない。人との付き合いは疲れるので、このままひとり暮らしをしたいが、年金的に無理。将来が不安。ずっと川崎の方にある病院に通っているが、交通費がかかって負担になる。せめて医療費が支給されれば助かる。
自立支援医療などの更更新続が毎年暑い季節で、できれば涼しい季節に市役所に行きたいです。わがままでしょうか。今後とも宜しくお願いいたします。
アンケートとは関係ないかもしれませんが、生活保護者に対する病院の態度が悪いです。全てではないけど、対応が悪い病院があり悲しい思いをしました。

ありがとうございました。今後共宜しくお願い致します(サービスの概要の資料いただきました)。
将来3年以内ではなく、予定はないわけではないので○は付けてません。
説明が分かりやすいので、ありがたいです。
何を書こうと、どうせ見てくれずに見捨てるだけだと思うので、特に要望は無いです。むしろ安楽死させて欲しいです。
質問と趣旨が異なるが、郵便物の発送が出来ない事。外出できず介護保険のヘルパーは禁止されている。月1回、来訪のケアマネージャーに頼むか自分でヘルパーに頼むしかありません。ポストが減ってきたのも問題。
当市の障害福祉施策は充実していると思います。今後共お世話になります。
透析を受け始めて8年がたち、最初は経済的にどうしようと困りましたが、障害福祉課で丁寧に手続き等教えて頂き、現在に至ります。まさか自分がと思いましたが親身に(本人は泣きたい気分なので)教えて頂き、とても感謝しています。家では80歳の妻と2人ですので、老々介護になった時の事を考えると不安いっぱいです。生活費は妻も働いていたので、細々ではありますが年金生活をしてはいますが、どちらかが1人になった時の事を考えるととても不安です。
いつも自分の力ではどうすることも出来ない事ばかりですが、あたたかく見守って頂きありがとうございます。「悩みは自分を励ましてくれます」は美談でしょうか？
同じ障害者(級)でも質が違うので、その人個人の症状に出来るだけ合った施策、支援、保護等を時間をかけて話し合っていていくのが望ましいと思っています。
「福祉」は常に「底なし」になる危険性もあると思われれます。たまに利用させてもらうガイドヘルパーの人も要介護のお母さんを世話しています。一方で「弱者」を政治利用している団体もあります。ヘルプカードなどなくても、外出では善意の人に助けられます。「善意」は法律で限定できない(このアンケートも、社協のボランティアの人に助けられて記入しました)。
東久留米市が障害者にとって住みやすい市になってくださることを望みます。
私の経験から感じている事は(自身の障害対応等)充分満足をいただいている事に感謝の限りです。本当にありがとうございます。障害者の一人として斯様な心温まるアンケート調査に心から深謝申し上げます。ありがとうございました。
私は人工透析患者ですが、各種の支援があり助かっております。
デイケアで週二回半日コース世話になって運動して世話になっている事がプラスになっています。自宅で夫の世話になり外歩き出来る様に運動しているのが少しの力になっています。これからも努力します。
障害者の子供を持っている親も障害者の場合、年をとったら特別に老人ホームに入れるようにお願いしたいです。子供が親をみるのはとても無理だと思います。
今までいろいろと支援など問い合わせをしましたが、まともな返事がなくガッカリしましたのと、不公平さが有る事に納得がいかず、期待はしてません。毎回腹立たしく思っております(成年後見人です)。
特定疾病医療費・難病を受けていますが、毎年更新するのにお金がかかります。完治しない病気なので更新するのはいかがなものか…。毎年ではなく3～5年に1度で良いのではないですか？
障害をもった人、高齢者のみが集まって暮らす町があると良い(施設だと自由に外出もできない)。希望者はそこへ移住できるシステム。
東久留米駅の東側の線路側道路において、車と人が常に危険で、朝と夕方の道路で例えば線路側道路を右折禁止にするとか、なんとかしてもらいたい。事故がおきてから遅い。
東久留米市に限らないですが、障害者だけに支援の政策をするのではなく、少ないお金でも余裕をもって生活していけるように税金を減らす等の対策をしてほしいです。社会に支援してもらっている、お荷物扱いと感ずるのは苦しいです。自殺等も、そういうお荷物・邪魔者扱いが苦しくてする人がいると思います。私も以前、会社に迷惑をかけているのが苦しく電車に飛び込みました(骨折で済みましたが)。今の時代は人材に完璧な人間を求めすぎていると感じます。それに当てはまらなかった人が全部発達障害扱いされているのではと感じます。私の父は性格に問題がありますが、昔は働いており、段々と職を転々とするようになりました。今の時代はだめだとぼやいています。障害者の雇用も法律で強制されようがないからやっている感が強いです。障害者の雇用の促進を、雇用政策を、と国が言うのなら、まず国や市が雇用してほしいです。市や国では邪魔だから民間に丸投げしていると感じます。障害者

<p>雇用について、就労移行支援を利用しましたが、重度の発達障害者向けと感じ、自分に合った障害のレベルではないと感じました(個人個人それぞれ抱えている問題は違うので難しいとは思いますが)。見学も複数行きましたが、どこもだいたい重度の方向けと感じました。求人も低賃金で生活保護費と同程度のものしか受からなそうでした。余裕のある給料をもらえる所は自分では受かりませんでした。障害を話さず、フリーランスでリモートワーク専門エージェント?でITエンジニア(今まで経験してきた職種)を今月から始めました。私の場合、リモートワークであれば他の配慮は不要なので、特に問題もなく、給料も1人暮らしで少し余裕のある生活ができる程度いただける予定です(一般就労で)。発達障害→障害者採用ではなく、まず自分に合った職場を探すのがいいのかなと感じました。就労支援もビジネスなので、なるべく障害者採用をすすめられますし、一般採用は自分で求人を探す形でした。見学に行った時、重度の方向けだと感じましたが、数年後結局うまく長く仕事が続けれないので使用しました。ですが結局合わなかったのと、とにかく障害者採用ではなく一般就労でも探すことを考えるような感じでパンフレット?等も書いたりしてもらえるとうれしいです。生活費を安くすることを考え、グループホームについて聞いてみましたが、他の居住者等のふれあい?があるらしく、そこには特に困っていないので、ただ安い所に住めたら安心だと思いました。重度の障害だけでなく軽度の方にも向けた政策?対策があればいいなと感じました。</p>
<p>いつもお世話になります。職員の対応もよく満足しています。今後ともよろしくお願いします。</p>
<p>移住して16年余りですが、道は狭いし坂が多いので車の運転が酷い人が多いので困りますね。アンケートが長過ぎますね!もう少し端的にお願いしたいです。</p>
<p>1.問44で、1・2・7を指摘したのは私自身のことではなく、障害をもつ孫の件です。母子の学校の送迎を父親がやっている。父親及び一家の負担大。 2.私自身は現時点では自立歩行しているので、施設・制度への関心は薄くなる。でもいつお世話になるかは不明。こんなに多くのサービスがあることを知らなかった。当事者にならないとどうしても関心は薄くなるものですね。 3.障害は予測困難。障害児・老人の増加は動的に予測可能。個人で対応不可の部分は、国・行政の制度の充実が必須。 4.サラリーマンの末路で、私自身は地域社会とのつながりが全くないことが問題だと思う。種々のクラブもあるようだが、積極的になれない。兎に角、妻以外話すことがない。他人と話すこと皆無。</p>
<p>近所の方で楽しんで行っています。良いことです。私は週3回のワクチン自費で行っています。</p>
<p>現在私は自分の趣味を生かしてフリーマーケットに参加していますが(年金等の収入をいただいております)、年齢が上がるにつれ将来の生活には(金銭的に)不安があります。アンケートの枚数が多いのでは?</p>
<p>今は放っておいてください。</p>
<p>本人の障害はペースメーカーで一級のみですが、2022年1月より脳梗塞による高次脳機能障害となりました。限りなく食べたり飲んだりする傾向にあり、すぐ前の事も忘れてしまいます。飲食と薬についての見守りは24時間必要です。医療福祉と介護の連携を望みます。介助者の妻も大きな病気を抱えています。</p>
<p>父母が亡くなってしまったら大変です!グループで集団の行動が苦手です!</p>
<p>今は妻に介護してもらっているが妻に何かあったらと思うと…。電話もかけられない!自分一人では何もできないから。</p>
<p>手続きが大変だと例えば市役所や事業所へ行くだけでも少しハードルが高く感じます。手当などに関しても分かりづらいとか似たような言葉があったり、重複できるもの・できないものが分かりづらかったです。対応して下さる方によって行っていることが違ったりもしたのでこちらも混乱したことがあります。</p>
<p>学もないし普通の生活がしたいです。かけもちしても倒れてしまいます。自分の葬式や病気や心配です。ただ何処も行けませんが、仕方ありません。ただ普通の生活ができています。仕方ありません。</p>
<p>ご苦労様で大変ですが、今後ともよろしくお願ひいたします。普段はいろいろ助かっております。</p>
<p>知的障害者と一口に言っても必要としているサービスはその時々で複雑に絡み合い、どこに頼めるのか何の手続きが必要かなど、その時になって初めて知る事になることも多い。普段の生活では親が手助けする程度で、何とかなっている場合は福祉サービスや関係団体とは縁がない事もある。周りをもっと障害福祉課や支援員さんと懇意にならなくてはいけないと言うがなんでもかんでも話に行けるわけもない。一番困ったのは障害者本人が精神的にダウンして喋れない、食べれない、動けなくなった時、どこにも相談できなくて、情報弱者を痛感した。働いていない子供(30代)はどこにつなげてあげられるのか知りたい。</p>

医療費をもっと安心してもらえると生きていけます。

自立支援医療の支給を受けているが支給額の半分以上を医師の診断料で差し引かれている現状に不満を感じている。

不便な所にコミュニティバスを運行させてほしい。災害の時に適切に手を差し伸べてほしい。

Ⅲ 調査票

ひがしくるめししょうがいしゃしさく かん 東久留米市障害者施策に関する ちようさ アンケート調査について

みなさまには、日頃より本市の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、令和6年度を初年度とする「東久留米市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」の策定にあたり基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、みなさまの日頃の生活状況や、市の障害福祉施策に対するご意見などをお聞かせいただくことで、現状の把握及びニーズ分析を行い、計画策定に活用させていただきます。

アンケートは、市内にお住まいで、障害に関する手帳をお持ちの方などにお送りいたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をお汲み取りいただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

れいわ ねん がつ
令和5年6月

ひがしくるめしちよう ともたりちようま
東久留米市長 富田竜馬

※ なお、お答えいただいた内容は、プライバシーの保護に万全を期すとともに、アンケート結果の集計以外には使用いたしません。

●記入について

・事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の立場に立ってご記入ください。

・回答は、あてはまる番号を「○」で囲んでください。

●調査票の返信について

・ご記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和5年6月23日(金)までに投函してください。

と あ さき お問い合わせ先

ひがしくるめし しょうがいふくしか
東久留米市 障害福祉課 TEL : 042-470-7747 ※FAX : 042-475-8181

※ 平日8時30分から17時まで(土日祝日を除く)

あなた（あて名のご本人）自身について

問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 あて名のご本人 | 2 ご家族や支援者が本人に聞いて代筆 |
| 3 ご家族や支援者が本人の意向を考えて代筆 | 4 その他（ ） |

※これ以降、この調査票が郵送されたあて名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（アンケートの対象者＝障害のある方）の状況などについて、お答えください。

問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（〇は1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問3 あなたの年齢（令和5年6月1日現在）をお答えください。

（ ）歳

問4 あなたのお住まいをお聞きします。（〇は1つ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 第1ブロック（上の原、神宝町、金山町、氷川台） |
| 2 第2ブロック（大門町、新川町2丁目、浅間町） |
| 3 第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町） |
| 4 第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目） |
| 5 第5ブロック（中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目） |
| 6 第6ブロック（学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町） |
| 7 第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生） |
| 8 第8ブロック（下里2～6丁目、柳窪） |
| 9 市外（入所施設、グループホーム等） |

問5 あなたはどのような暮らし方をしていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 家族と暮らしている | 2 一人暮らしをしている |
| 3 グループホーム等で暮らしている | 4 施設に入所している |
| 5 その他（ ） | |

問5で「1 家族と暮らししている」か「2 一人暮らしをしている」に○をつけた方にお聞きます。

問5-1 あなたの住まいの種類はどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1 持ち家の戸建て住宅 | 2 持ち家の集合住宅(マンション・アパート等) |
| 3 賃貸の戸建て | 4 賃貸の集合住宅(マンション・アパート等) |
| 5 公営住宅(都営・公社住宅) | 6 社宅・公務員住宅等 |
| 7 その他() | |

あなたの障害の状況について

問6 あなたの持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きます。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級(度数)に○印をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 身体障害者手帳 | →(1級 2級 3級 4級 5級 6級) |
| 2 愛の手帳(療育手帳) | →(1度 2度 3度 4度) |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 | →(1級 2級 3級) |
| 4 発達障害の診断を受けている | |
| 5 自立支援医療(精神通院医療)を受けている | |
| 6 難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている | |
| 7 障害児通所支援を利用している | |

難病又は小児慢性特定疾病の認定：この場合、東京都の難病医療費助成又は小児慢性特定疾病医療費助成を受給している方を指します。

問6で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きます。

問6-1 障害の種類は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|------------------|
| 1 肢体不自由(上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害) | 2 音声・言語・そしゃく機能障害 |
| 3 視覚障害 | 4 聴覚・平衡機能障害 |
| 5 内部障害(心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害) | |

すべての方にお聞きします。

問7 あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1 親(父・母) | 2 配偶者(夫・妻) | 3 子(子の配偶者を含む) |
| 4 祖父母 | 5 兄弟姉妹 | 6 その他の親族 |
| 7 近隣の人・知人・友人 | 8 ホームヘルパー | 9 ボランティア |
| 10 施設・病院等の専門介助者 | 11 現状、介助は必要ない | 12 その他() |

普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きします。

問8 現在、主な介助者の方が困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 代わりの介助を頼める人がいない | 2 休養や息抜きの時間がない |
| 3 長期の旅行や外出ができない | 4 仕事に出られない |
| 5 介助者自身の健康に不安がある | 6 身体的な負担が大きい |
| 7 精神的な負担が大きい | 8 経済的な負担が大きい |
| 9 特にない | 10 その他() |

普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きします。

問9 今後、介助や支援にあたって課題になると考えられることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 代わりの介助を頼める人がいない | 2 休養や息抜きの時間がない |
| 3 長期の旅行や外出ができない | 4 仕事に出られない |
| 5 介助者自身の健康に不安がある | 6 身体的な負担が大きい |
| 7 精神的な負担が大きい | 8 経済的な負担が大きい |
| 9 あて名のご本人の住まいの確保 | 10 あて名のご本人の権利擁護に関する問題 |
| 11 特にない | 12 その他() |

ふだん かぞく しんぞく かいじょ う かた き
普段から、家族・親族の介助を受けている方にお聞きます。

問10 普段介助している方が一時的に介助できなくなったとき、あなたはどのようにしますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 同居している他の家族に介助を頼む |
| 2 | 同居していない家族や親せきに介助を頼む |
| 3 | 介助や家事援助等を行なうホームヘルプサービスを利用する |
| 4 | 施設への短期入所（ショートステイ）を利用する |
| 5 | 知人・友人に介助を頼む |
| 6 | ボランティアに介助を頼む |
| 7 | 介助を頼むあてがない |
| 8 | その他（ ） |

かた き
すべての方にお聞きます。

問11 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|----|--------------------|----|------------------------|
| 1 | 受けていない | 2 | 経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう） |
| 3 | 吸引（口腔内・エアウェイ内・気管内） | 4 | 酸素管理 |
| 5 | エアウェイの管理 | 6 | 導尿 |
| 7 | 気管切開部の衛生管理 | 8 | 胃ろう・腸ろう部の衛生管理 |
| 9 | 中心静脈栄養 | 10 | 人工透析 |
| 11 | 定時の薬液吸入 | 12 | 人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等 |
| 13 | その他（ ） | | |

にちじょうせいかつ
日常生活について

問12 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 治療・訓練のこと | 2 仕事や収入・生活費のこと |
| 3 日常会話・コミュニケーションのこと | 4 学習活動や趣味の活動など |
| 5 友人関係、近所づきあい | 6 将来の生活のこと |
| 7 外出・買い物など | 8 保健・医療サービスに関すること |
| 9 住宅・生活の場所のこと | 10 福祉サービスに関すること |
| 11 進学・学校生活のこと | 12 交通機関の利用に関すること |
| 13 金銭管理・契約などのこと | 14 身体・健康のこと |
| 15 結婚、性、恋愛などに関すること | 16 親や介助者の高齢化のこと |
| 17 相談できる人がいない(限られている) | 18 特にない |
| 19 その他() | |

問13 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 家族と暮らしたい | 2 一人暮らしをしたい |
| 3 グループホームで生活したい | 4 障害者(児)のための入所施設で生活したい |
| 5 わからない | 6 その他() |

問14 あなたは、普段どれくらい外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に数回 |
| 3 月に数回 | 4 ほとんど外出しない |

問15 普段外出するときに、困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない | |
| 2 バスや電車などの乗り降りが難しい | 3 道路や駅に階段や段差が多い |
| 4 切符の買い方や乗換えがわかりにくい | 5 トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便 |
| 6 介助者が確保できない | 7 交通費(運賃など)にお金がかかる |
| 8 ヘルパーの利用料などにお金がかかる | 9 周囲の目が気になる |
| 10 周囲の人からの配慮・手助けがない | 11 発作など突然の体調不良が心配 |
| 12 困った時にどうすればよいか心配 | 13 休憩できる場所が少ない |
| 14 特にない | 15 その他() |

問16 あなたが生活していく上での収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 勤め先の給与・賃金 | 2 通所施設・事業所などの賃金・工賃 |
| 3 事業収入(自営業など) | 4 財産収入(家賃収入など) |
| 5 年金・手当など | 6 家族の収入・親戚などの援助 |
| 7 生活保護費 | 8 その他() |

地域での生活について

問17 あなたは、普段、近所の方との程度おつきあいをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 家を行き来するつきあい | 2 立ち話をする程度のつきあい |
| 3 あいさつをする程度のつきあい | 4 ほとんどつきあいはない |

問18 障害者(児)が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 特に問題はない | 2 地域で暮らすのは難しいと思う |
| 3 わからない | 4 その他() |

問19 あなたは、障害者(児)が地域で生活していくためには何が必要だと思えますか。(特に必要と思われるもの3つまで○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 地域生活やサービス利用に関する相談支援 | 2 訪問系サービスの充実 |
| 3 日中の活動・訓練場所や作業所の充実 | 4 グループホームの拡充 |
| 5 手話などによるコミュニケーションの支援 | 6 障害者のための住宅の確保 |
| 7 利用しやすい医療機関 | 8 一般就労するための支援 |
| 9 交通機関や施設などのバリアフリー化 | 10 地域の人たちの障害に対する理解 |
| 11 特に必要なことはない | 12 その他() |

訪問系サービス

居宅介護(ホームヘルプ)や行動援護(主に知的障害がある方が外出する際のガイドヘルプ)など、サービス提供者が利用者の自宅等を訪問して提供されるサービスです。

問20 あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特に困るのはどのような場合ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 飲食店を利用する時 | 2 初めて行くところに出かける時 |
| 3 銀行を利用する時 | 4 病院にかかった時 |
| 5 旅行をする時 | 6 買い物をする時 |
| 7 スポーツやレクリエーションに参加する時 | 8 家を探す時 |
| 9 仕事をする時 | 10 その他（ ） |
| 11 特にない | |

問21 あなたは、成年後見制度について知っていますか。また、利用したことはありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 知っており、利用したことがある | 2 知っているが、利用したことはない |
| 3 知らない | |

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不足な方々のために、不動産や預貯金などの財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を代わりに行ったり、悪質商法の被害等から守ったりするための制度です。

問22 将来的にあなたご自身がいろいろな契約や手続をする際にひとりで決めることに不安や心配のある場合、成年後見制度を利用したいと思いませんか。（○は1つ）

- | | |
|---------|------------|
| 1 思う | 2 思わない |
| 3 わからない | 4 現在利用中である |

問23 地域で生活するなかで、あなたが手助けしてほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 安否の声かけ | 2 趣味などの話し相手 |
| 3 子育て・介護等の相談相手 | 4 ちょっとした買い物 |
| 5 ゴミ出し | 6 掃除・洗たく |
| 7 草むしりや植木の手入れ | 8 調理や食事の手伝い |
| 9 災害時等の緊急時の援助 | 10 その他（ ） |
| 11 特にない | |

しゃかいさんか
社会参加について

問24 これまでに余暇活動、文化芸術・スポーツ活動など、参加したことがあるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 スポーツ活動 |
| 3 旅行 | 4 学習や趣味の活動 |
| 5 ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 障害者団体などの活動 | 8 パソコンを使った活動 |
| 9 特にない | 10 その他() |

問25 今後参加したい余暇活動、文化芸術・スポーツ活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 | 2 スポーツ活動 |
| 3 旅行 | 4 学習や趣味の活動 |
| 5 ボランティアなどの社会貢献活動 | 6 地域での交流、自治会などの活動 |
| 7 障害者団体などの活動 | 8 パソコンを使った活動 |
| 9 特にない | 10 その他() |

問26 新型コロナウイルス感染拡大の影響で余暇活動への参加状況に変化がありましたか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 参加を控えた、もしくは参加できなくなった活動があったが、現在は以前の参加状況に戻っている |
| 2 参加を控えた、もしくは参加できなくなった活動があり、現在も参加が減っている |
| 3 特に参加状況に変化はない |
| 4 もともと活動には参加していない |

問27 あなたが余暇活動、文化芸術・スポーツ活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思えますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 活動情報の提供がある | 2 友人や仲間がいる |
| 3 身近なところで活動できる | 4 外出手段が確保されている |
| 5 介助者がいる | 6 適切な指導者やリーダーがいる |
| 7 障害に配慮した施設や設備がある | 8 経済的な負担が少ない |
| 9 家族や周囲の人の理解 | 10 心身の健康状態の維持・向上 |
| 11 いろいろな人との出会いの場・機会がある | 12 障害のある人もない人も一緒にできる |
| 13 施設の予約が取りやすい | 14 手話などによるコミュニケーションの支援 |
| 15 特にない | 16 その他() |

しょうがいふくし
障 害 福 祉 サービス など に つ い て

問28 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用
したいとおもいますか。（それぞれに○は1つ）

※サービスの内容については、19 ページをご覧ください。

区 分		利用して おり、今後も 利用したい	今は利用し ていないが 3年以内に 利用したい	利用の予定 はない
訪問系サービス	① 居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3
	② 重度訪問介護	1	2	3
	③ 同行援護	1	2	3
	④ 行動援護	1	2	3
日中活動系サービス	① 生活介護	1	2	3
	② 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	2	3
	③ 就労移行支援	1	2	3
	④ 就労継続支援（A型）	1	2	3
	⑤ 就労継続支援（B型）	1	2	3
	⑥ 就労定着支援	1	2	3
	⑦ 療養介護	1	2	3
	⑧ 短期入所（ショートステイ）	1	2	3
	⑨ 児童発達支援（医療型含む）	1	2	3
	⑩ 放課後等デイサービス（医療型含む）	1	2	3
	⑪ 保育所等訪問支援	1	2	3
居住系サービス	① 自立生活援助	1	2	3
	② 共同生活援助（グループホーム）	1	2	3
	③ 施設入所支援	1	2	3

区分		利用しており、今後も利用したい	今は利用していないが3年以内に利用したい	利用の予定はない
相談系サービス	①計画相談支援	1	2	3
	②地域移行支援	1	2	3
	③地域定着支援	1	2	3
	④障害児相談支援	1	2	3
その他	①意思疎通支援事業 (主に聴覚障害者への手話通訳の派遣)	1	2	3
	②日常生活用具給付等事業	1	2	3
	③移動支援事業(外出時のガイドヘルプ)	1	2	3
	④日中一時支援事業(緊急一時保護)	1	2	3
	⑤成年後見制度	1	2	3
	⑥補装具費(車いす・補聴器等)の給付	1	2	3

問29 新型コロナウイルス感染拡大の影響で障害福祉サービスの利用状況に変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用を控えた、もしくは利用できなくなったサービスがあったが、現在は新型コロナウイルス感染拡大以前の水準に戻っている
- 2 利用を控えた、もしくは利用できなくなったサービスがあり、現在も減っている
→それはどのようなサービスですか(具体的に記入)
- 3 特に利用状況に変化はなかった
- 4 以前から障害福祉サービスを利用していなかった

問30 あなたは、普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 制度がわかりにくい | 2 利用したいサービスを利用できない |
| 3 利用できる回数や日数が少ない | 4 サービスの質について困っている |
| 5 他の利用者との関係が大変 | 6 市役所での手続きが大変 |
| 7 事業所との日時などの調整が大変 | 8 事業所への移動が大変 |
| 9 経済的負担が大きい | 10 利用したい内容のサービスがない |
| 11 特に困っていることはない | 12 その他() |

問31 あなたは、普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。(○は1つ)

- 1 必要なサービスを受けられており大いに満足
- 2 ほぼ必要なサービスを受けられており満足
- 3 ほぼ必要なサービスを受けられているがサービスの質に満足できない
- 4 必要なサービスが十分に受けられず不満足
- 5 受けたサービスが地域になく不満足
- 6 現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない

問31で「4」か「5」に○をつけた方にお聞きします。

問31-1 地域の中で、障害者(児)に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。自由にご記入ください。

40歳以上の方にお聞きします。

問32 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方はあてはまる要介護度に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------|--------|
| 1 認定を受けていない | 2 要支援1 | 3 要支援2 |
| 4 要介護1 | 5 要介護2 | 6 要介護3 |
| 7 要介護4 | 8 要介護5 | |

40歳以上65歳未満の方にお聞きします。

問32-1 介護保険のサービスを受けるにあたり、不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用者負担が増えること
- 2 利用時間が少なくなること
- 3 これまで利用していた事業所が使えなくなること
- 4 これまで利用していた障害福祉の類似サービスよりも質が下がること
- 5 特にない
- 6 その他 ()

こよう しゅうろう
雇用・就労について

あなた(あて名のご本人)が18歳以上の場合のみお答えください

問33 あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 正社員として働いている | 2 パート・アルバイトなどで働いている |
| 3 自営業などを営んでいる | 4 福祉的就労をしている(福祉作業所など) |
| 5 福祉的就労以外の通所施設に通っている | 6 自宅で家事や手伝いをしている |
| 7 学校などに通っている | 8 就業訓練中・就職活動中 |
| 9 特に何もしていない | 10 その他() |

問33で「1」～「4」に〇をつけた方にお聞きます。

問33-1 あなたが仕事をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 給与・工賃などの収入が少ない | 2 通勤が大変 |
| 3 身体的な負担が大きい | 4 精神的な負担が大きい |
| 5 障害に対する職場の理解が不足している | 6 職場の人間関係 |
| 7 仕事が自分には合わない | 8 特に困っていることはない |
| 9 その他() | |

問33で「4」か「5」に〇をつけた方にお聞きます。

問33-2 日中活動終了後、どのように過ごしていますか。また、どのように過ごしたいですか。自由にご記入ください。

問33で「5」～「6」、「9」に〇をつけた方にお聞きます。

問33-3 あなたが就労していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 障害や病気が重いから | 2 高齢だから |
| 3 自分に合った仕事が見つからないから | 4 希望に合った求人が見つからないから |
| 5 働くための知識や能力に自信がないから | 6 職場の障害理解に不安があるから |
| 7 通勤が困難だから | 8 仕事以外のことをしたいから |
| 9 わからない | 10 その他() |

すべての方にお聞きします。

問34 あなたは、就労していくためには、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2 働くための知識や能力を身につけるための訓練
- 3 職場を理解するための就労体験
- 4 障害の特性にあった職業・雇用の拡大
- 5 障害に対する理解を深めるための職場への働きかけ
- 6 職場のバリアフリー化
- 7 障害や病気などに応じた柔軟な勤務体制
- 8 ジョブコーチや介助者などの職場に定着するための支援
- 9 その他（ ）

しょうがいじふくし 障害児福祉について

あて名のご本人が18歳未満の場合のみお答えください。

あて名のご本人が18歳以上の方は17ページに進んでください。

問35 あなた（あて名のご本人）は普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。（○は1つ）

- 1 幼稚園、保育所、児童発達支援事業所などに通っている
 - 2 特別支援学校（小中高等部）に通っている
 - 3 小学校、中学校、高等学校（2を除く）に通っている
 - 4 自宅で過ごしている
 - 5 入所している施設や病院などで過ごしている
 - 6 その他（ ）
- 1 特別支援学級
2 通常学級・通級

問36 あなた（あて名のご本人）の障害に気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1 病院などの医療機関による受診・健診 | 2 市が実施する健診 |
| 3 小学校で実施する就学時健康診断 | 4 児童発達支援センターわかくさ学園発達相談室の助言 |
| 5 幼稚園、保育所の助言 | 6 学校の助言 |
| 7 家族による気づき | 8 その他（ ） |

問37 あなた（あて名のご本人）は普段、放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 幼稚園、保育所 | 2 学童クラブ |
| 3 児童館 | 4 放課後等デイサービス |
| 5 公園等 | 6 学校の部活動 |
| 7 塾・習い事 | 8 地域のスポーツクラブ |
| 9 自分の家 | 10 友達の家 |
| 11 その他（ ） | |

問38 幼稚園、保育所、通所施設などに通ううえで重要と思われるものをお答えください。（○は3つまで）

- | |
|-----------------------------|
| 1 送迎など、通所・通学のサポート |
| 2 学習支援や介助など、園・学校生活のサポート |
| 3 生活訓練や職業訓練など、専門的な指導 |
| 4 投薬や喀痰吸引など、医療的なケア |
| 5 福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携 |
| 6 子ども同士の理解を深める交流機会を増やす |
| 7 保育施設や学校施設のバリアフリー化 |
| 8 就学相談や進路相談を積極的に行う |
| 9 通常の学級への受け入れを進める |
| 10 放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす |
| 11 その他（ ） |

問39 今の学校の卒業後について、希望する進路はどれですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい | 2 入所して、訓練などを受けたい |
| 3 企業などへ就職したい | 4 職業訓練校で訓練を受けたい |
| 5 上級学校に進学したい | 6 まだ考えていない |
| 7 その他() | |

問40 保護者の方は、あなた(あて名のご本人)の現在または将来について、どのような不安や悩みがありますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 本人の習熟度にあった勉強指導 | 2 学校での集団生活や人間関係 |
| 3 学校生活に関する相談 | 4 適性に合った進路の相談支援 |
| 5 進学等の環境変化に伴う本人の適応性 | 6 進学時における教員間での引継ぎ |
| 7 教職員の障害に対する理解 | 8 教育・保育施設での医療的ケアの対応 |
| 9 長期休暇時の子どもの過ごし方 | 10 通学時の送迎 |
| 11 適性に合った就職先の紹介 | 12 就職に必要な技術等の訓練の機会 |
| 13 就職に関する総合的な相談支援 | 14 成人後の日中の通所先 |
| 15 成人後の日中活動終了後の過ごし方 | 16 特にない |
| 17 その他() | |

問41 保護者の方が、不安や悩みを相談する場として希望するものはどれですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 ペアレントトレーニングやペアレントプログラム | 2 ピアサポート活動 |
| 3 家族会への参加 | 4 子ども家庭支援センター |
| 5 障害児通所支援事業所 | 6 相談支援事業所 |
| 7 児童発達支援センターわかさ学園 | 8 さいわい福祉センター |
| 9 スクールソーシャルワーカー | 10 教育相談室 |
| 11 特にない | 12 その他() |
| 13 わからない | |

ひがしくるめし しょうがいふくししさく
東久留米市の障害福祉施策について

問42 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。(〇は3つまで)

1 市や社会福祉協議会等の広報紙	2 声の広報
3 テレビやラジオ	4 新聞・雑誌
5 インターネット	6 障害者団体
7 民生委員・児童委員、身体・知的障害者相談員	8 ホームヘルパー
9 家族・親戚	10 友人・知人
11 医療機関	12 市や都の窓口
13 障害者の福祉施設	14 情報は得られていない
15 その他 ()	

問43 次の障害者(児)に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。(①～⑩までそれぞれに〇は1つ)

	知っており、 利用したこと がある	知っていた が、利用した ことはない	知らない
①さいわい福祉センター	1	2	3
②地域生活支援センターめぐるまーる	1	2	3
③障害者就労支援室「さいわい」「あおぞら」	1	2	3
④市役所内ワークコーナー(ハローワーク窓口)	1	2	3
⑤障害者虐待防止センター(市障害福祉課)	1	2	3
⑥社会福祉協議会	1	2	3
⑦児童発達支援センターわかくさ学園発達 相談室(児童)	1	2	3
⑧教育センター中央相談室(児童)	1	2	3
⑨教育センター滝山相談室(児童)	1	2	3
⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等	1	2	3

問44 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。（〇は3つまで）

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1 児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり | 2 特別支援教育のいっそうの充実 |
| 3 教育と福祉の連携を強めること | 4 障害児の放課後や余暇活動の充実 |
| 5 成人期の余暇活動の場づくり | 6 障害者（児）への虐待の予防・権利擁護 |
| 7 障害者の就労支援の充実 | 8 障害児保育の充実等による親の就労支援 |
| 9 就労系事業所の定員の拡大 | 10 重度の障害者（児）の年中活動の充実と場所の確保 |
| 11 在宅でも医療を受けられる体制づくり | 12 グループホームの施設整備 |
| 13 バリアフリーのまちづくり | 14 障害特性に応じた情報提供 |
| 15 相談支援体制の強化 | 16 障害者（児）への理解を深めるための講習やイベント |
| 17 研修等による支援者やボランティアの育成 | 18 災害時の支援 |
| 19 その他（ | ） |

東久留米市の障害福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返信用封筒に入れて、
令和5年6月23日（金）までにポストへ入れてください。

★サービスの概要（10 ページ問28の回答の参考にしてください。）

居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で入浴、排泄、食事の介護等を行います。
重度訪問介護	重度の肢体不自由者または重度の知的障害者もしくは精神障害により常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排泄、食事の介護、外出時における移動支援、入院時の支援等を総合的にを行います。
行動支援	知的障害・精神障害により行動上著しい困難を有する人に対する外出時の準備、移動中の介護を行います。
同行支援	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人が外出するとき、必要な情報提供や介護を行います。
生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間に入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。
自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
就労継続支援 （A型・B型）	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
就労定着支援	就労移行支援等の利用を経て一般就労した人で、就労に伴う環境変化により生活面等の課題が生じている人に対し、課題解決に向けて必要となる支援を行います。
療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行います。
短期入所 （ショートステイ）	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排泄、食事の介護等を行います。
児童発達支援	障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行います。
放課後等デイサービス	就学している障害児につき、授業の終了後は休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等のサービスを行います。
保育所等訪問支援	保育所その他の児童が集団生活を営む施設等に通う障害児につき、当該施設を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援を行います。
自立生活援助	障害者支援施設やグループホーム等を利用していた人でひとり暮らしを希望する人に対し、定期的に居宅を訪問し、必要な助言や医療機関等との連絡調整を行います。
共同生活援助 （グループホーム）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事の介護等をおこないます。
施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日に入浴、排泄、食事の介護等を行います。

ちいまいこうしえん 地域移行支援	ちいまい せいかつ いこう じゆうてんでき しえん ひつよう ひと じゆうきよ 地域における生活に移行するために重点的な支援を必要とする人に、住居の かくほ そうだんとう しえん おこな 確保や相談等の支援を行います。
ちいまいちやくしえん 地域定着支援	きょたく たんしんとう せいかつ ひと じょうじ れんらくたいせい かくほ しょうがい とくせい 居宅において単身等で生活する人に、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に まいん しょう きんきゆう じたいとう そうだんとう しえん おこな 起因して生じた緊急の事態等に相談等の支援を行います。

ようご せつめい
★用語の説明

ピアサポート	しょうがい しっかん なや おな きょうつうこう たいどうせい ひとどうし 障害や疾患、悩みなど同じような共通項と対等性をもつ人同士(ピア) さき あ あらわ ことば の支え合いを表す言葉。
ペアレントトレーニング	ほごしゃ こ こうどう かんさつ とくちょう りかい はったつしょうがい とくせい 保護者が子どもの行動を観察して特徴を理解したり、発達障害の特性 をふまえたほめ方やしかり方等を学び、具体的にどのような対応がで るか学習していくためのプログラム。
ペアレントプログラム	いくじ ふあん ほごしゃ なかまかんけい きず こま ほごしゃ 育児に不安がある保護者、仲間関係を築くことに困っている保護者など ちいまい しえんしや ほいくし ほけんし ふくしじぎょうしよ しょくいんどう こうかてき を、地域の支援者(保育士、保健師、福祉事業所の職員等)が効果的に しえん せつてい 支援できるよう設定された、グループ・プログラム。

東久留米市障害者施策に関するアンケート調査

発行：東久留米市 福祉保健部障害福祉課

〒203-8555

東京都東久留米市本町三丁目3番1号

電話：(042)470-7747

FAX：(042)475-8181